

煉獄杏寿郎×甘露寺蜜璃

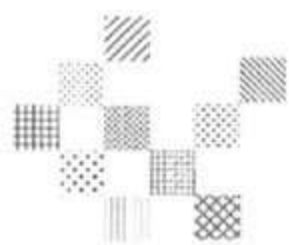
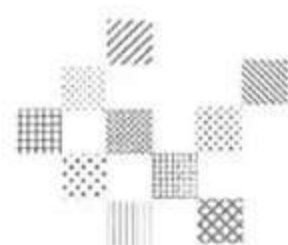
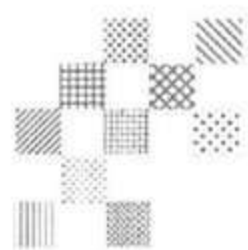
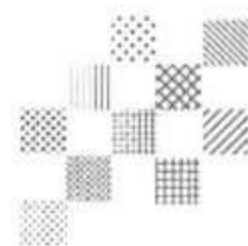
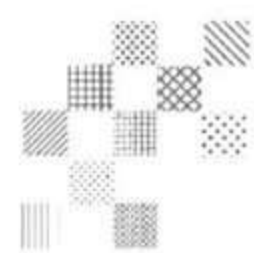
遊 廊 潛 入

～炎戀情歌～

R18
成人向

遊
廓
潜
入
R18
成人向

ほむられんじょうか
炎恋情歌





～目次～

一章	いざ吉原	Iza Yoshiwara
二章	花魁蜜璃	Oiran Mitsuri
三章	紅雨の間	Kouu no ma
四章	炎恋情歌	Homurarenjyouka
番外編		

ご注意

※性的な描写があるため18歳未満の方の閲覧はご遠慮ください。
※モブキャラが多く出ます。(花魁・鬼・隊士・姐さん等)
※回想シーンで多少の流血表現があります。



毎晩
好いてもいない
男に抱かれて



一夜限りの
恋人演じて

感じたフリ

達したフリ



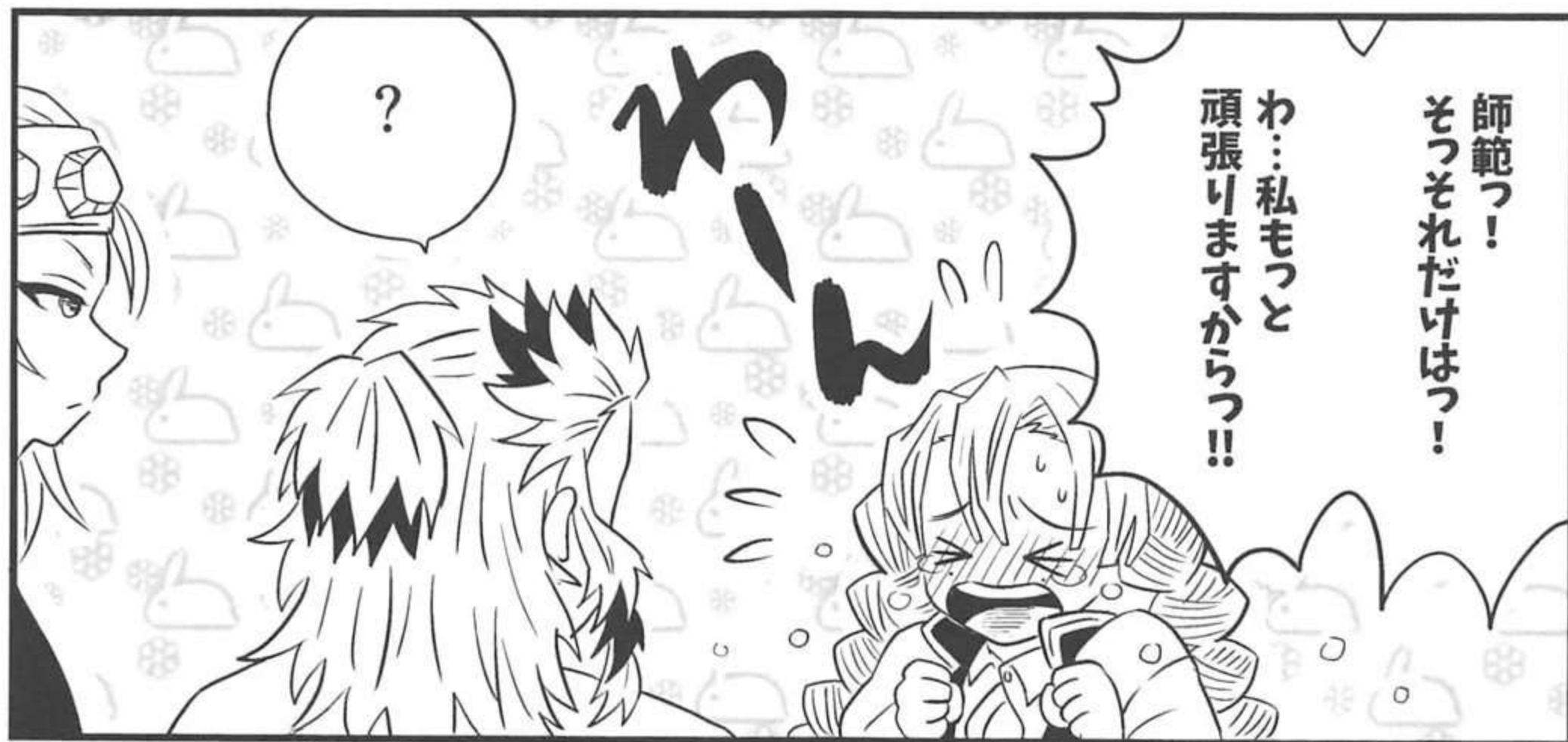
誰か

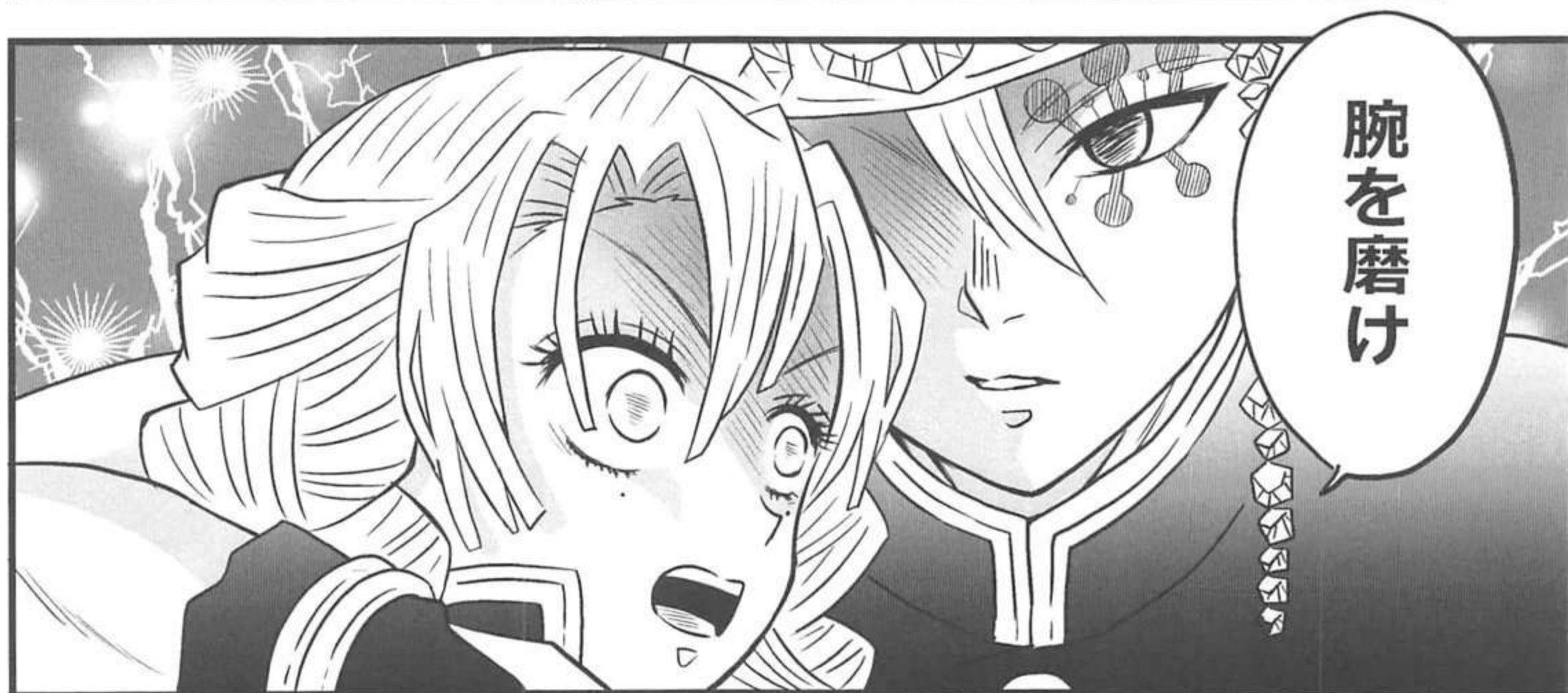
私を

ここから

出して









吉原遊郭



俺が目星
つけてるの
あそこね

北扇屋



鬼の気配が
一番強い

だが人物が
特定できない



できるだけ多くの
遊女出させて
一人ずつ気配を
探ろうと思う



ここが
遊郭か！

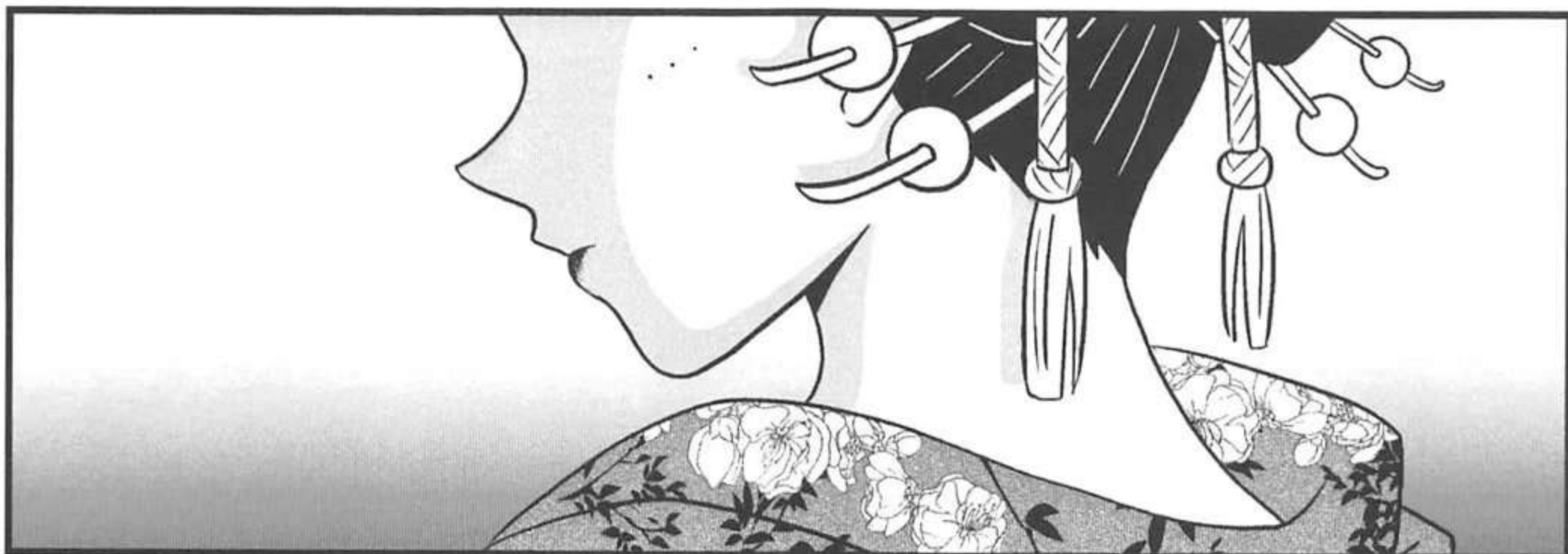
あんまり
物珍しげに
するなよ

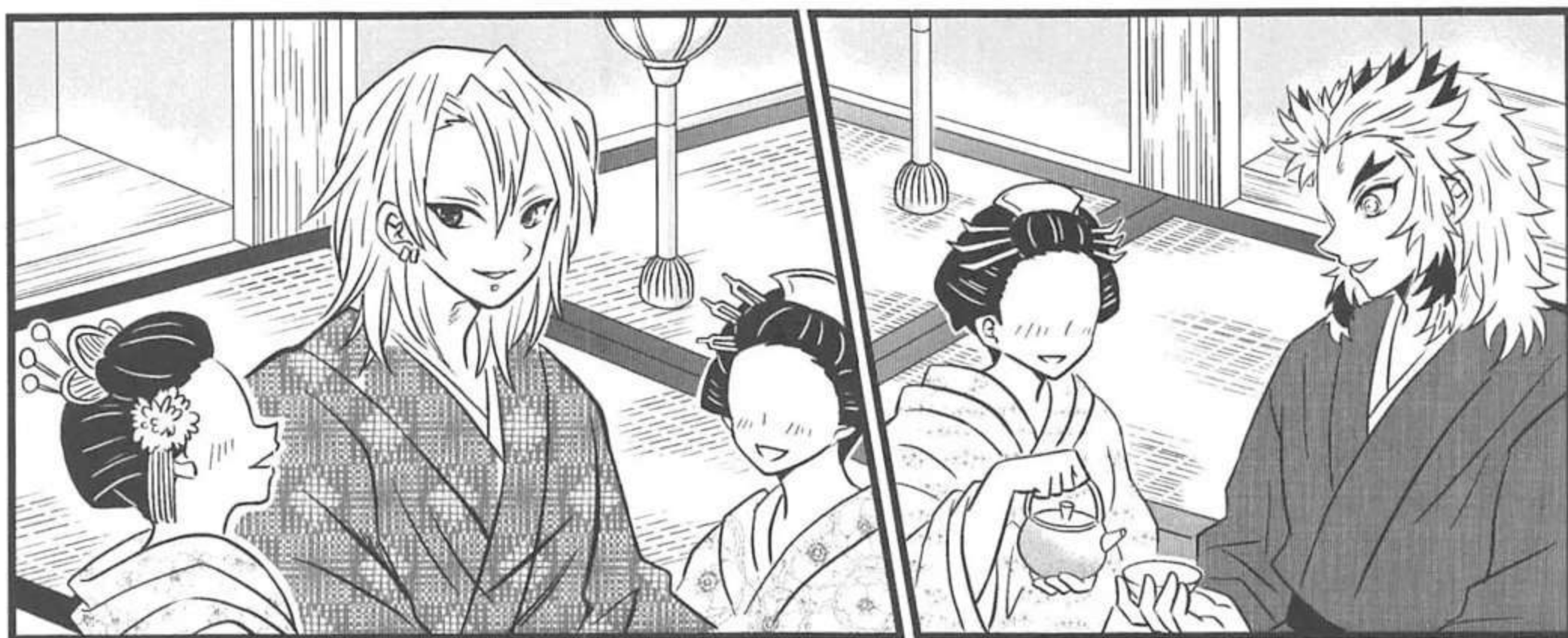
場慣れしてる
軍人って体
にするからさ

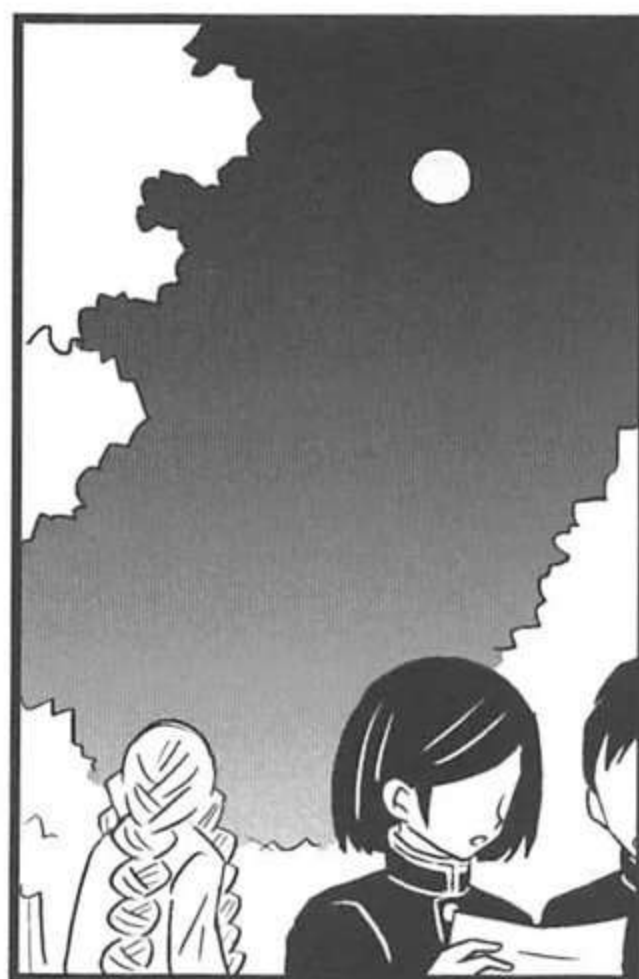
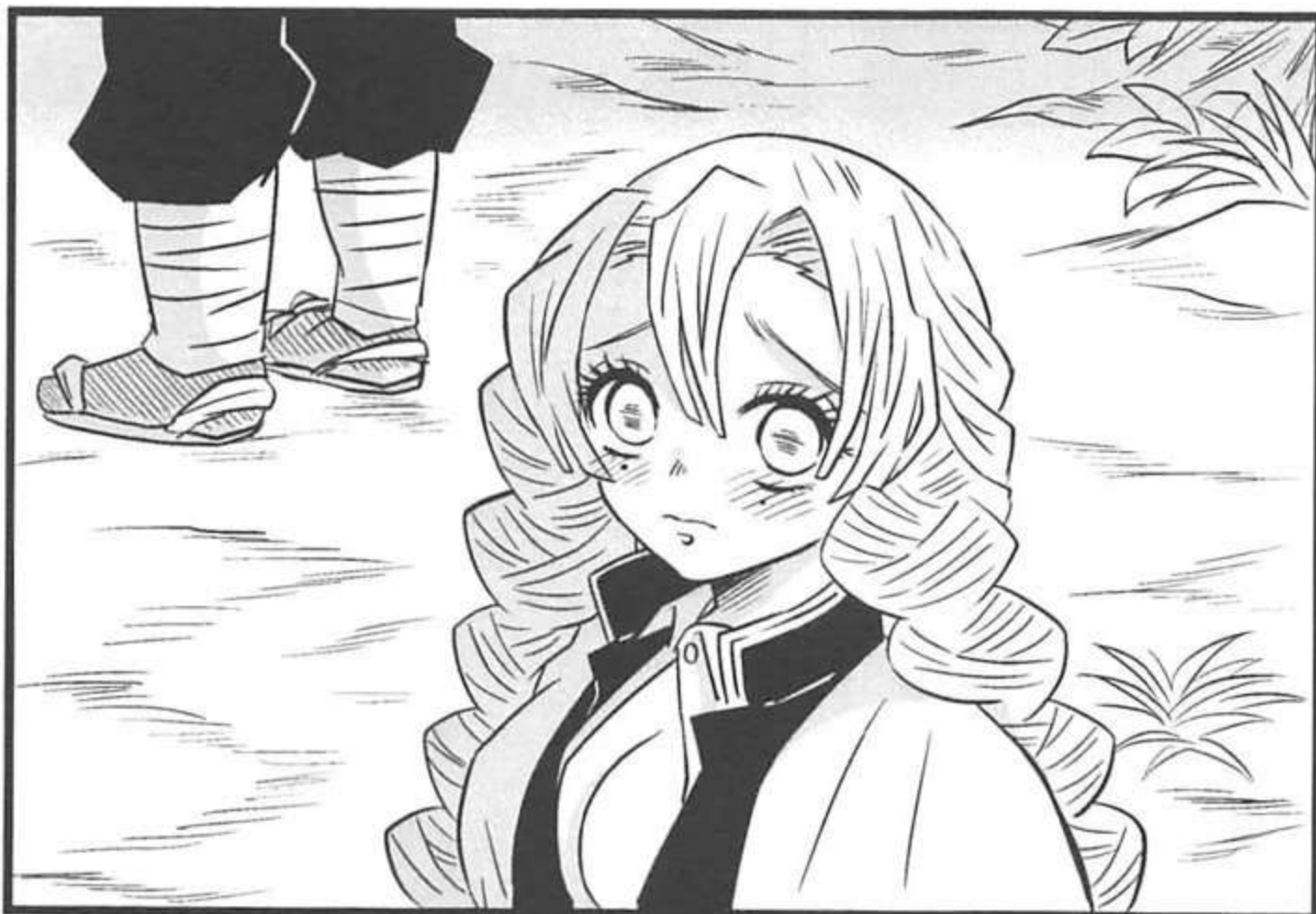
ワハハ

それは
キツイな!!



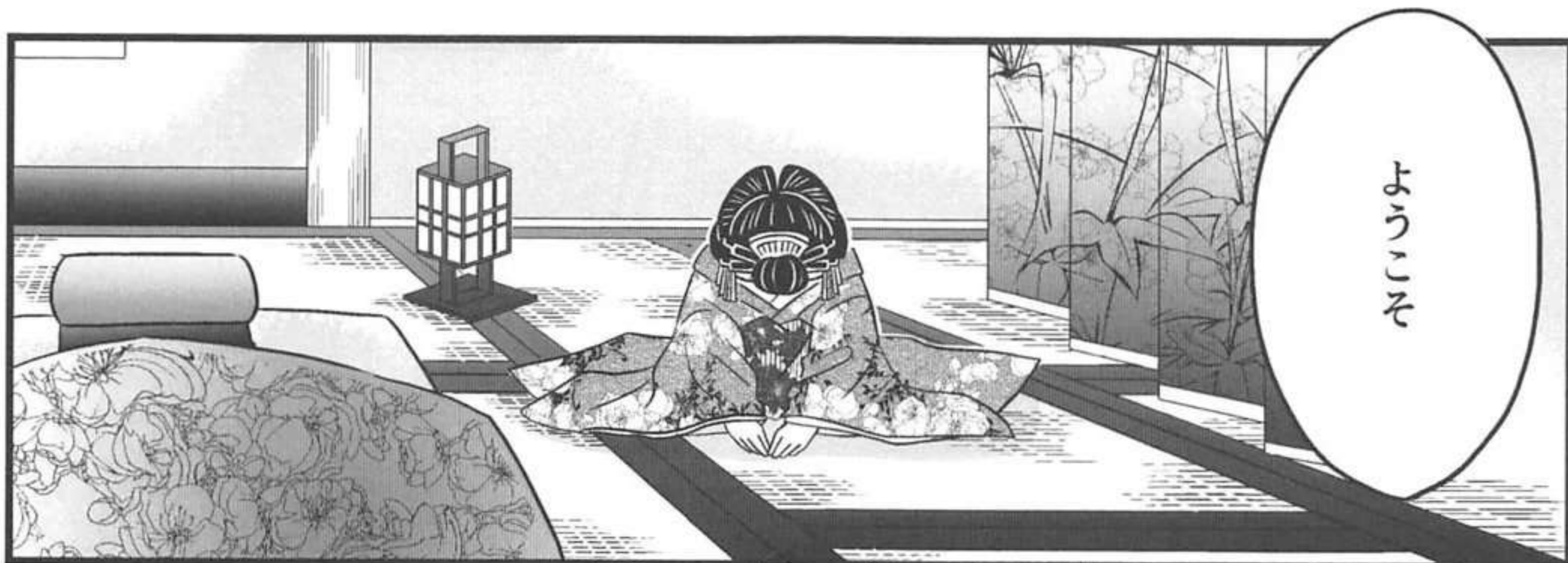


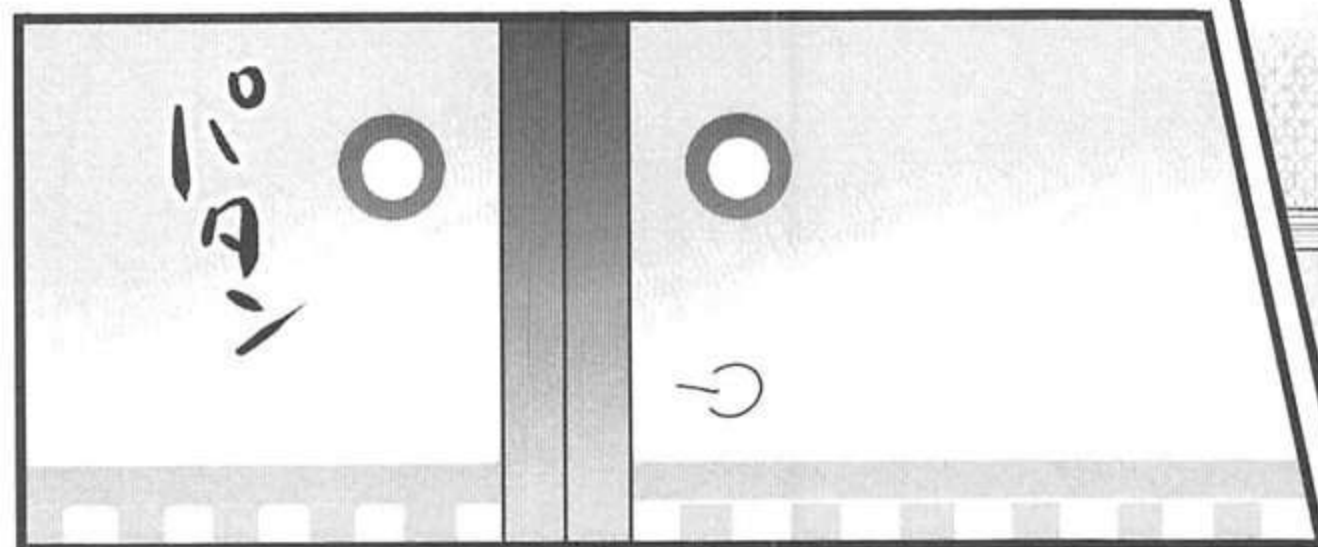




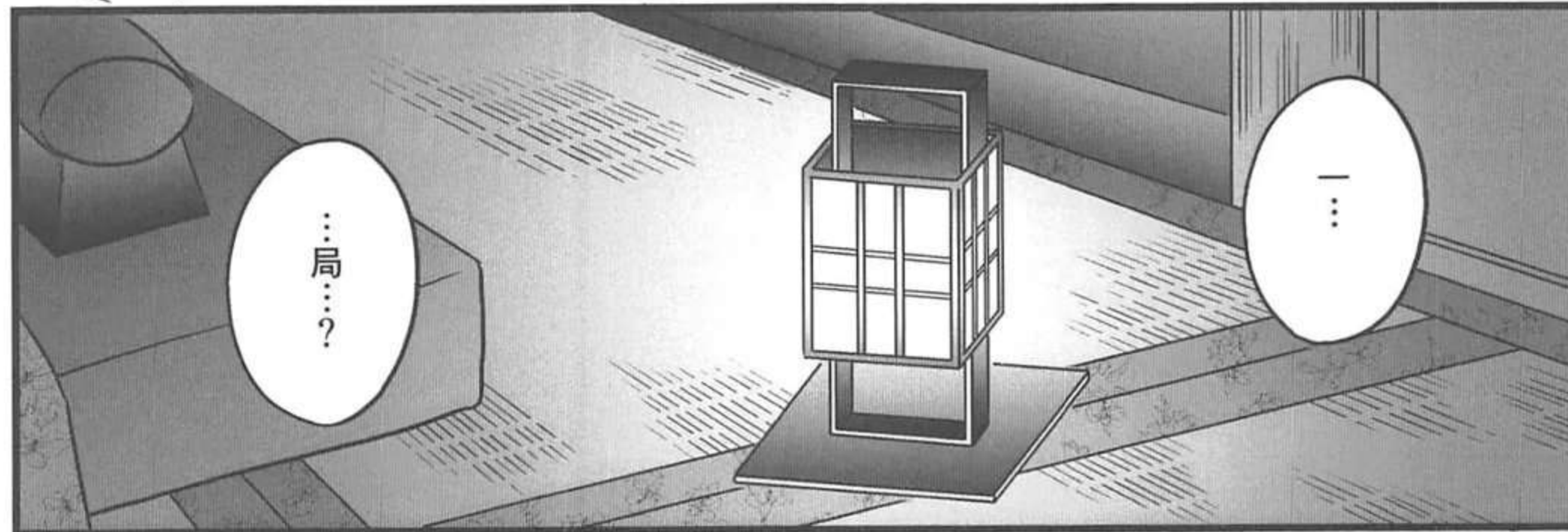


ミカド











宇髓様
その曲は先ほど
大広間で...

ああ
さっき
聞いて
覚えた

一度聞いた
だけで!!

ほうっ....



ド派手に
「譜面」が
完成したぜ!!



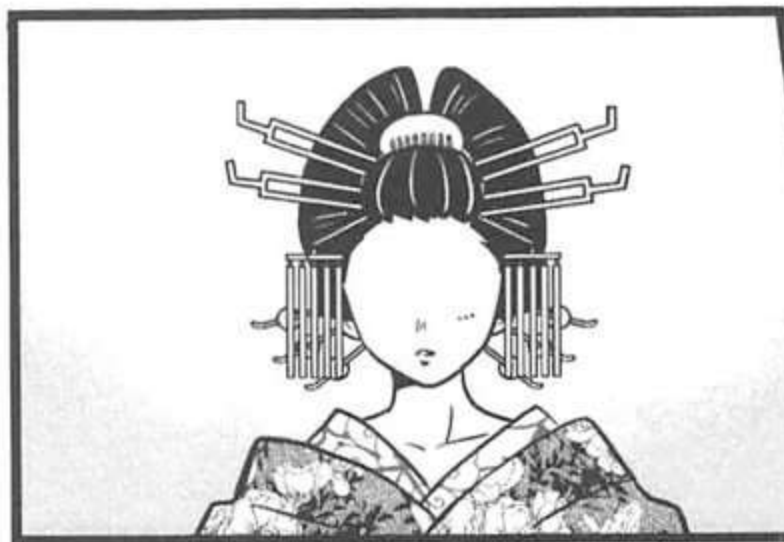
遊女が
倒れたー!!

花魁さだー!!

ドサッ







ありがとう



抱かれな
かった...

〇〇



初めて

〇〇

まったく...
何をしでかすのかと
思いきや



キィ
ィィ...?



あの店は
黒だな

将棋なん...

後から来た
禿^{かむろ}たちに鬼の
気配は全く
なかったが――

遊女たちは
気配のあるものと
ない者に分かれた

花魁の部屋は
鬼の気配が強く
驚いたが

あの距離で
俺を襲わない所を
見ると恐らく普通の
人間だろう

客引きも疑ったが……
あの仕事は日中
外に出ないわけには
いかないはずだ

気になったのは
部屋が北側に位置
していたこと……

そして近くに
外に通ずる階段が
あったこと

やもすると
内部者だけでなく
頻繁に出入りしている
者である可能性も高い

専属の医師か
装身具屋か……

何にせよ
あの花魁が鍵を
握っているのは
確かだ

ただ客の立場では
これ以上の詮索は――

……
お前それを
確かめる
ために……？



潜入捜査だろ？



どっ…どっど…
どーでしたあゝゝ
ゝゝゝつつ!!?!!?

ゆっ…ゆーかく
はああああゝゝ
ゝゝゝつつ!!!!!!

えーっ！
ーっ！！

私が遊郭に
行くんです
かーっ！？

バサッ
バサッ



遊女に扮して
花魁に接近しろ

彼女が日頃
接触してる人間
から鬼の正体を
暴くんだ

甘露寺はだめだ！
俺が許さん！！

店に出されて
変な客がついたら
どうするんだ！！

師範♡

キュー♡

そんなすぐ
客なんて
つかねえよ

何かされたら
ぶっ飛ばして
出てくりや
いいじゃねえか

普段鬼退治
してんだから
楽勝だろ

それもそうだな！
頑張れ甘露寺！！

切り替え早っ！！

カーン





今回は前例のない
任務のため
自己判断力が
必要となる

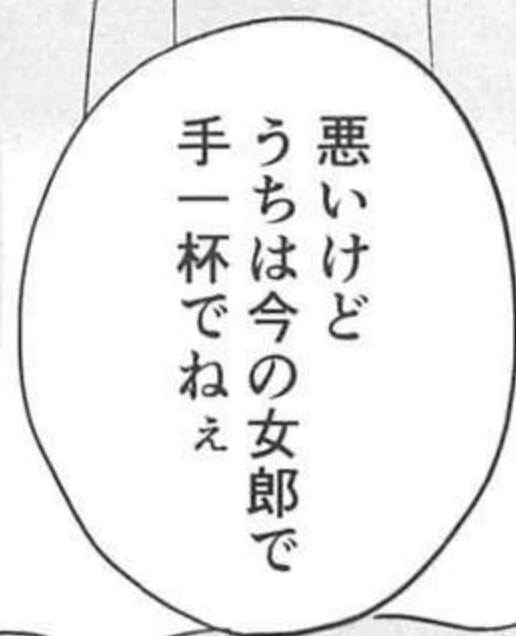
危険を感知したら
すぐにその場から
離れろ

いいな？

身の安全を
確保した上で
最善の方法を
考えるんだ

は…

はい…



※一俵：約60kg



※中郎：雑用係





あ…あの…



よく見たら
肌艶もいいし

すぐに客が
取れそうじゃ
ないか!

さすが
お目が高い!



…あんた
うちの花魁に
顔立ちが
似てるね

え?



さっそく見世に
出せそうだね!

おや!
肉付きも
いいね!!

ミセ!

かしこ

イヤ

達者でな!



花魁

邪魔するよ



また一人面倒見て
欲しいんだけど
いいかい?

カッ



女将さん…

わっち
これ以上は…



ほれあんた
挨拶してっ

はっ…
はっ…
はいっ!



早くお役に
立てるよう
頑張りますので

どうか基本から
教えてください



お願いする時は
おくんなまし
って言うんだよ

お：教えて
おくんなましっ

♡♡
きやうくつ
綺麗な人っ

お：
お初にお目
にかかります

蜜璃と
申します

どうかねえ
あんたは禿と新造
3人も抱えてるし

やっぱり
別の花魁に—

いいよ

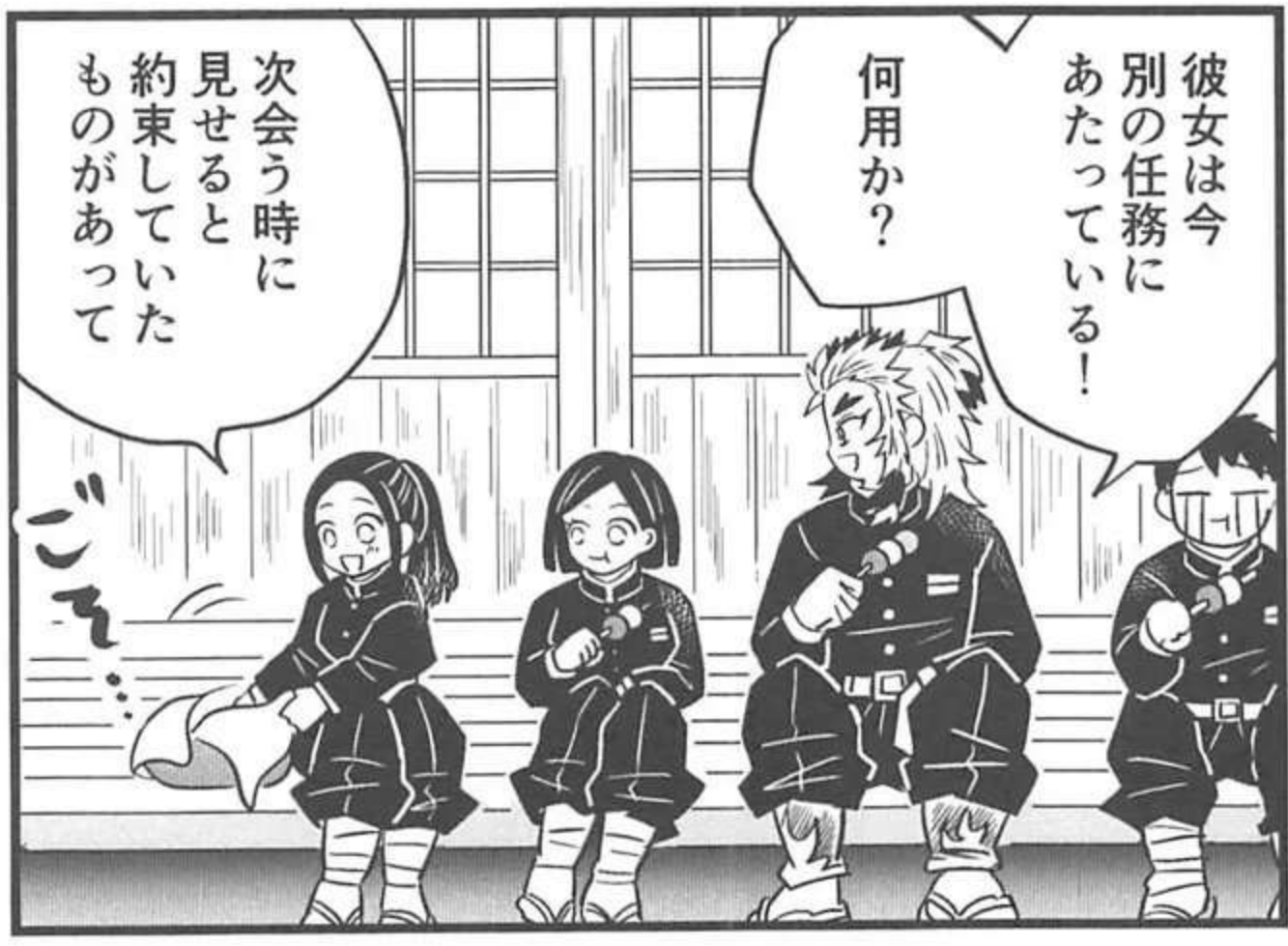
よし！
休憩だ！！



わっちが…
見るよ…



※柱稽古中

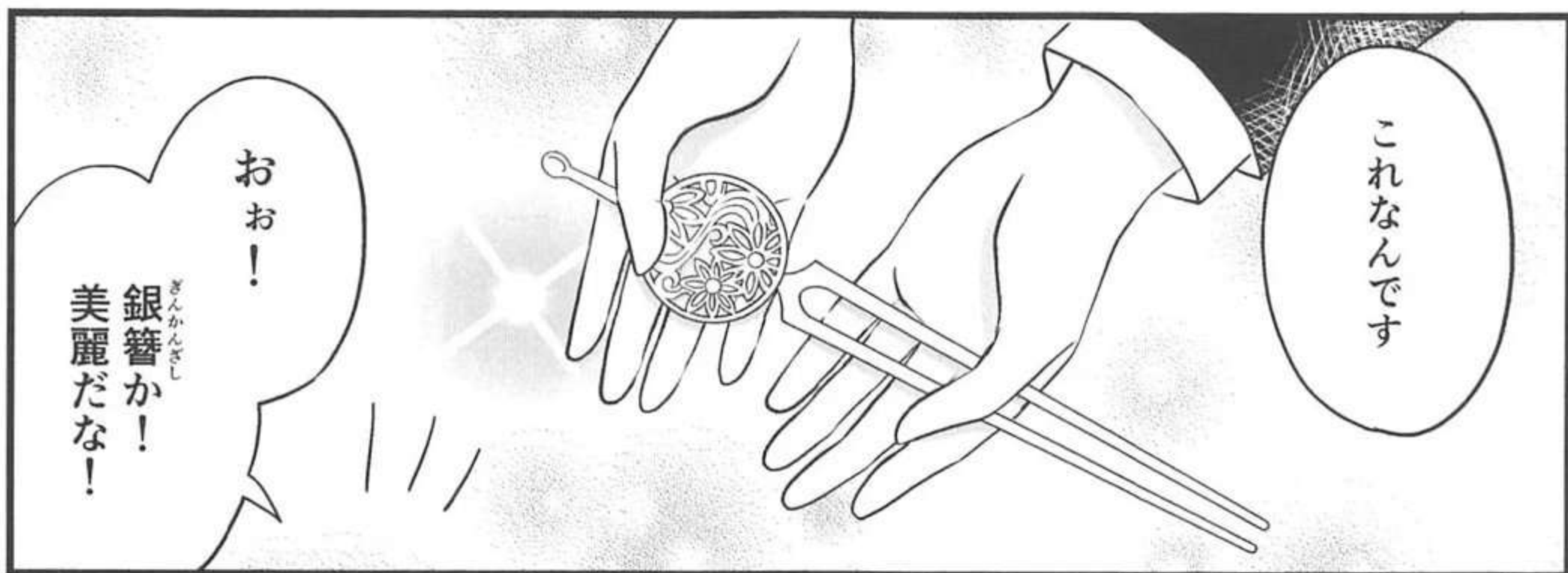


次会う時に
見せると
約束していた
ものがあって
ござ

彼女は今
別の任務に
あたっている！
何用か？



炎柱様
今日甘露寺さんは
いないんですか？



これなんです

おお！

銀簪か！
美麗だな！



私：結婚
することに
したんです

よもや！

おめでとう！

ありがとうございます
マヤいます

そう
だったのか……

甘露寺さんにも
その話をしたら

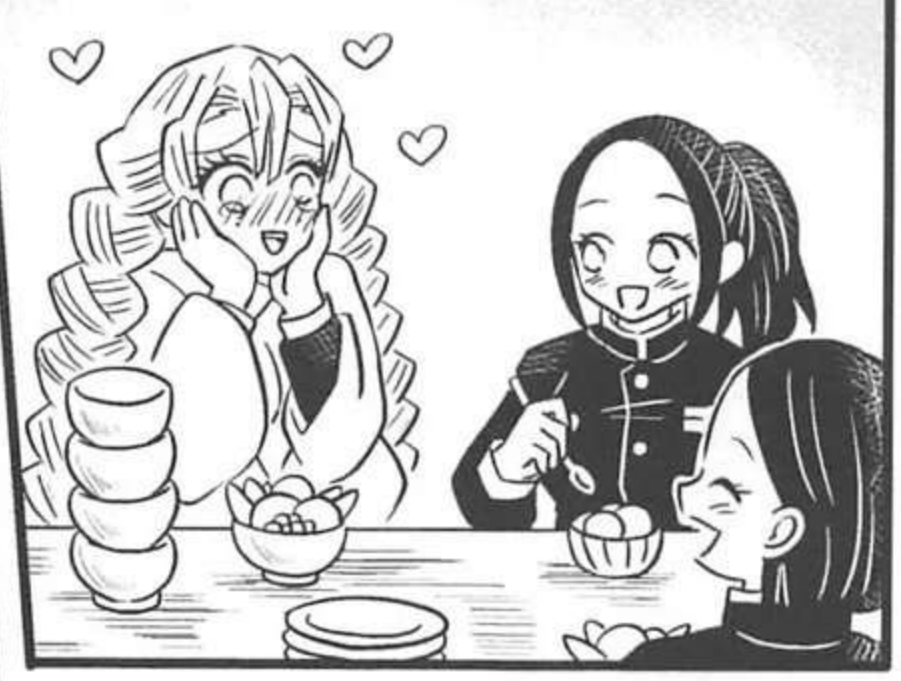
すごく祝福
してくれて

甘味も
奢ってくれて
♡

次に会う時に
彼からもらった
簪を見せるって
約束したんです

…本当は

無惨を倒したら
一緒に……って思っ
たんですけど



私も彼も
家族を鬼に
殺されてから

もちろん
独りでも

家に帰っても
ずっと
独りぼっちで

生活していくことは
できるんですけど

二人でいた方が

笑顔でいられる
時間が増えるから

ああ私
生きてるんだな
って実感できて

幸せなんです

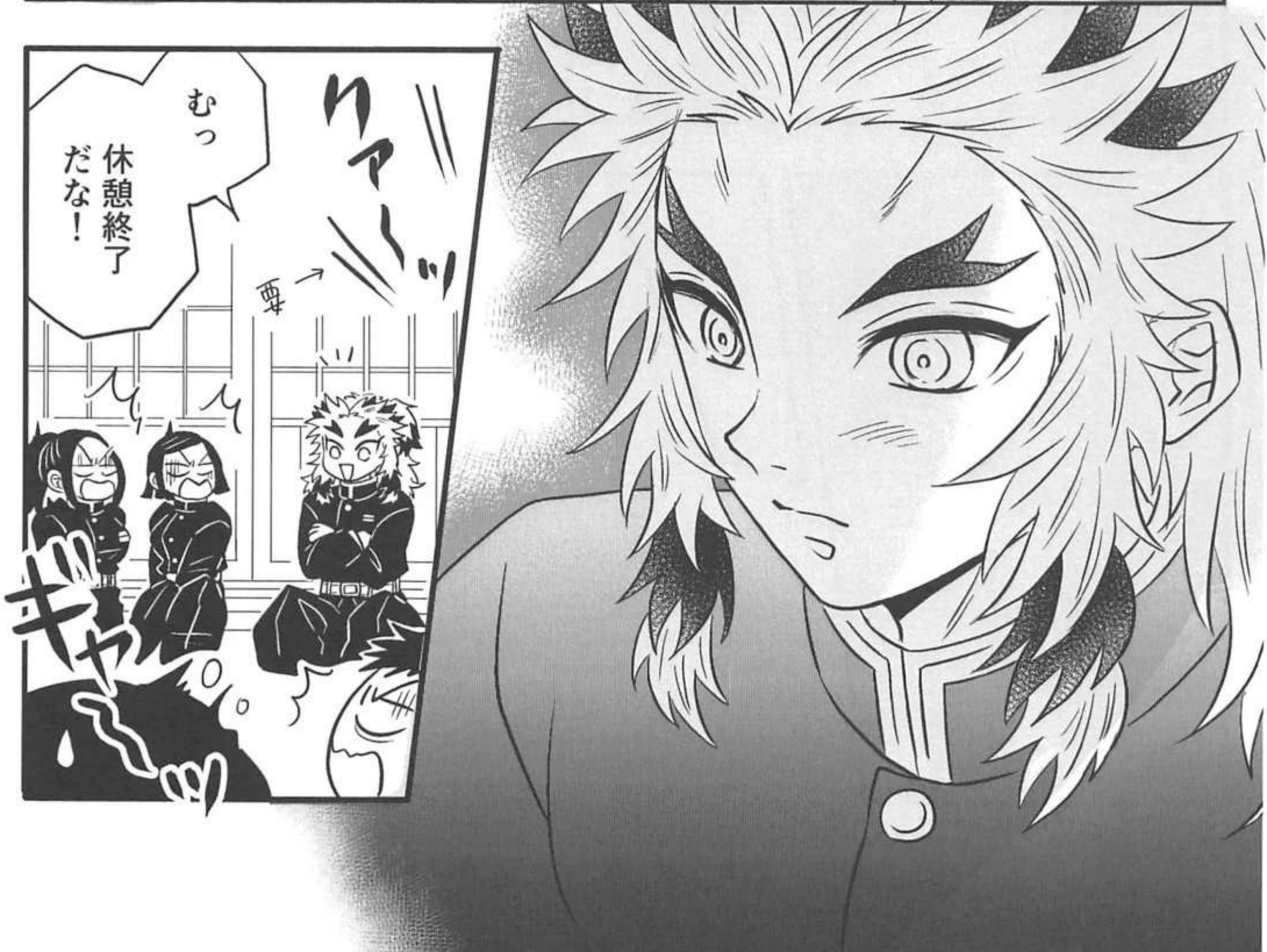
今どっちの
家に住むかで
揉めてるん
だよー

そっそれは
言わないで!



隊士と色話を
するのは
初めてだな

俺はずっと
剣技のこと
ばかりで…









何も案ずることはない——



……
どうかしてる



今は落ち着いている
証拠だ

異変があれば麗から
報告が来ることに
なっている



この数日間
周りに付いて
いくのがやつとで
全然鬼の情報を
掴めてないわ……

ありがとう
良かったわ

蜜璃は力持ち
でありんすな
お蔭で仕事が
楽になりんした



蜜璃っ

それ片付けたら
休んでいいよ!



おやすみ

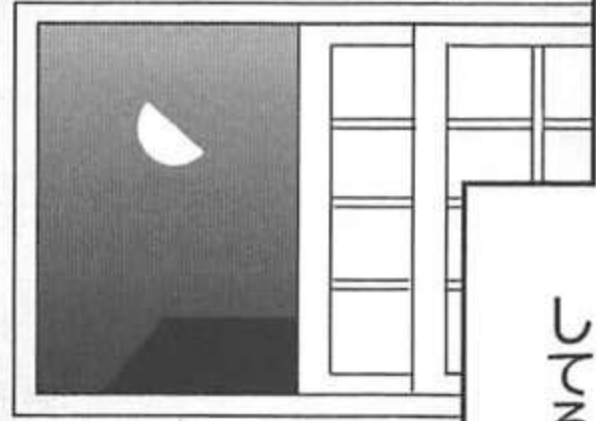
明日こそ
頑張らなくっちゃ

はっ……
はいっ!



師範…

元気に
してるかしら



お顔…
見たいなあ…



えへへ

こんな時の
ために

こそ

こそ



※自作



師範…

っ

っ





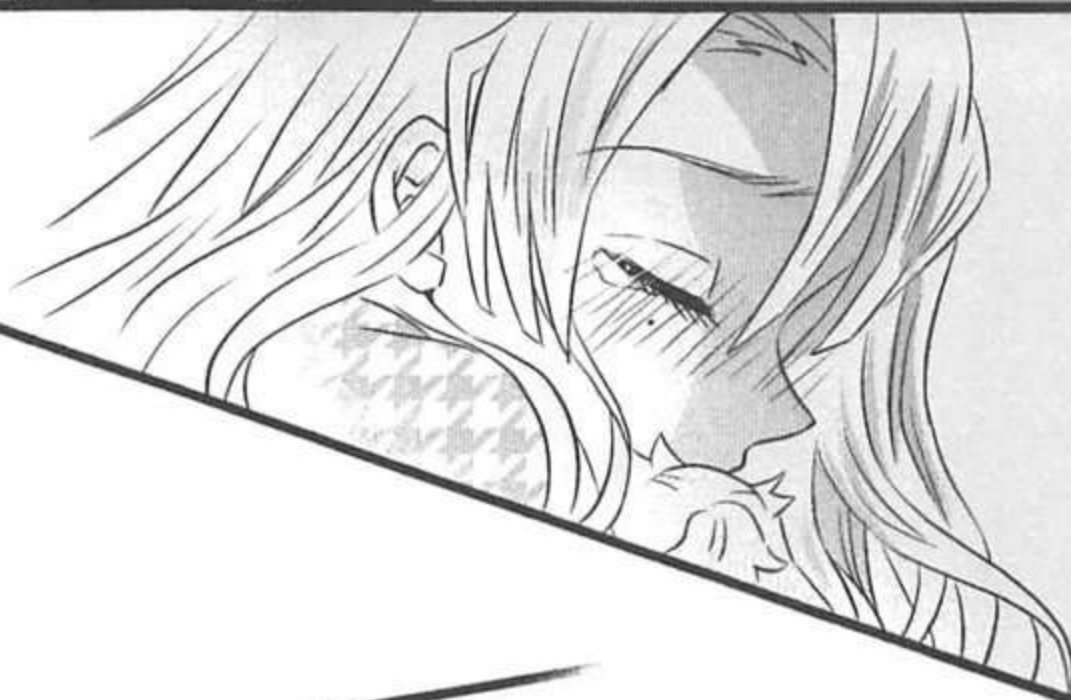
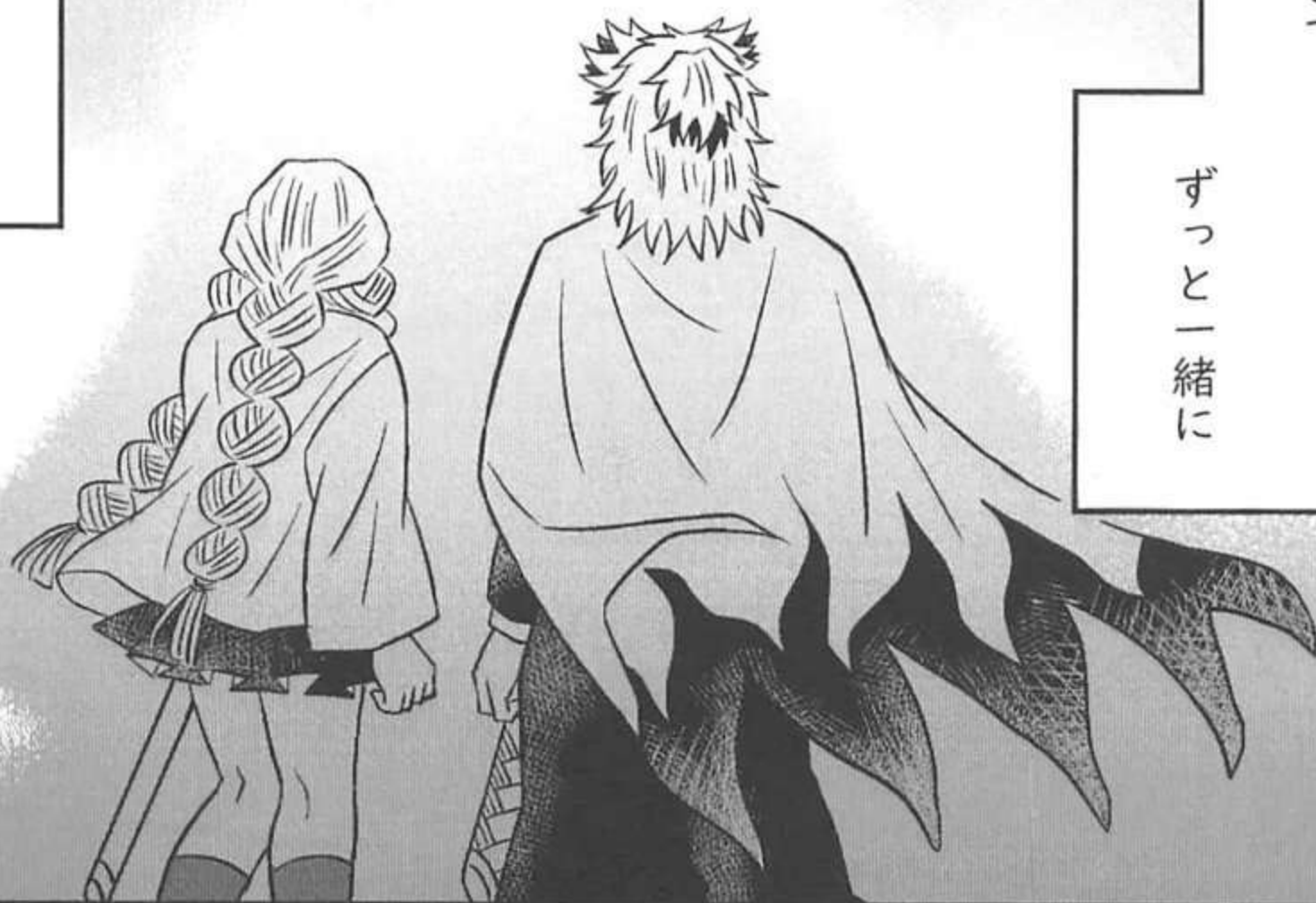
こんなに長い間
会えないなんて
初めてだ

今まで

ずっと一緒に

どんな時も

隣にいたのに

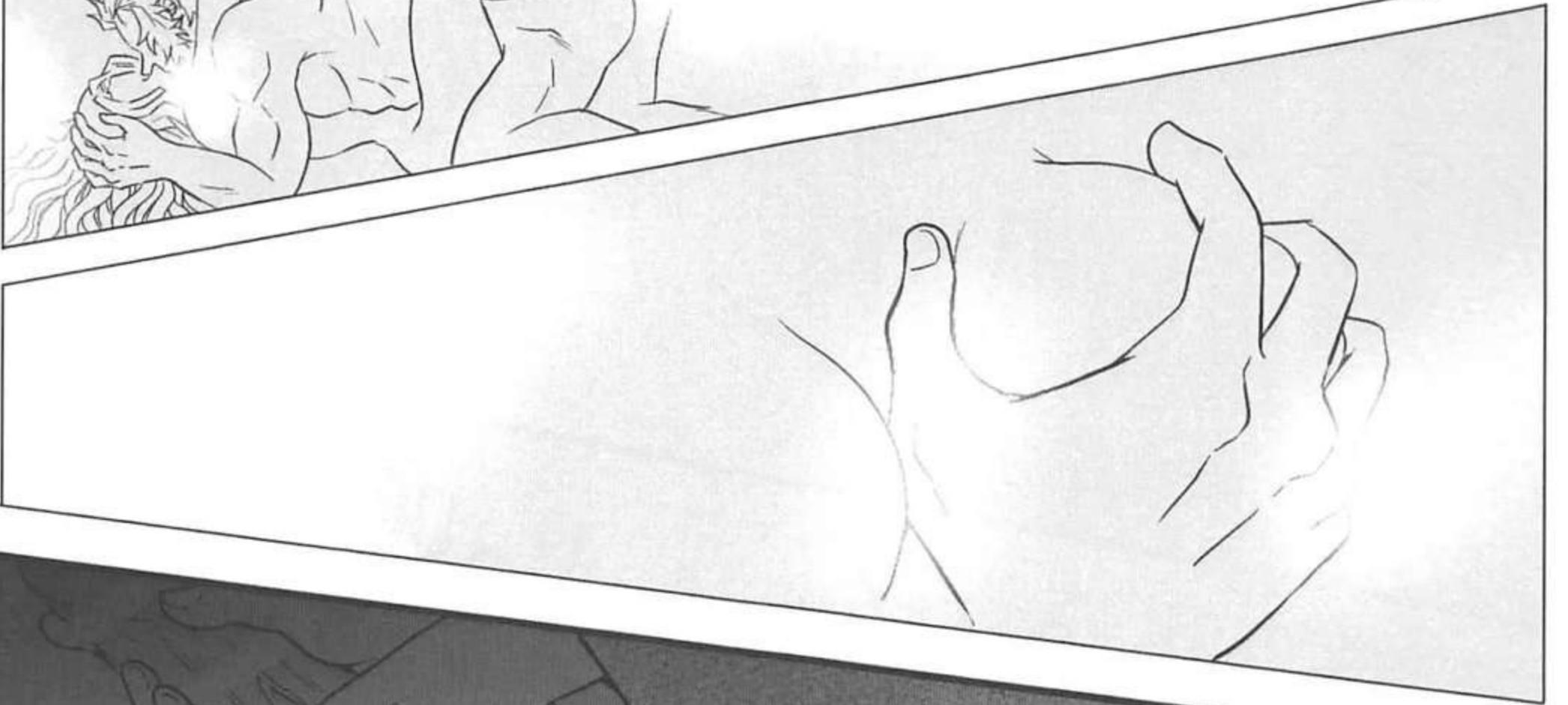
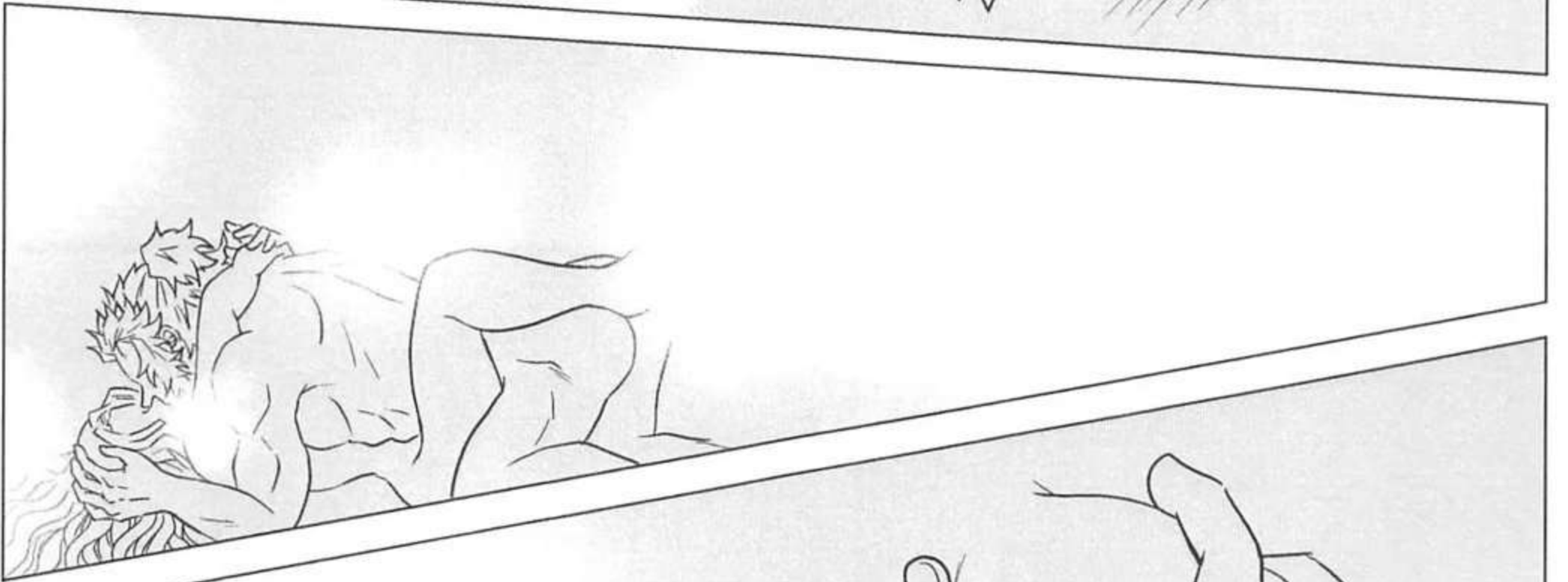


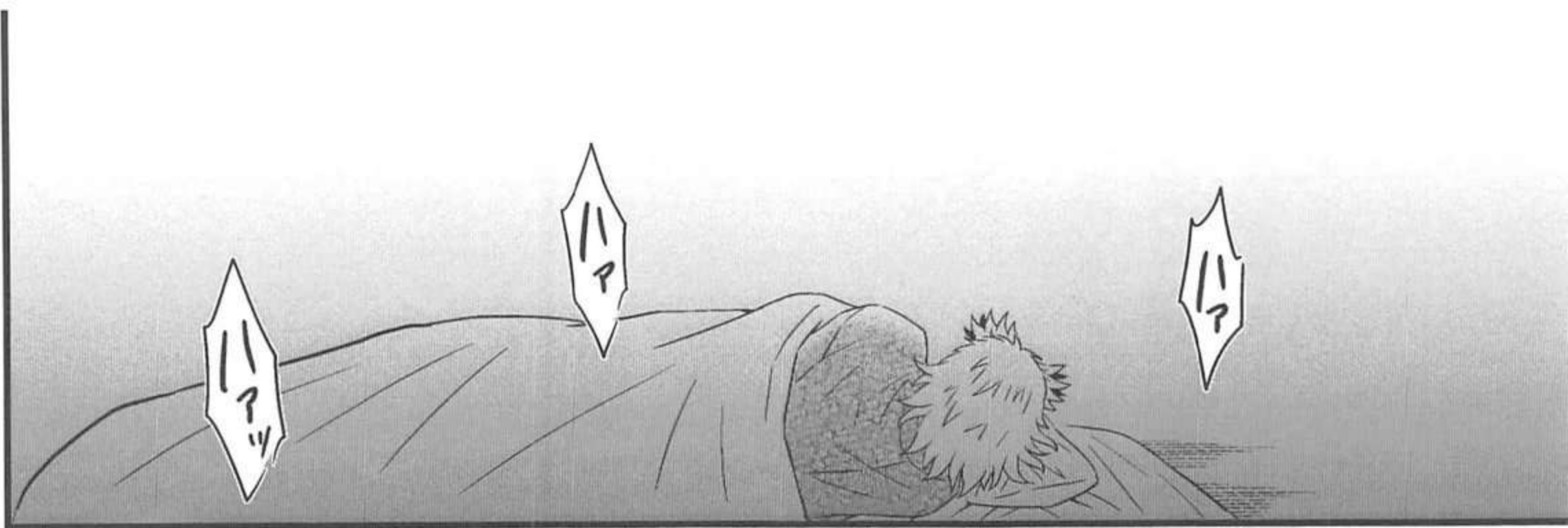
師範…



キスして...









今日
落ち合う予定に
なってるけど…

あいつ出て
来れんのかあ？

宇髄！

君は奥方たちと
長期間会えず
寂しい時は
どうしている？

嫁たちに
会えない時？

何回か
あったかなー

鬼を追って
そのまま
帰れなくなって

まー基本
家には
帰ってるけど

野郎たちと
野宿したことが

サークル合宿の
ノリだな！

カンパニー

静かな夜は
嫌な過去ばかり
思い返しちまう

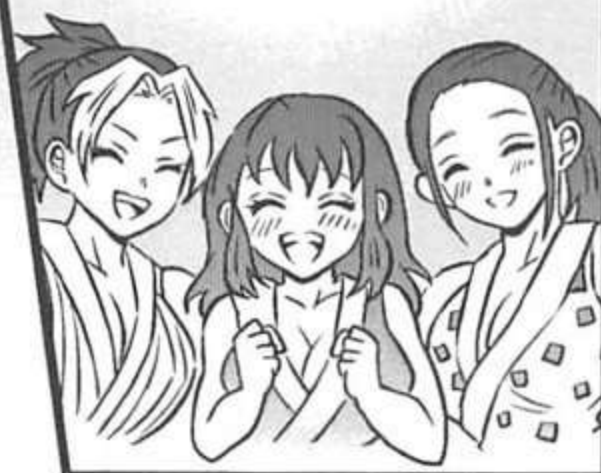


あいつらには
感謝してるよ



まあ

自分が
寂しいって事は――



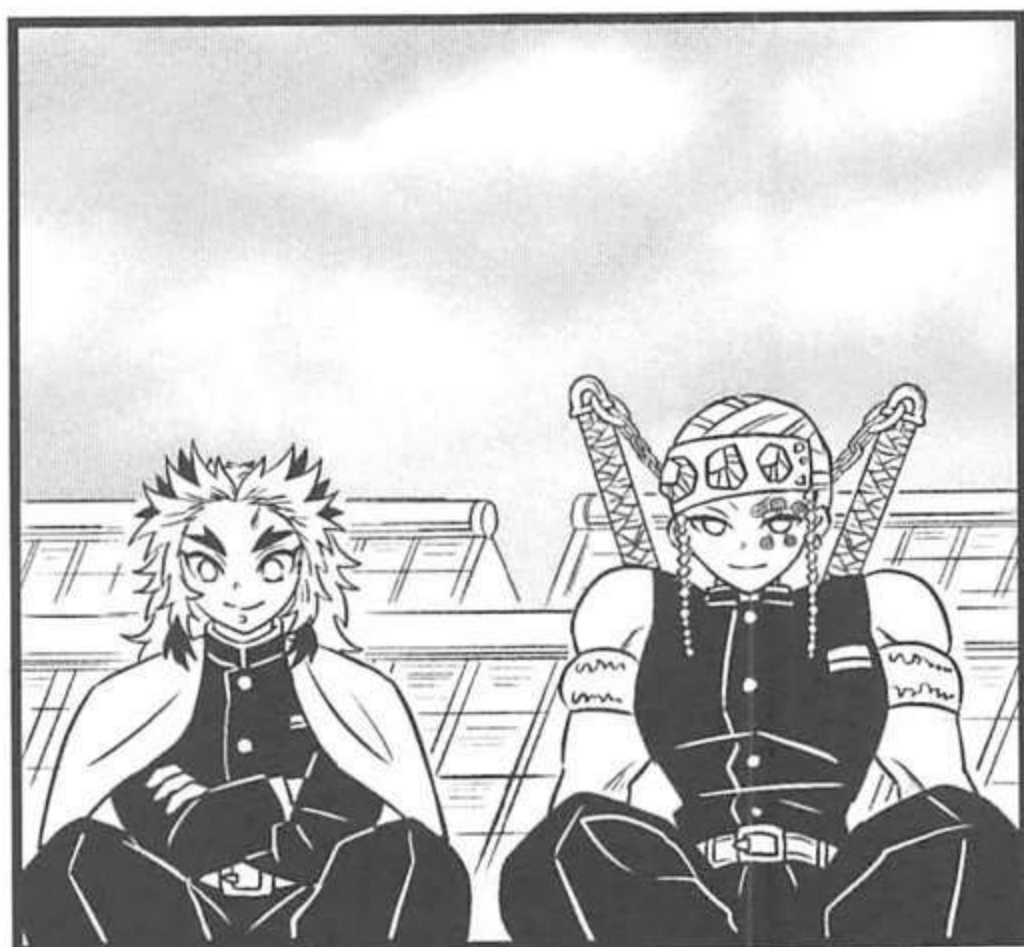
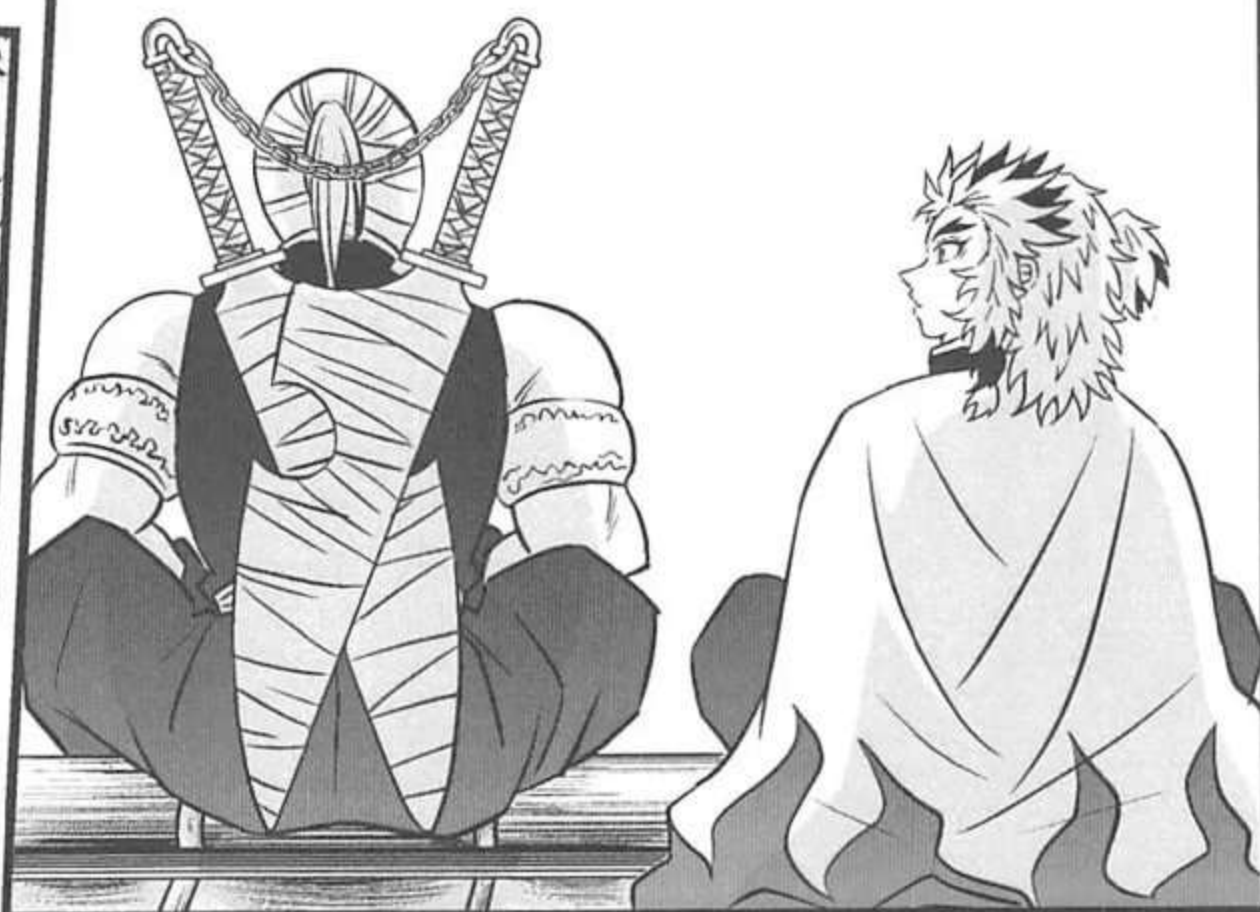


相手も同じ思い
してるってことだろ



つらいのは
自分だけじゃねー
って思えば

大抵のことは
乗り越えられるん
じゃないの



なるほど！

さすがだな
君は！

そーか？

何？
その質問



え：お前今寂しい時つて
言った？寂しい時つて？
お前継子と離れて寂しい？
つて思ってるの？そんな
すまじた顔してるけど本
当は心の中じゃすっげー
寂しいって思ってるわ
け？何でそういうこと早
く言ってくれないの俺
家に来て気を紛らすとか
できたじゃんてかさつき
から表情が1ミリも変わ
ってないからお前の感情
外からじゃ全然分からな



煉獄クン

君は
もしかして…

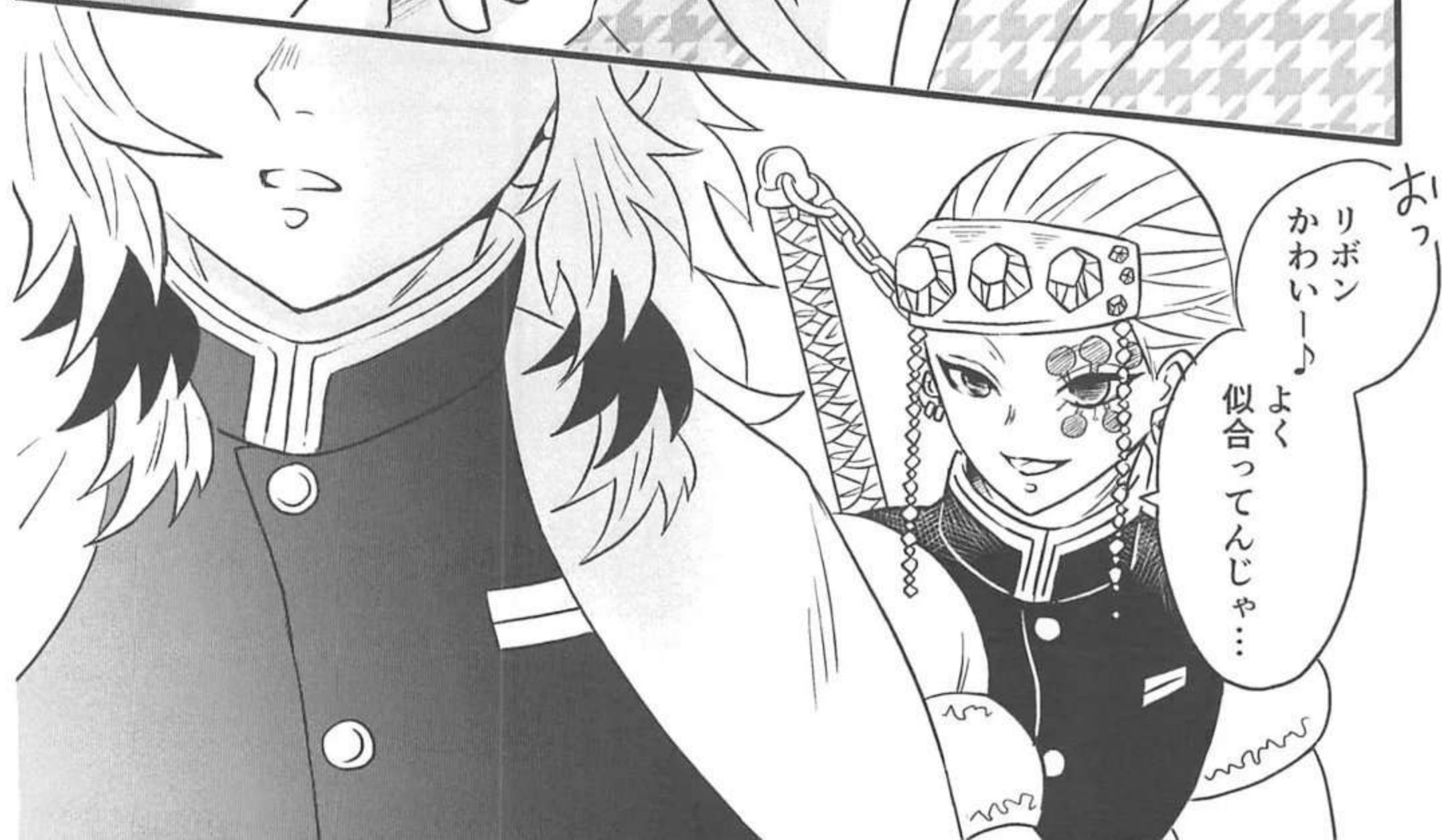
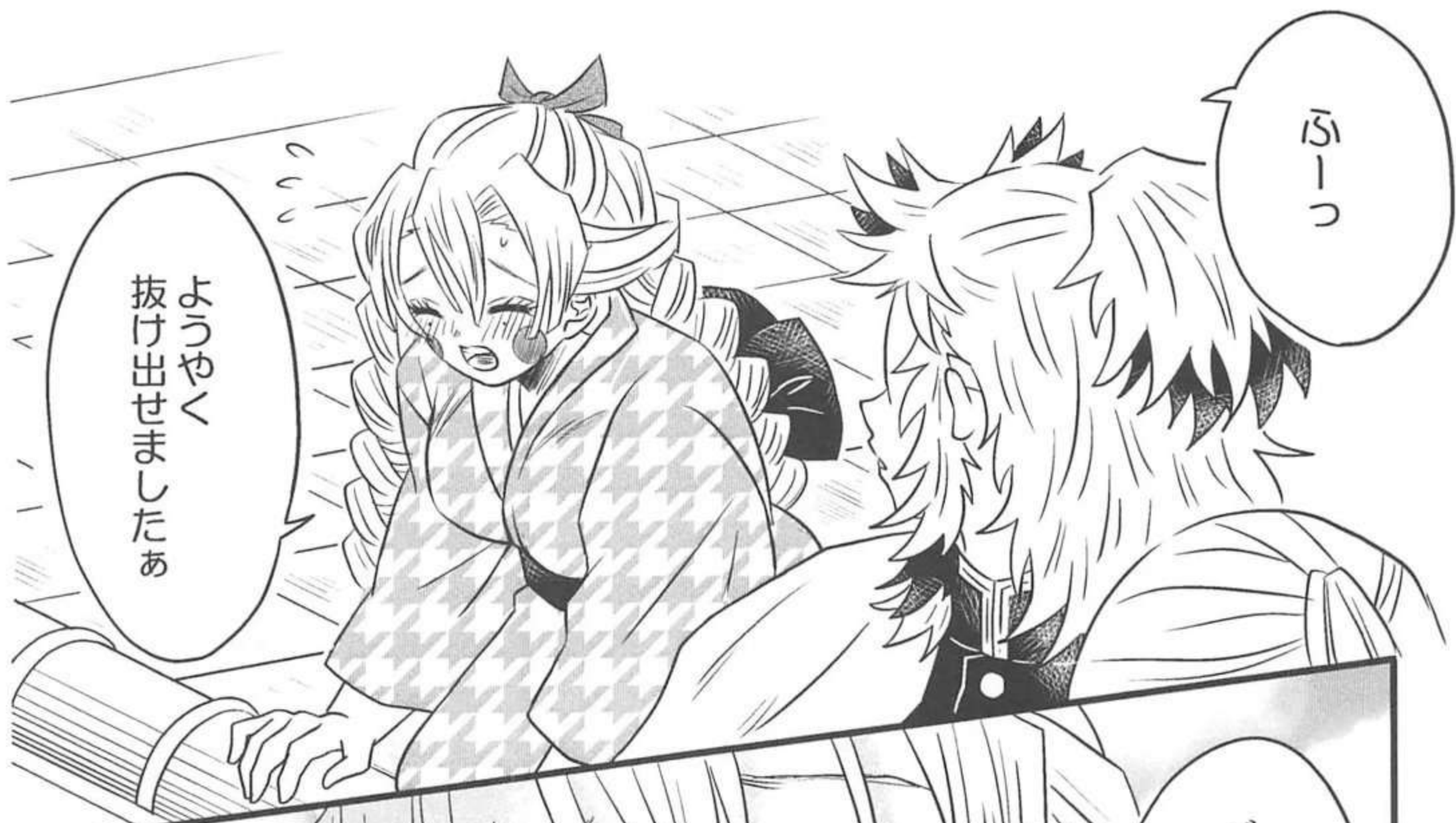
近いな!!

遅くなって
すみませ〜ん!



なんだ!

うおおお
おおおっ!!





俺が身請け
しよう

いくらだ

煉獄!!

こんな娘が店にいたら
危ないだろ!!

だからそこは
腹を括った
だろうが!

やっぱりダメだ!
家に連れて帰る!!

連れて帰って
何する気だ!!

※しばらく遠距離
だったので
少し壊れた師範

知っている!!

すまん!
突然無性に
買いたくなった!!

何遊女買ってたんだ!!
てかそれ甘露寺だぞ!?

くたあ

早まってんじや
ねええええ!!



詰まるな

余計
あやしーわ

ナニって……!

そっ……

それは……!

……!

——
で?



我に返った
師範

何か
分かったか?

はい……
ええと……

先日
花魁と禿ちゃん
外に出たのですが……

昼間に外を歩けたので

その人達は鬼ではないようです

おいしい天井のお店に連れてってもらってえ…

もうほっぺたが落ちちゃいそうでした

次の日は初めてパンケーキというものを食べさせてもらって…

その次の日は和スイーツ巡りを…

おはぎが絶品だったので廓にお土産で百個買っていったら超絶喜ばれて皆でおいしく頂いてやっぱり甘いものを食べてる時は至福の時間だわって思っ

うんうん

てて 知ってる

鬼の情報は？

すごいぞ

甘露寺!!

周囲とうまくコミュニケーションが取れているようだな!

感心感心!

部下のモチベ
アップ戦術
↓
結果よりも
過程を認める

食い物の話ばっか
じゃねえか!!!!!!

次は花魁が
廓の中で接触
してる人間を
調べるんだ

そうだな：
一日3人でいい
から書き留めて
おくことは
できるか？

部下の育成法
☆☆ ↓
明確な指示を
与えて
短いスパンで
進捗を確認する

ぎよ…御意！

五日後に
また来るぞ

まだ被害が
出てないようだから
いいが…

それにしても
鬼が遊郭に拘る
理由は一体何だ？

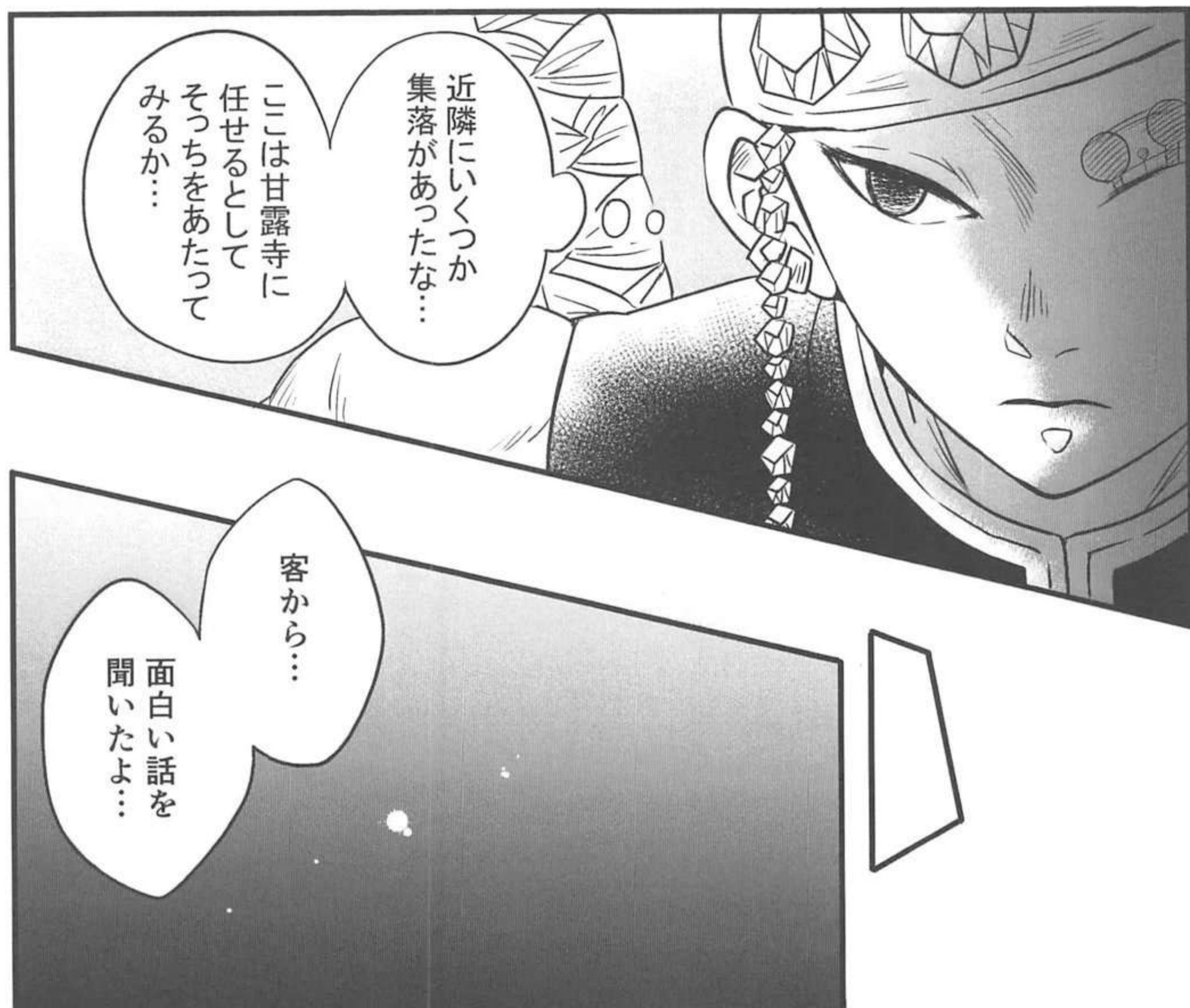


近隣にいくつか
集落があつたな…

ここは甘露寺に
任せるとして
そつちをあたつて
みるか…

客から…

面白い話を
聞いたよ…



西の方の
集落に…

鬼が出たん
だってさ…

…成りたての
軟弱な鬼共だろ…

俺の配下にいる奴らは
そんなバカな真似
しないぜ

ふふ…

賢い人…

さすが
わっちの…

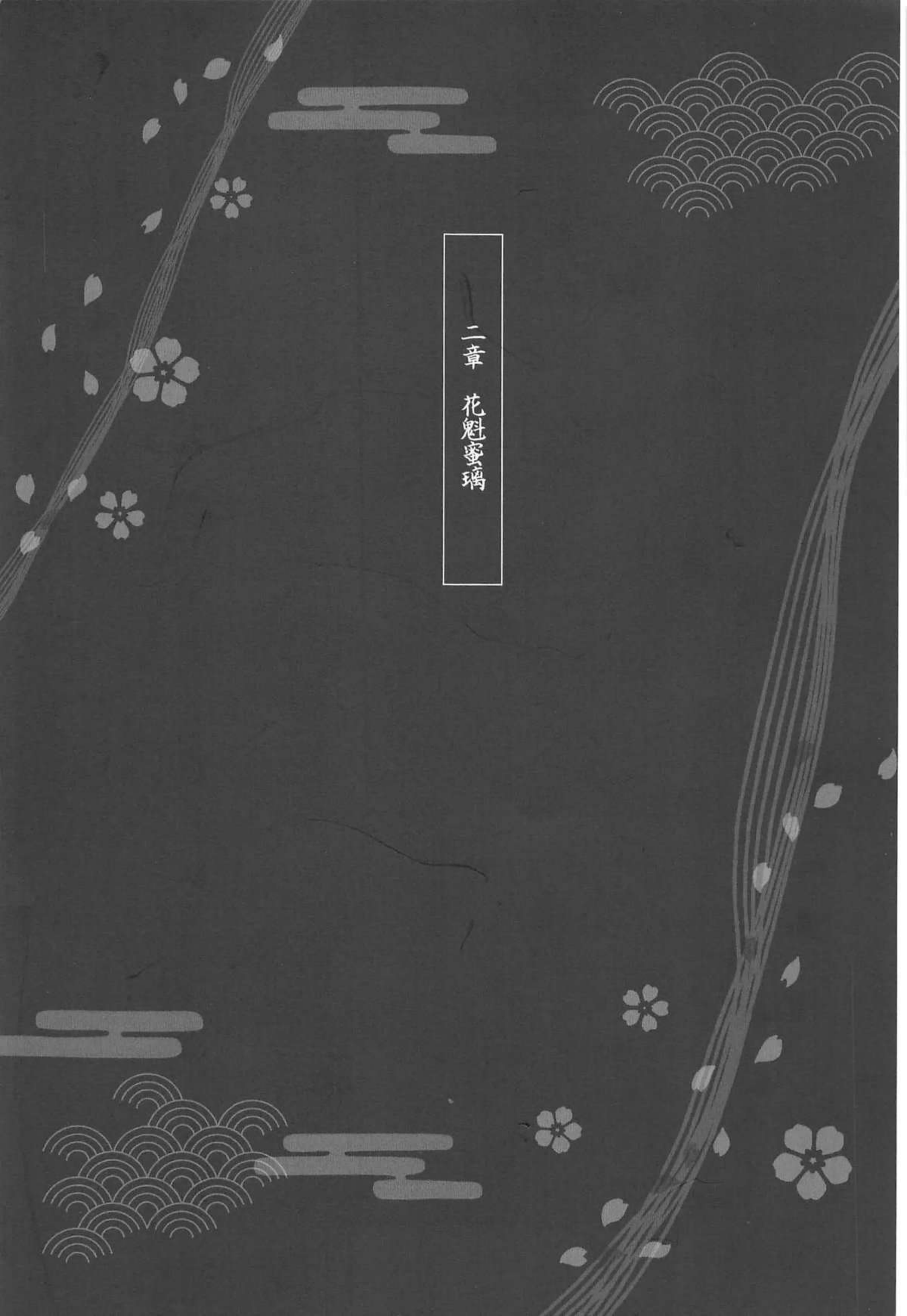
旦那様だね

どんだけ
食べるんだい
この子は!!!

☆ 抜け出しがバれて
満腹の刑を受ける
蜜璃ちゃん



二章 花魁蜜璃



花魁の動向を
探らないと
いけないのに

仕事に
追われて

全然詮索
できてない！

かゆいねん

どうも

あれ？
禿ちゃん
花魁は…

しーっ

本命のお客さん
かしら

キュン♡

女将さん
蜜璃を呼んで
欲しいのだが

すみませんね
あの娘はまだ
初見世前なんですよ

そうなのか？
もったいない

間夫が来てる時は
傍に寄ったら
怒られるで
ありんす

あっち行ッ

？

まぶ
間夫…？



確かに
客の評判も
いいし
そろそろ見世に
出してもいいかもね

あ：
ありがとう
ございますっ

ああ：

しかし
ここは村人が
少なくて
良かったな

ケガはないか



鬼に襲われない
集落？

何でも
鬼に襲われない
集落があるという
噂があつて：

何人かは
避難して
いたんです





甘露寺とも
連絡が取れなく
なった

し
し

まああいつは大方
前回の抜け出しが
バレたんだろうな

煉獄また
客で潜入
できる？

うむ！
準備は
できているぞ

正面から
行けばいいか？



ギョッ

どうすっかな…
入っても中で
あいつに会えないと
意味がな…

あっ！！



鬼って本能で
人を襲ってるわけじゃ
ないんだな

だからって特定の
集落を避ける意味が
分かんないけど



あいつ張見世に
はりみせ
出されてんぞ!!

なるほどその為に
監禁されて色々
仕込まれてたって
ことか

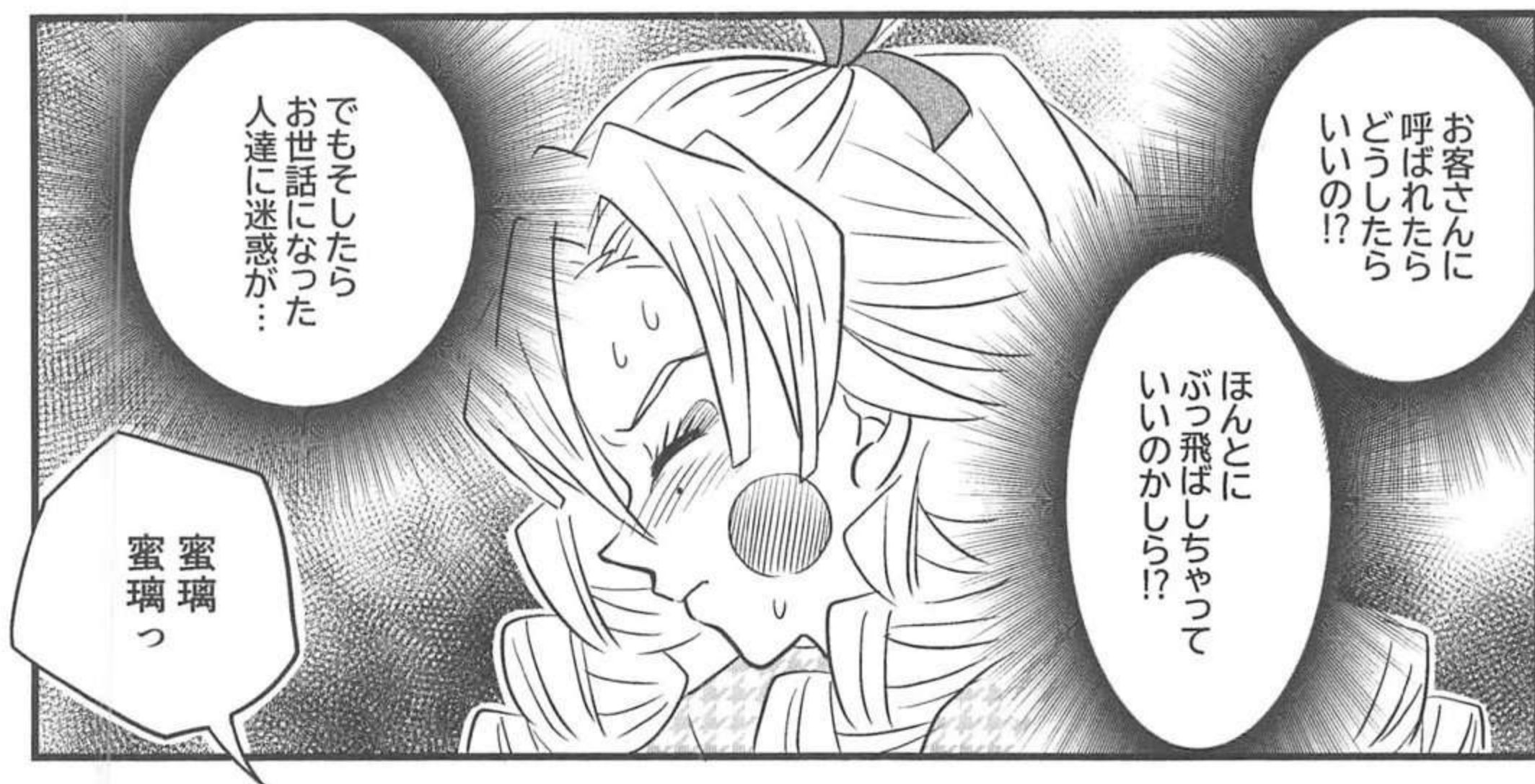
こんな短期間で
大出世じゃん

さすがお前の
継子だ

な…

どっ…
どっ…!!

こんなことに
なっちゃった
の——っ!?





か...覚悟を
決めなきゃ

これも
任務のうち
だもの

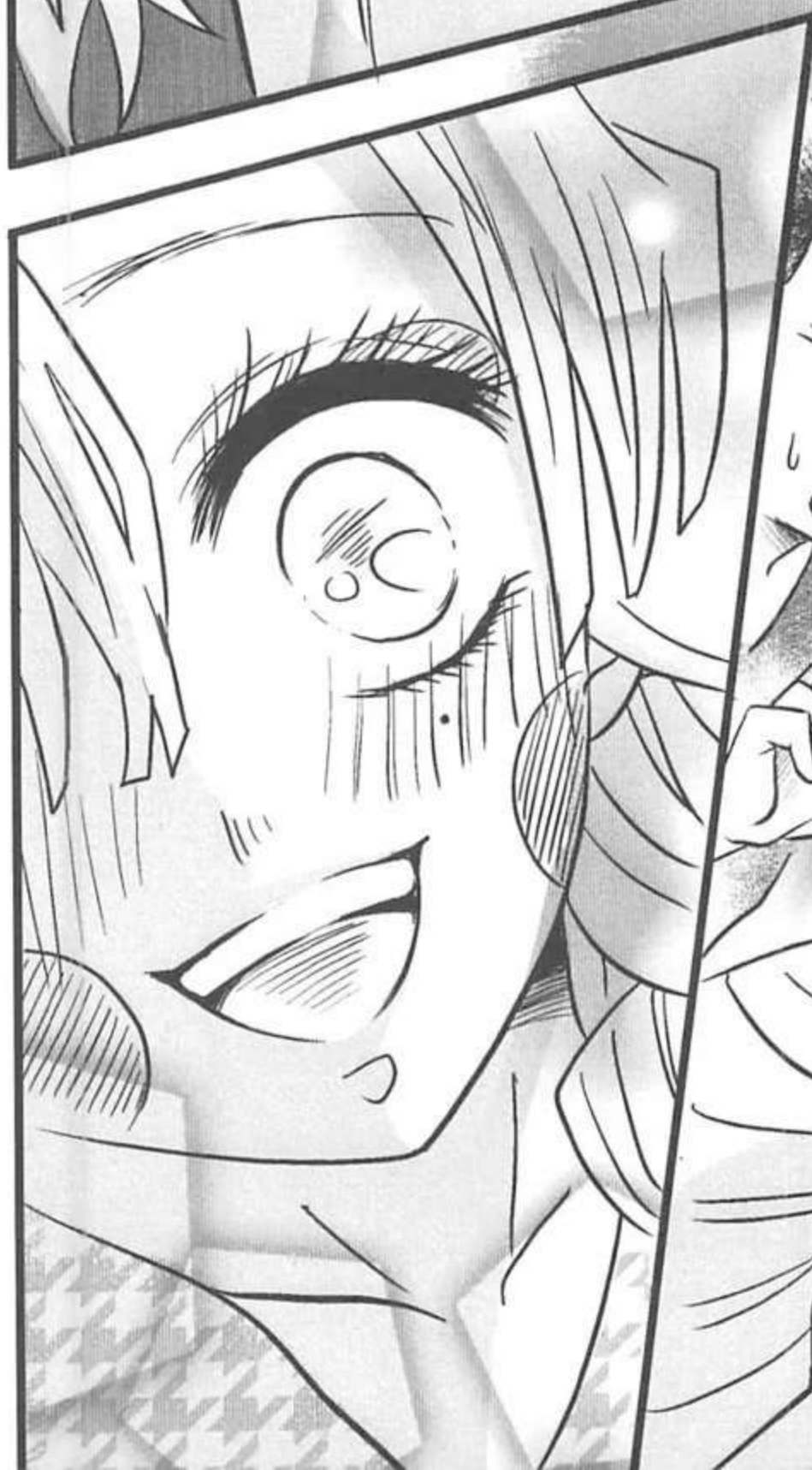
だば

でっ...でも
怖い...!!

だば

だば









この数日間の
報告もようやく
受けることができ…

見世に出されて
いたとはいえ

甘露寺が無事で
何よりだ



あっ

ああっ

あんっ

むっ



お待たせしました



成程

壁が薄いので
話声の大きさには
注意が必要という
いうことだな

ほっほっほっ
いい鳴き声
じゃのう

あゝもうだめ
わっち
しんじまうよ…

?

おいでくんなまし

ミ
カ
ラ

ようこそ





主様
どうか

今宵の月夜の
間だけは

わっちを貴方の妻に
してくんなんし



お目にかかれて
嬉しうござんす

わっちは
蜜璃と
もうしんす



とてもよく
似合っている！

ほ…
本当ですかっ!?

思わず

息を呑むほどー

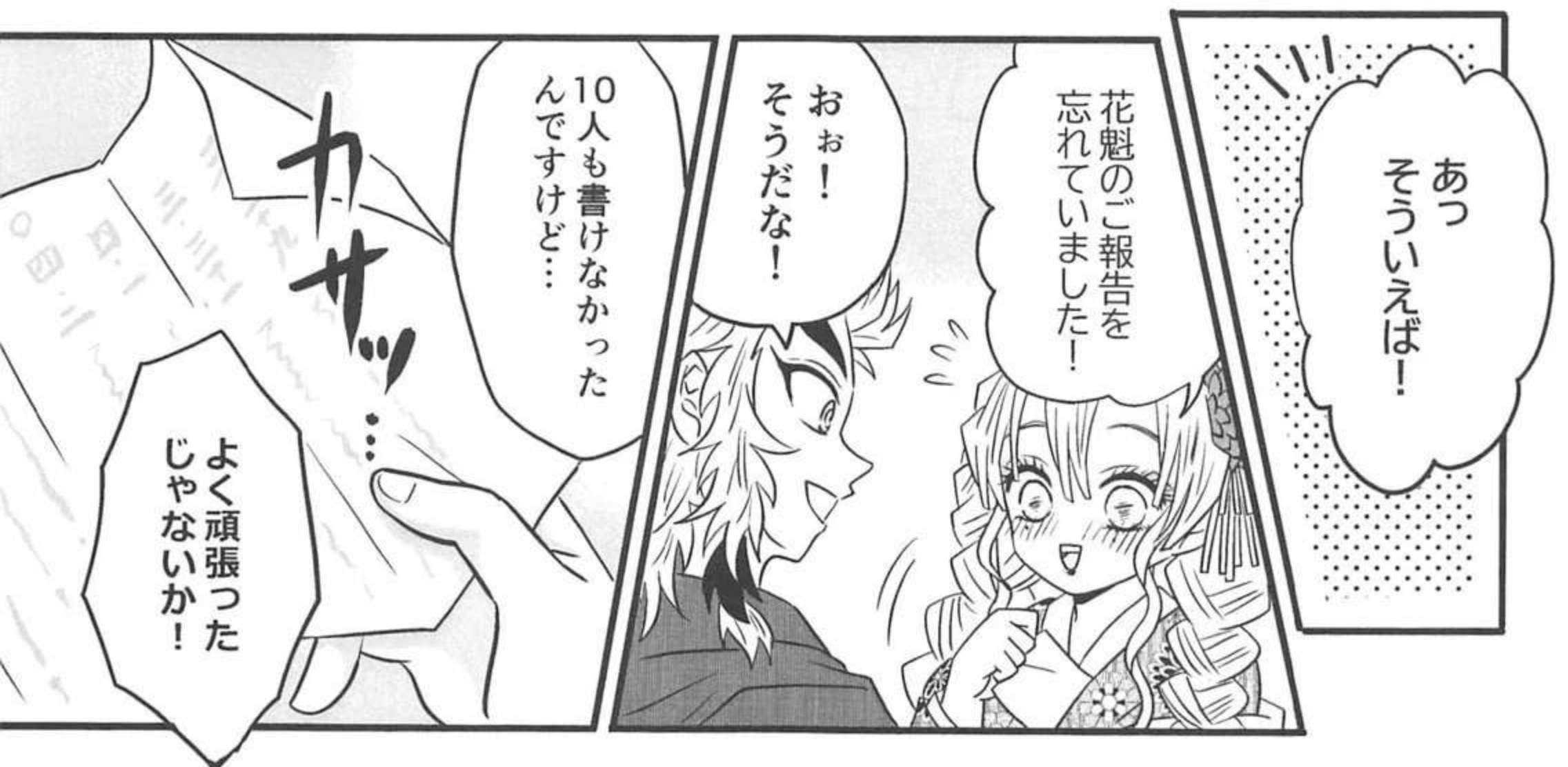


残してくれたもの
みたくて……



煉獄様が……

蜜璃を……?





匂い…

師範の…

あ…

わ！私ったら
何を考えてるの

だめよ
任務中なのに

どうしよう…
動悸が
止まらない…



呼吸…
呼吸を使つて
落ち着かなきゃ
…!!



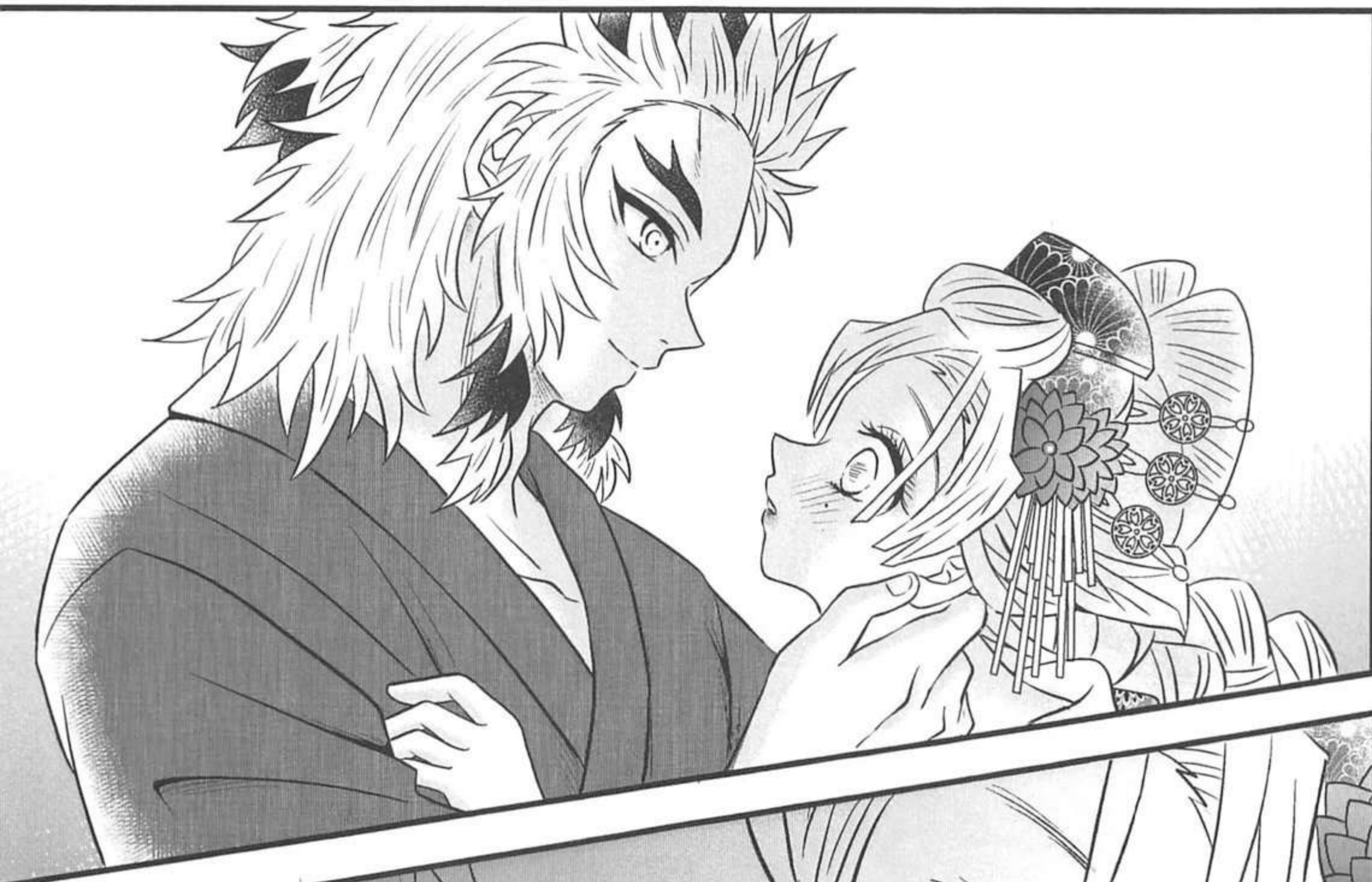
この印は
なんだ？

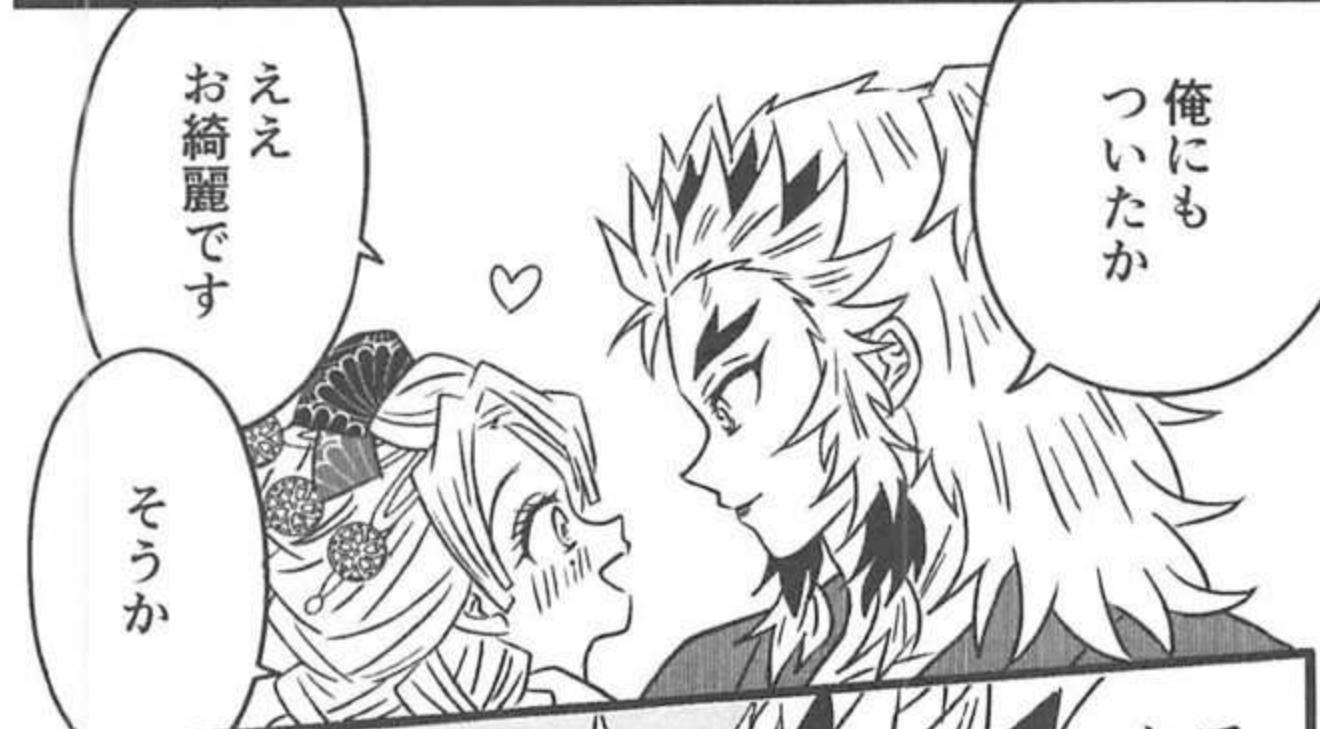
へあつ!?

あ…あああの
それはつ…









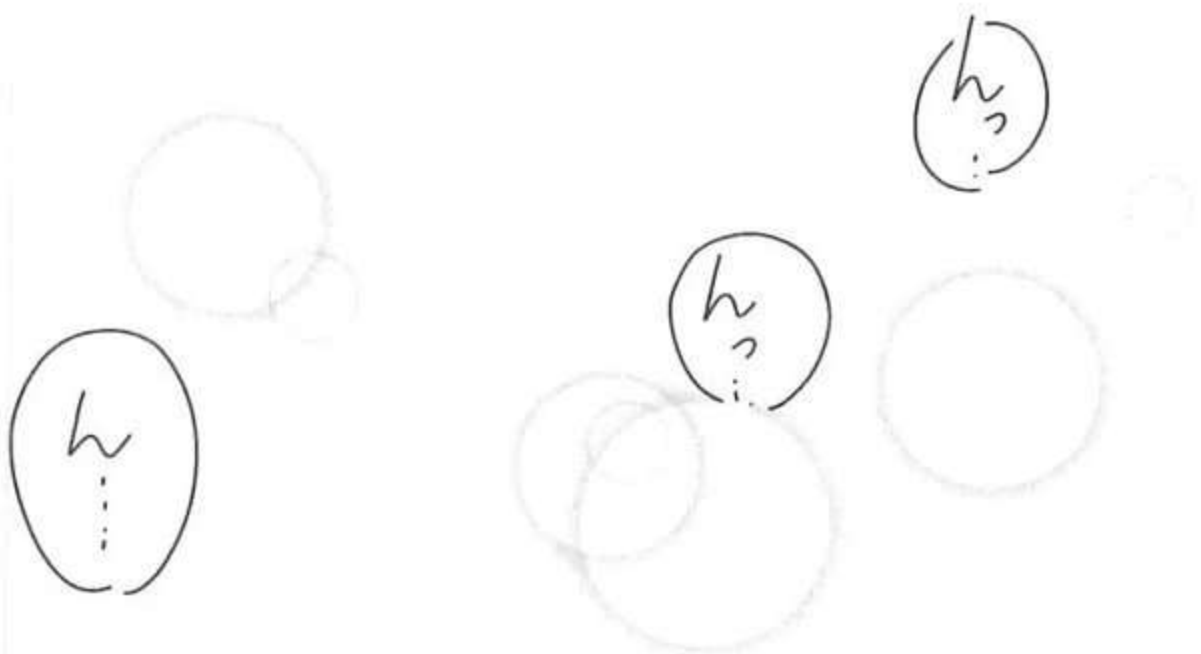


ん...

ん...

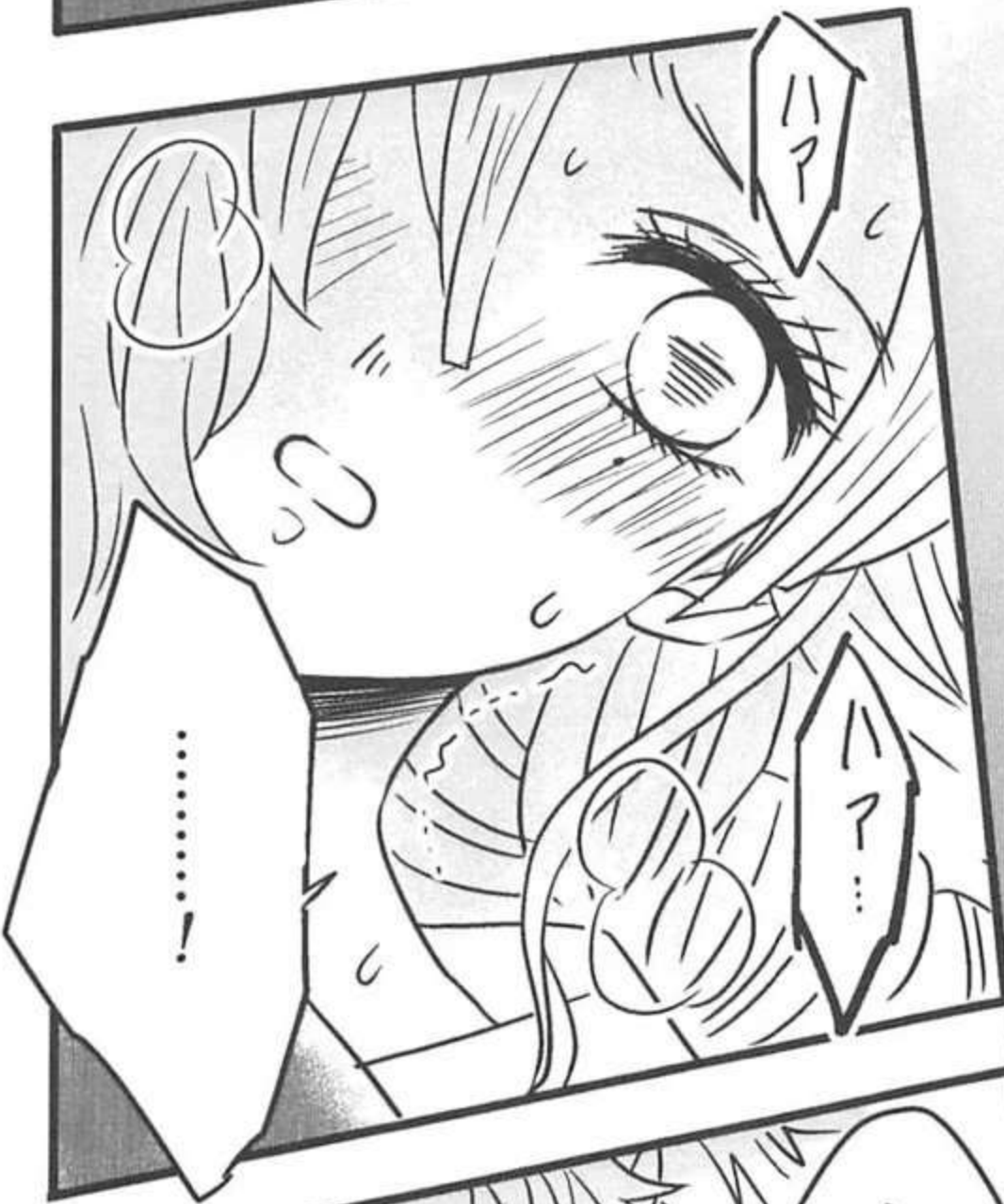
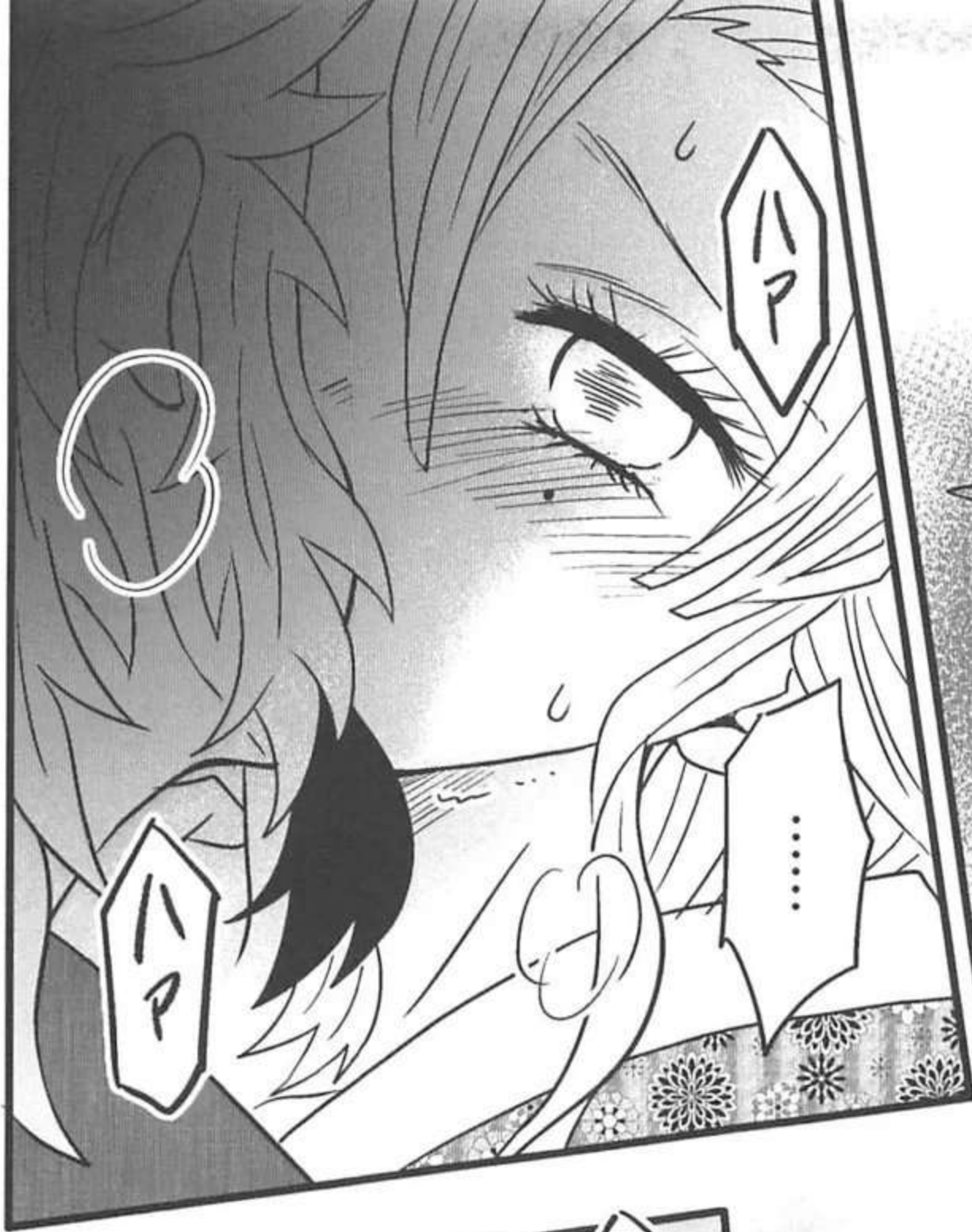
ん















蜜璃

君は今
俺の妻だろう

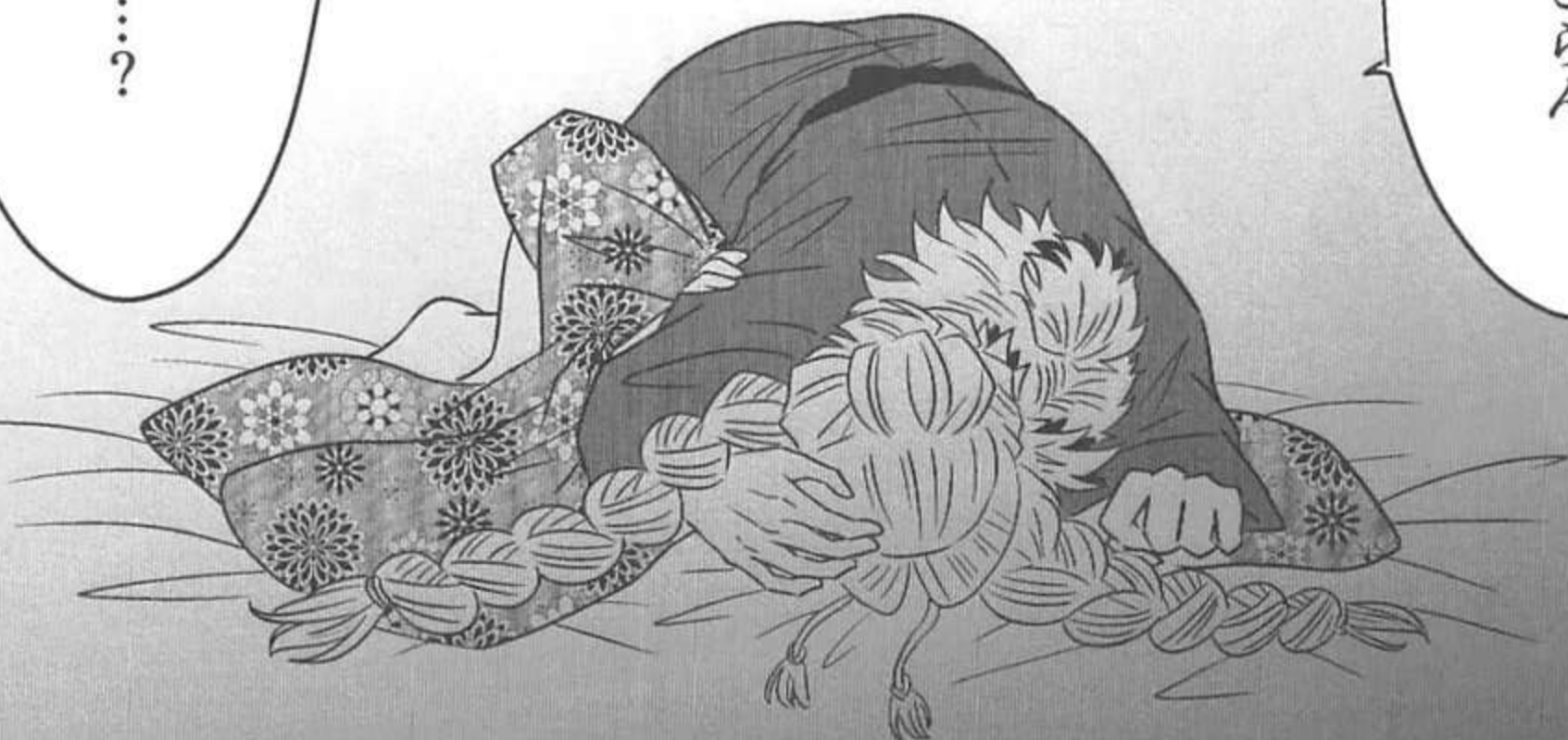


夫の俺に
隠し事をするのか……？



言ってごらん

どうしてほしい...?





あっ…

待って…

やっぱり
ダ…

ビュッ

あ、あっ

フム…

やっ…

あ…

あっ

あっ

あ…

あ

いっ…

いやッ…

やめて
いいのか…?

……

ああっ

あ…

お
い
タ
シ

あ…

ふ…あ…

特に
変わった様子は
ありません
でしたぜ

そう…

いやあ
それより

さすが花魁の
指導が行き届いて
ますなあ

え？

いい喘ぎ声
が
出てましたよ

とても初見世の
閨ねやとは思えねえ



客の焦らし方も
心得てるときた

あれは旦那も
その気に
なっちゃいますよ

まるで本物の
恋人同士
みたいー！

…下がって！

へえ…

?

?

お
い
い
な
い
…

お前
泣いてんの
かい？

おやおや

醜い顔だねえ

昔の男でも
思い出したの
かい？

ヒツ
ヒツ

心はいつまでも
生娘ってことか

アハハハ

廓では
惚れた方が
負けなんだよ！

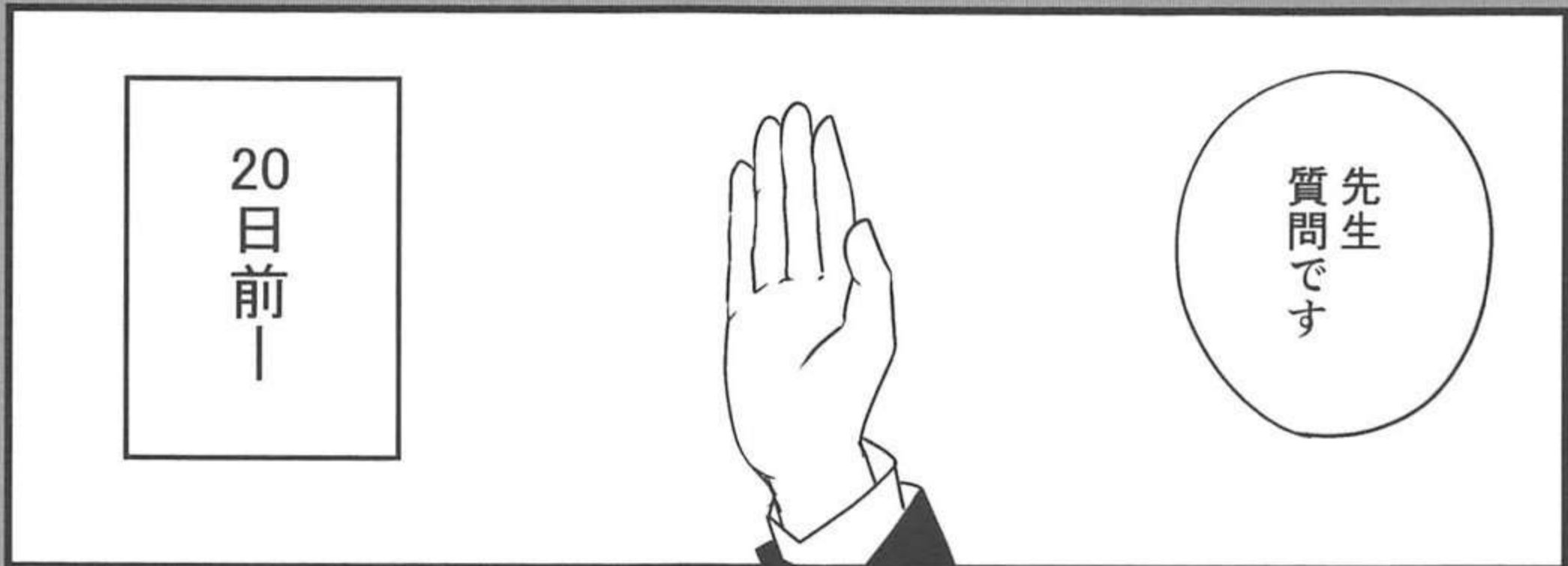
分かったら
いちいち涙なんて
見せるんじゃない！

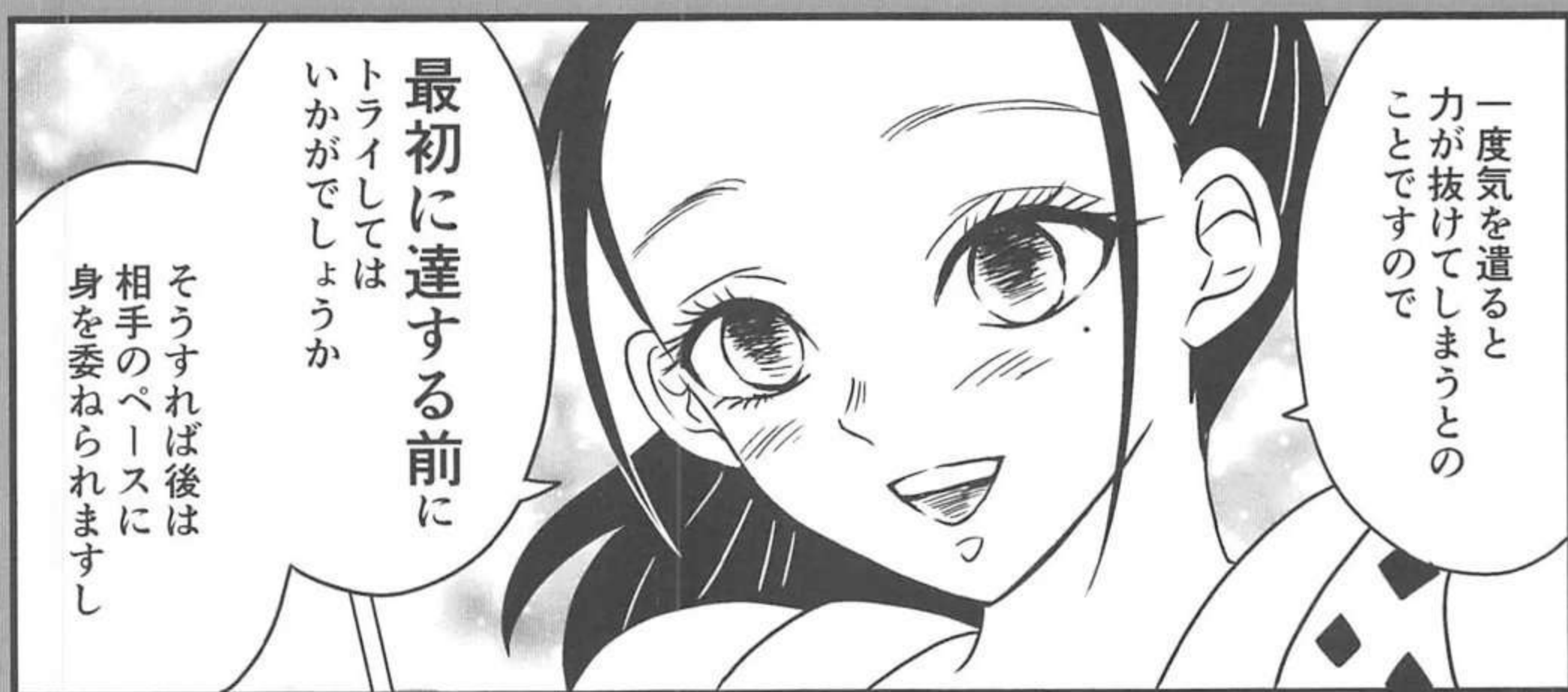
甘ったれんな！

目障り
なんだよ！！





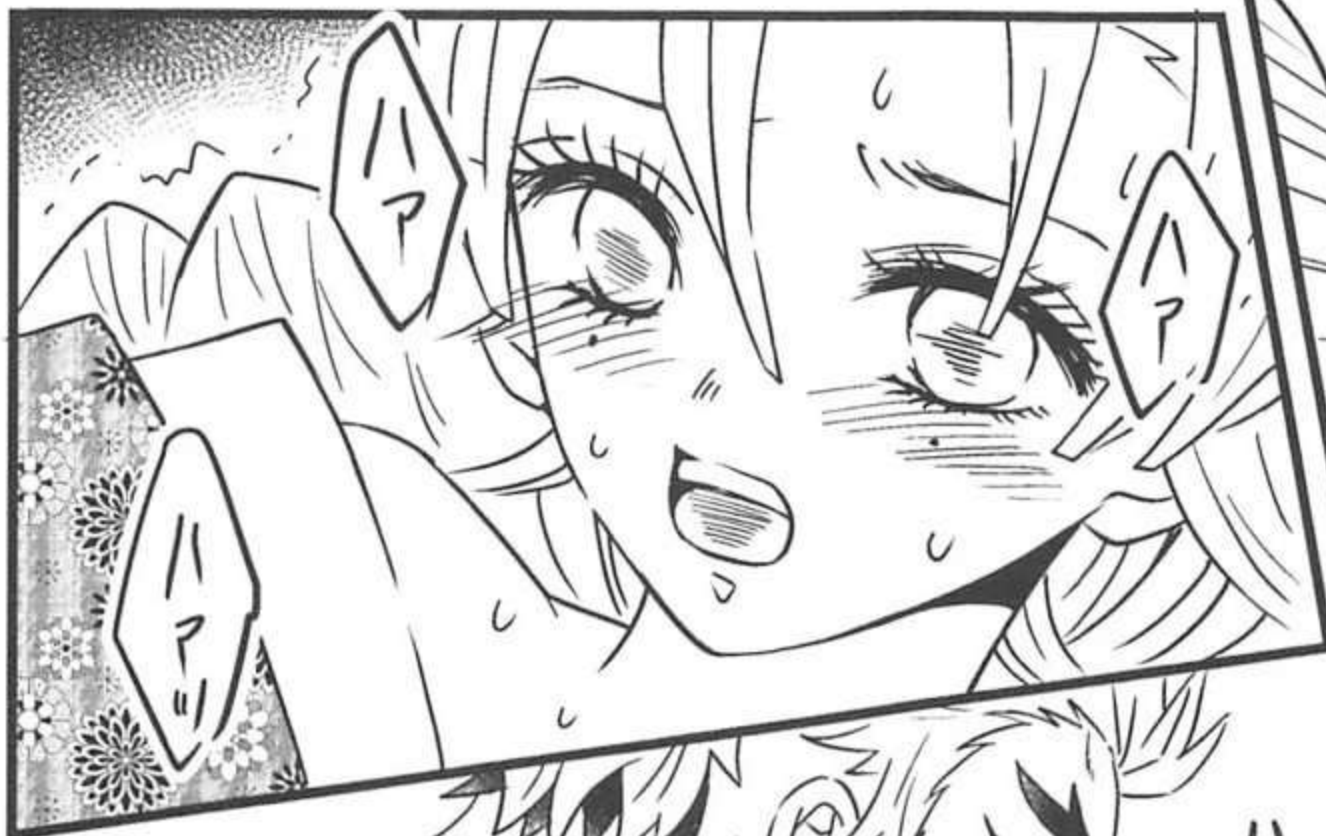




忘れる所
だった…!!

待って…

ダメッ!!



もう…

この…

ハアッ

ハアッ





痛みは
ないか…？

スー…

…あっ…

肌が敏感に
なって…

だめ…
だめ…

ビーン

ビーン

か…
感じちゃう…

蜜璃…

師範…

違う…
違うの…

師範は悪く
ないの…

そんな
悲しそうな
顔…

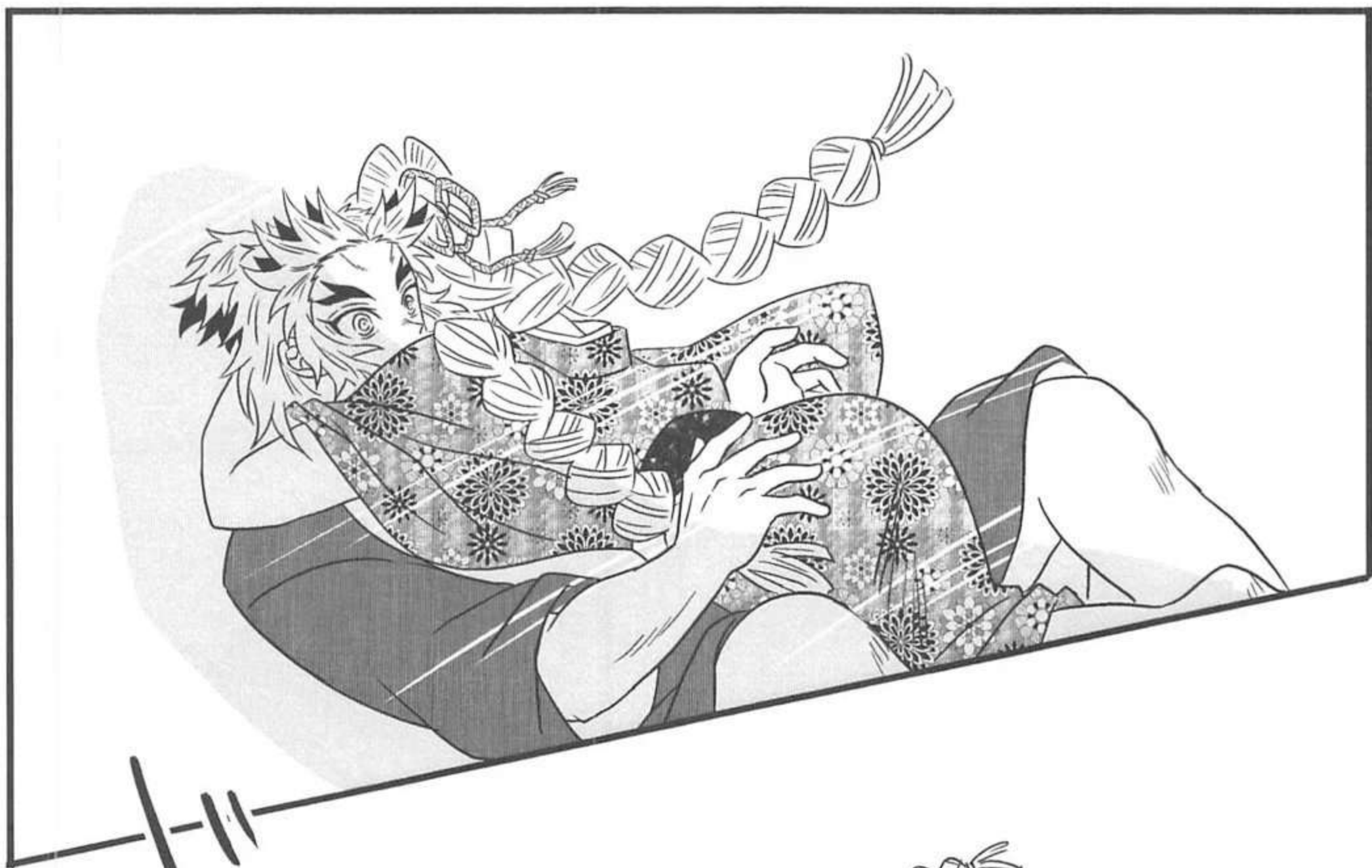
ハアッ

ハアッ

れっ…

煉獄様っ…





下
ッ
ッ
ッ







.....

ちゅ

男を
繋ぎ止めたきや
腕を磨け

花魁は見事な
腕前だったぞ

師範...



花魁と関係を
持っちゃったの？

いや...



そんなの
嫌よ

ちゅ

ちゅ

お願い

何でも
するから

ちゅ

私だけを
見て...







どうしたんだ！



ご…
ごめんなさい…

あたし…

うまく
できなくて…

ホロ
ホロ



い…
今の私じゃ…

師範を満たして
あげられない…

でも…
これから
頑張るから…

花魁の所に
行かないで…



なぜ俺が花魁の
所に行く？

今のお前では
満たせないとは
どういう意味だ

だ…だって
花魁の方が
綺麗だし
上手だし…

私もそう
ならなきゃって…

蜜璃!!

ビクッ

お前は
そのままがいい



人と
比べなくて
いい

欠けてる
ものなんて
何もない





例え
あったとしても



それも含めて
全部お前だ



俺は



もう
満たされて
いるから――



そのまま
いてくれ…

師範…

はい…

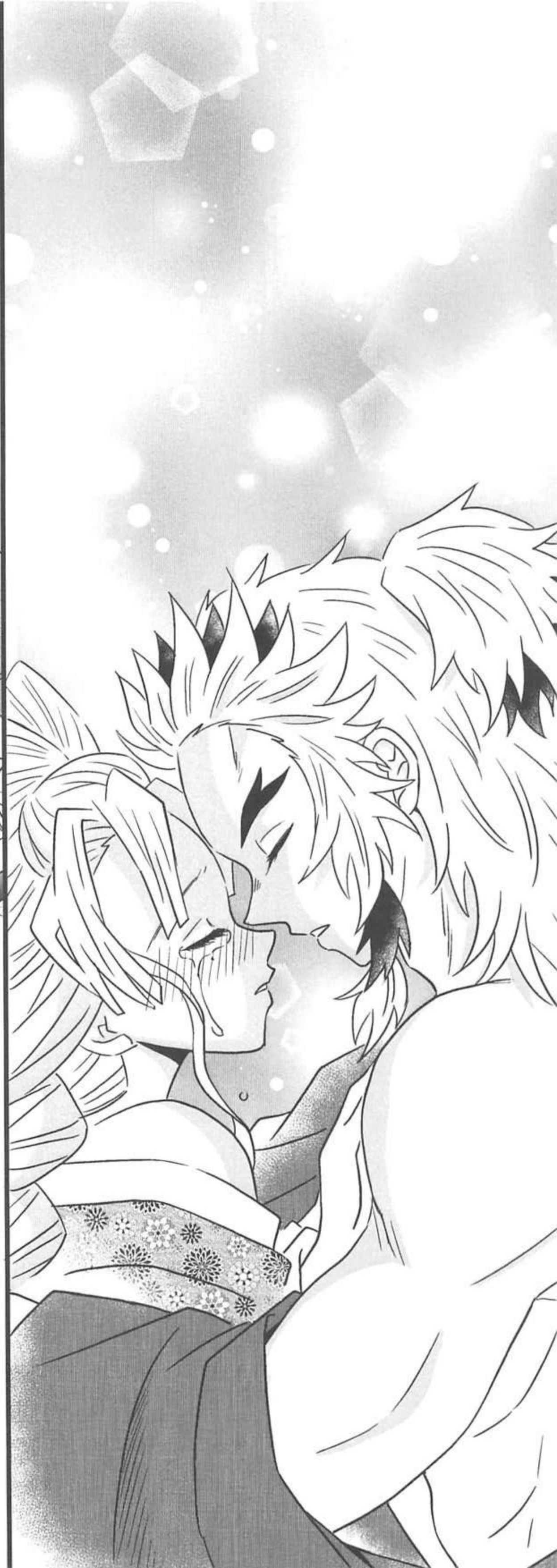
…今後の
事だが

グログロ...

見世に出されると
なった以上
ここには居られない

俺が楼主に
身請けしたいと
伝えるから

明日俺と一緒に
廓を出よう





嬉しい…

ありがとう
師範…

でも私…
まだ何の成果も
出せてない…

せめてあと
一日だけ…

ここで鬼の動きを
探らせてほしいの…

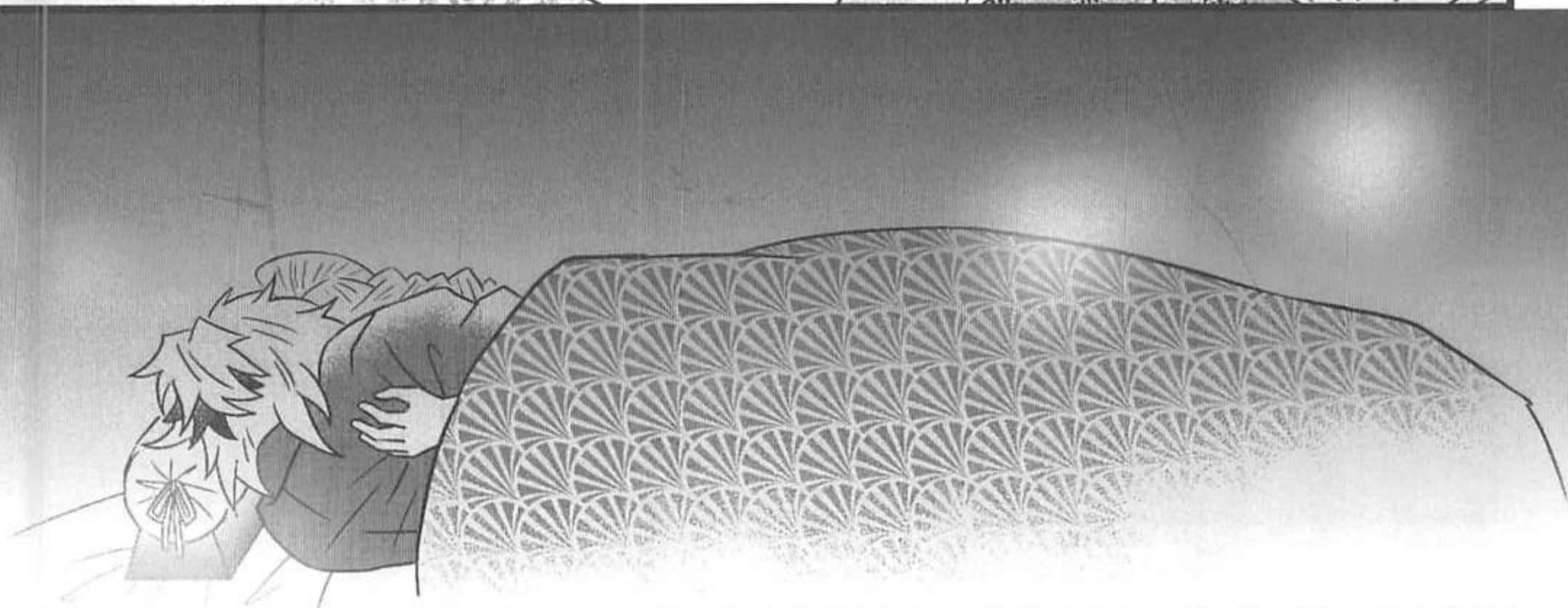
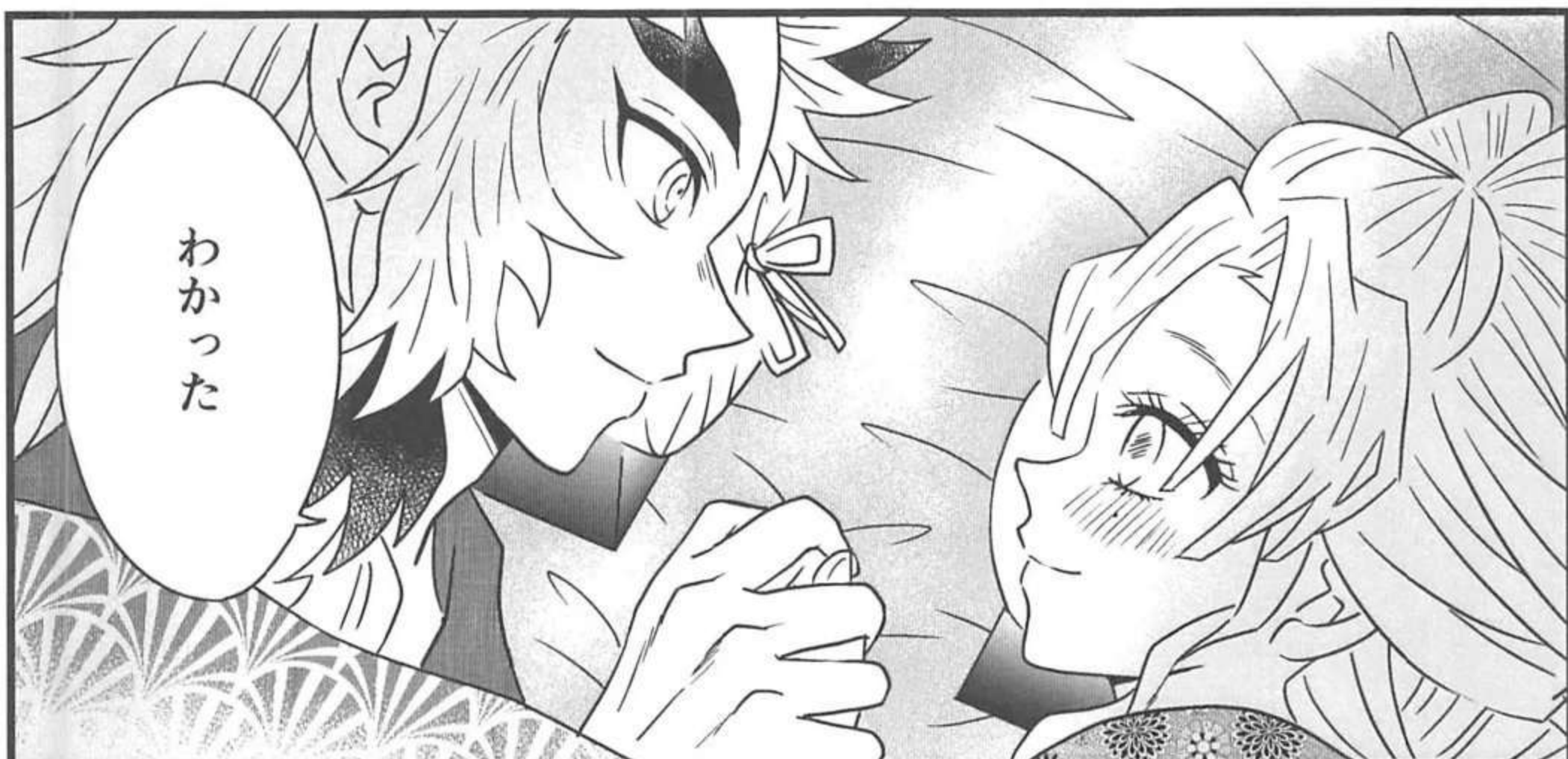


大丈夫
なのか



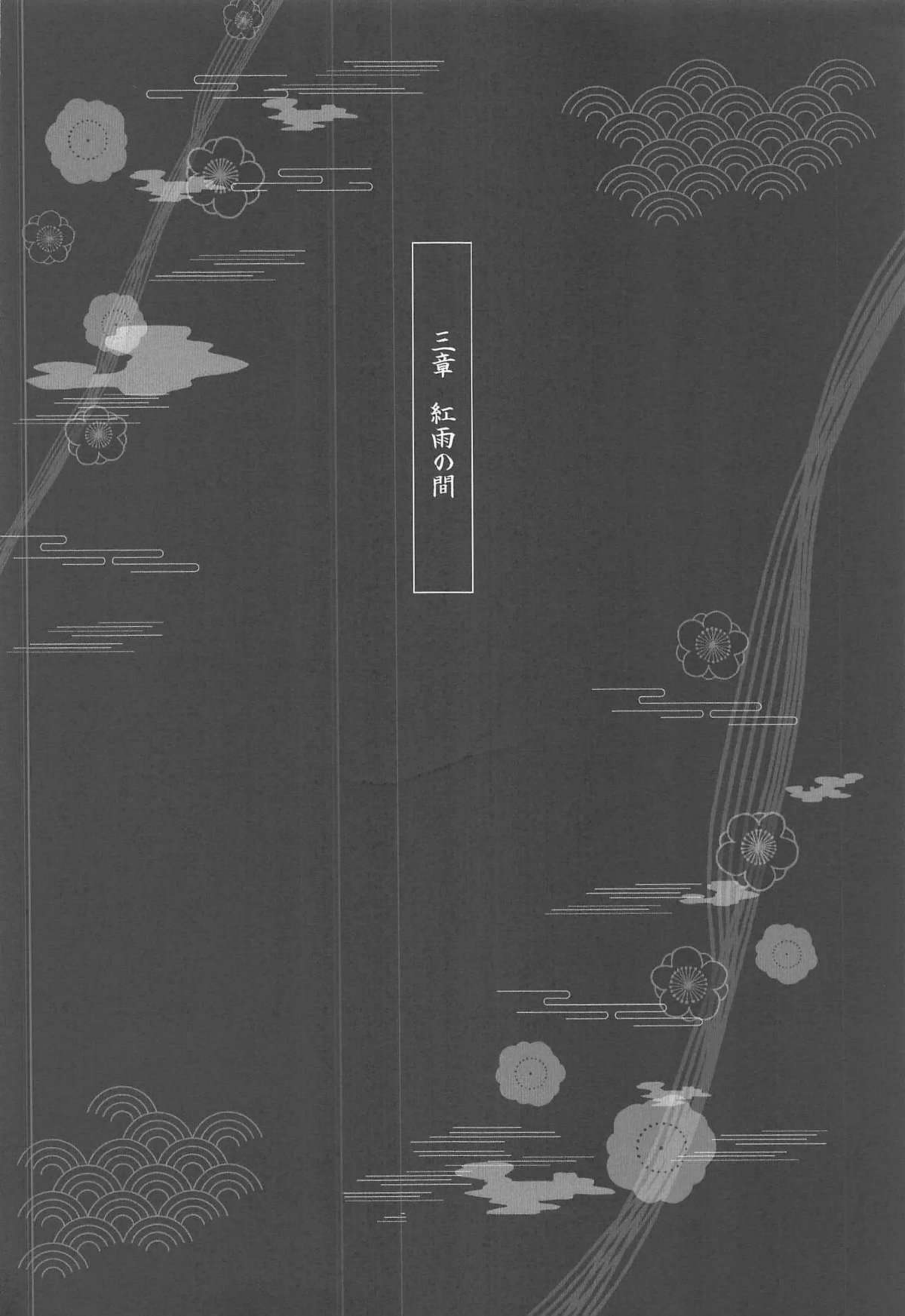
誰の弟子だと
思ってるんですか？



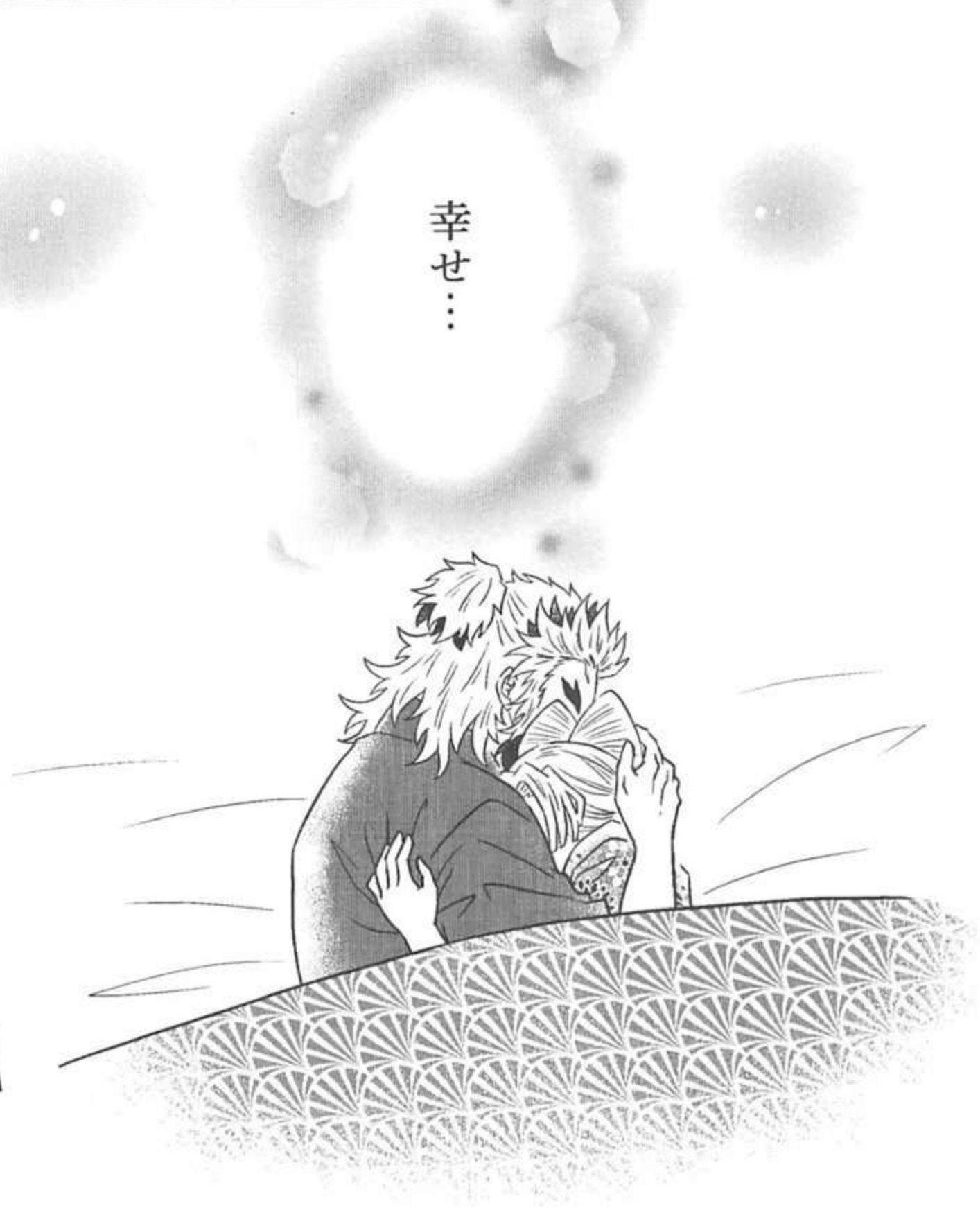




三章 紅雨の間







さっき
達しかけた
せいかしら…

身体が…

ダ…ダメよ
私ったら…

まだ任務中
なんだから…

どうした？

眠れないのか？

いえ…

言えない…

また
隠し事か？

！



ねえ師範

今夜だけは

煉獄様…

あなたの妻で
いさせてくれる？

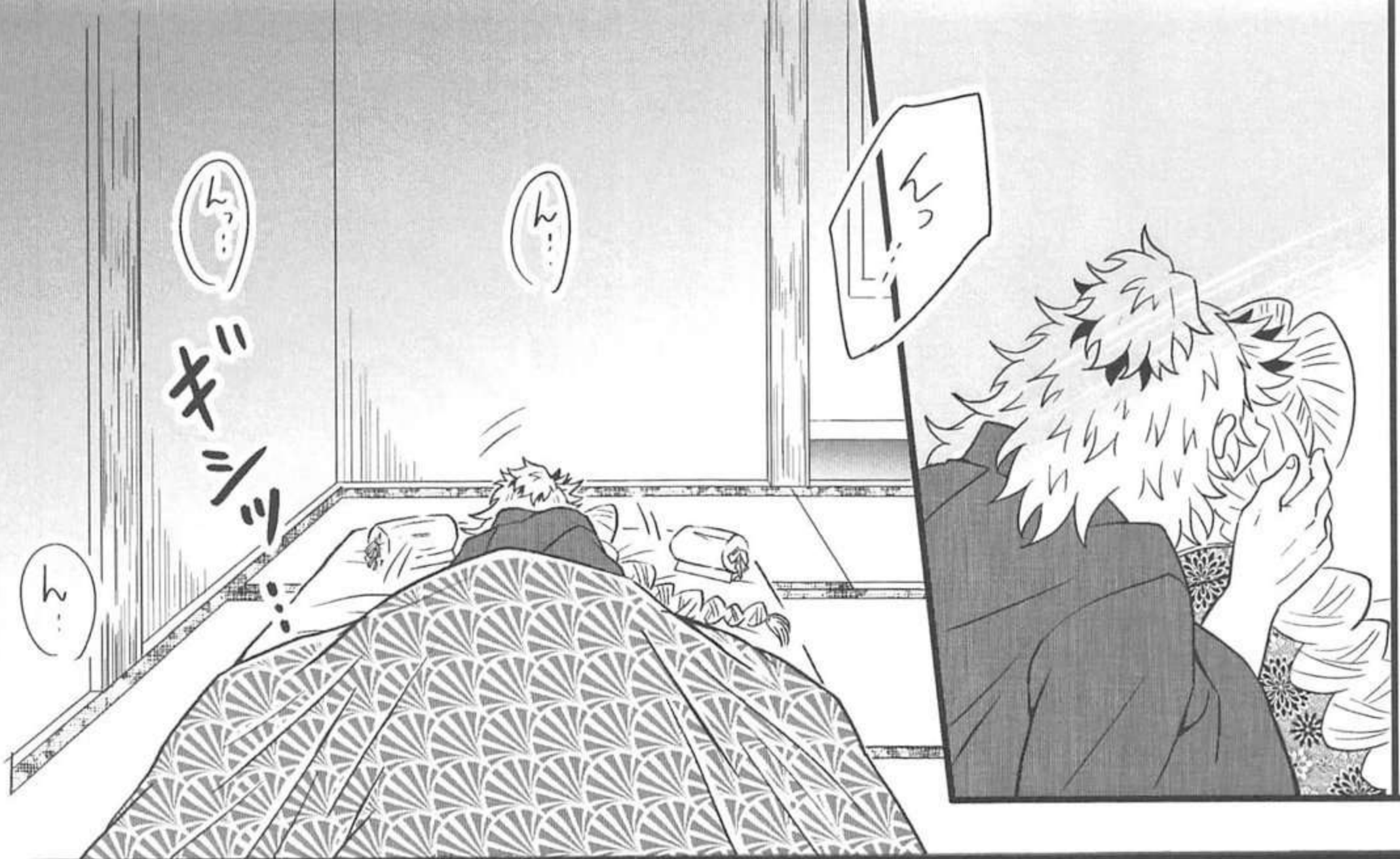
えっちな
妻は…

お嫌い
ですか…？

素直な妻は

嫌いじゃない











あたし...

ずっと...

100...

チュウッ

チュウ

チュウッ

チュウッ

チュウ...

ダメ...
想いが...

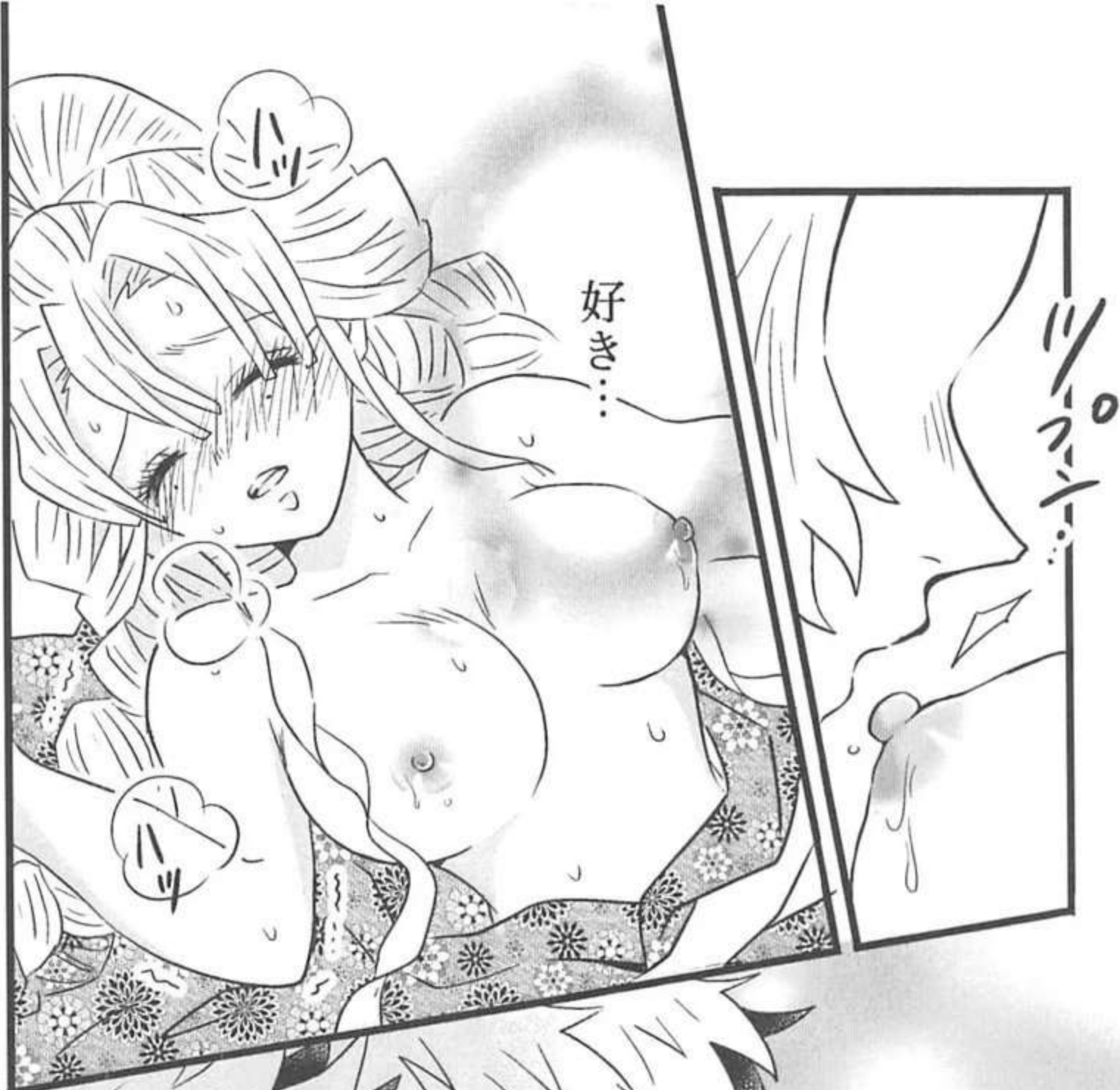
溢れて...!!



先程の
質問だが…



…?
う



好き…

うん…

えっちな妻は

好きかも
しれない







好く…できた
だろうか…

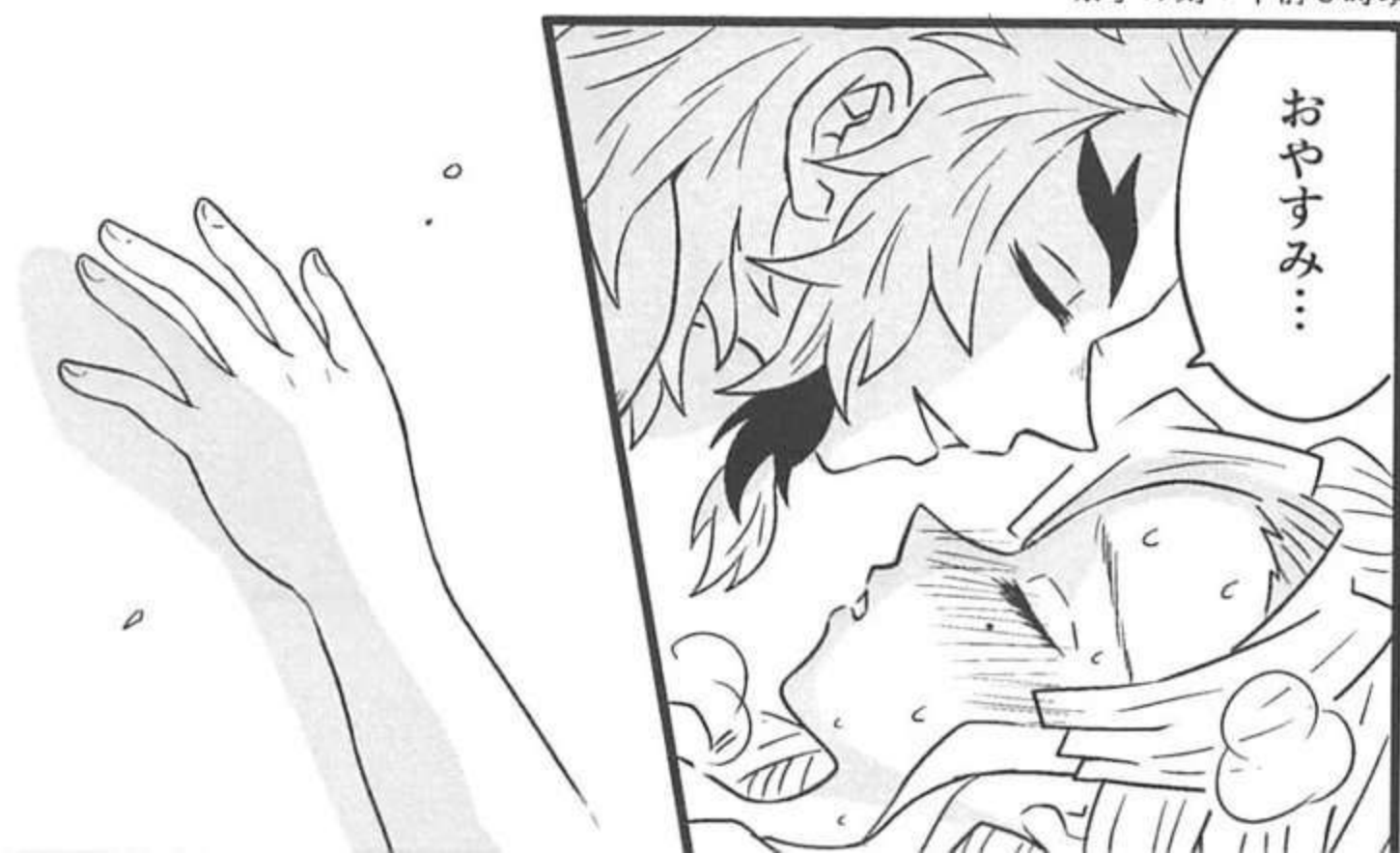
今度は君を—



もう
子の刻だ

明日に備えて
身体を休めよう

※子の刻：午前0時頃



おやすみ…



そんなに
優しい眼で

見つめ
ないで…





師範...



甘露寺

俺はいい...



好き

好き?

大好き



全部
ほしい



全部
あげたい









おつきくなつて
きたわ…

はあ

師範…

私ので…

はあ



感じてくれているの…?











あっ…

クッ
クッ
ッ

か…
硬い…
!

…あっ

んっ…

クッ
クッ
ッ

ビ
ク
ッ

クッ
クッ
ッ

はっ

はっ

はっ

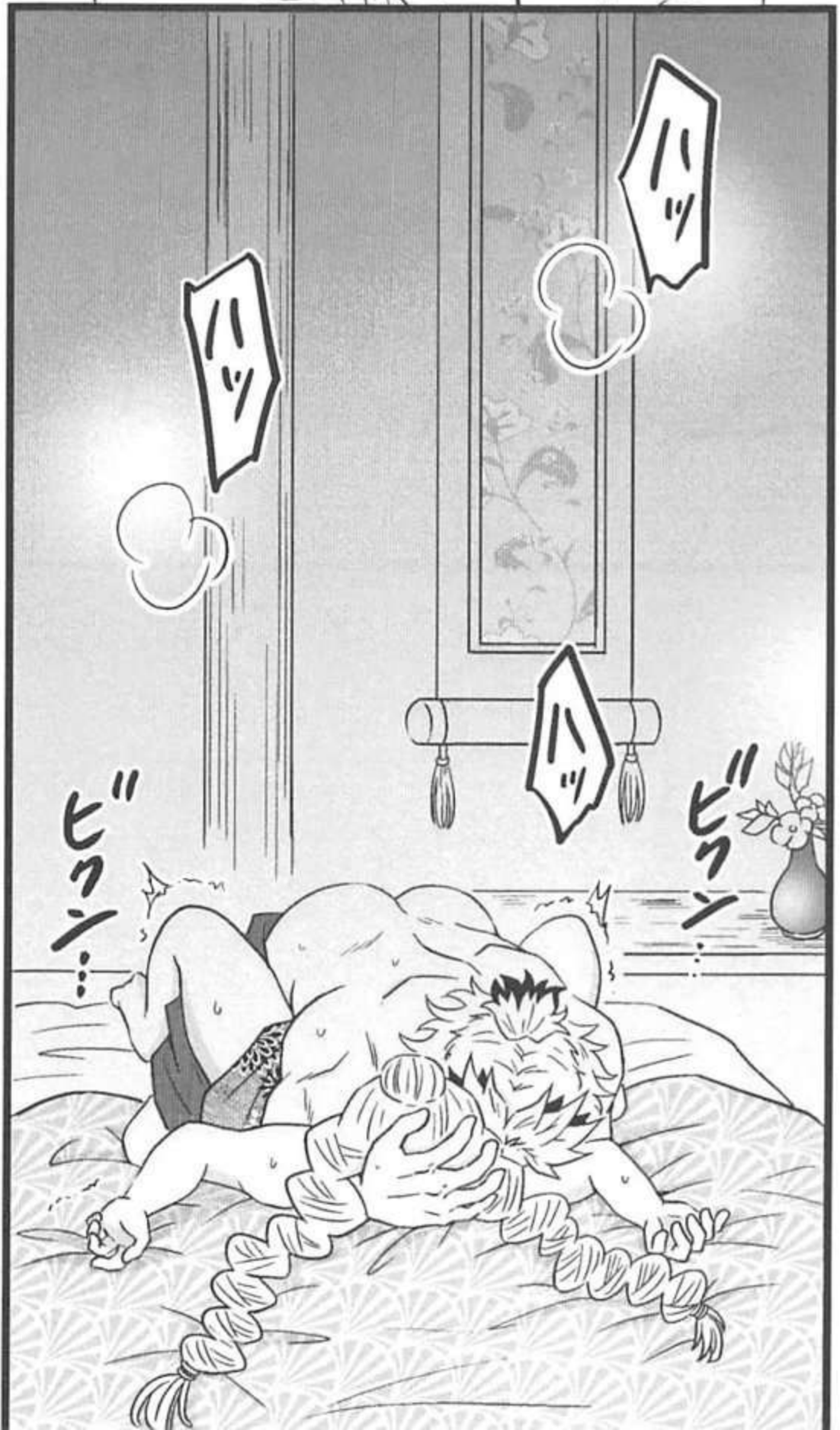
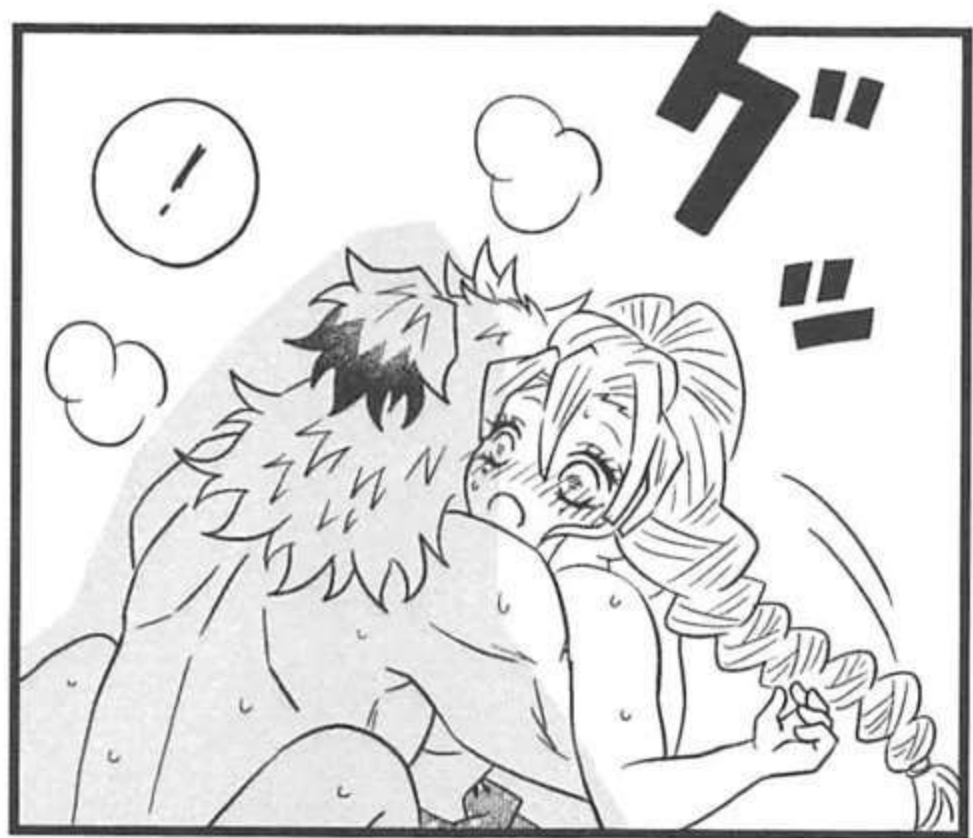
熱い…!!

んっ…

はっ

あっ







まもっ



ん...

あ...

い...

あ...

あ...

ん...

いつもと違う
感じがする...

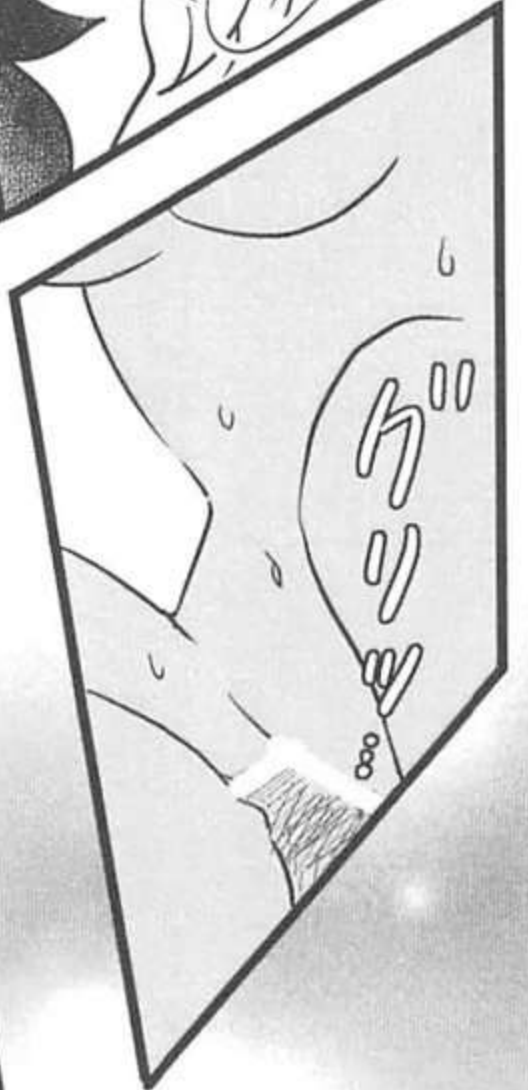
何だろう...

ジュンジュン...

ほ...

あ...



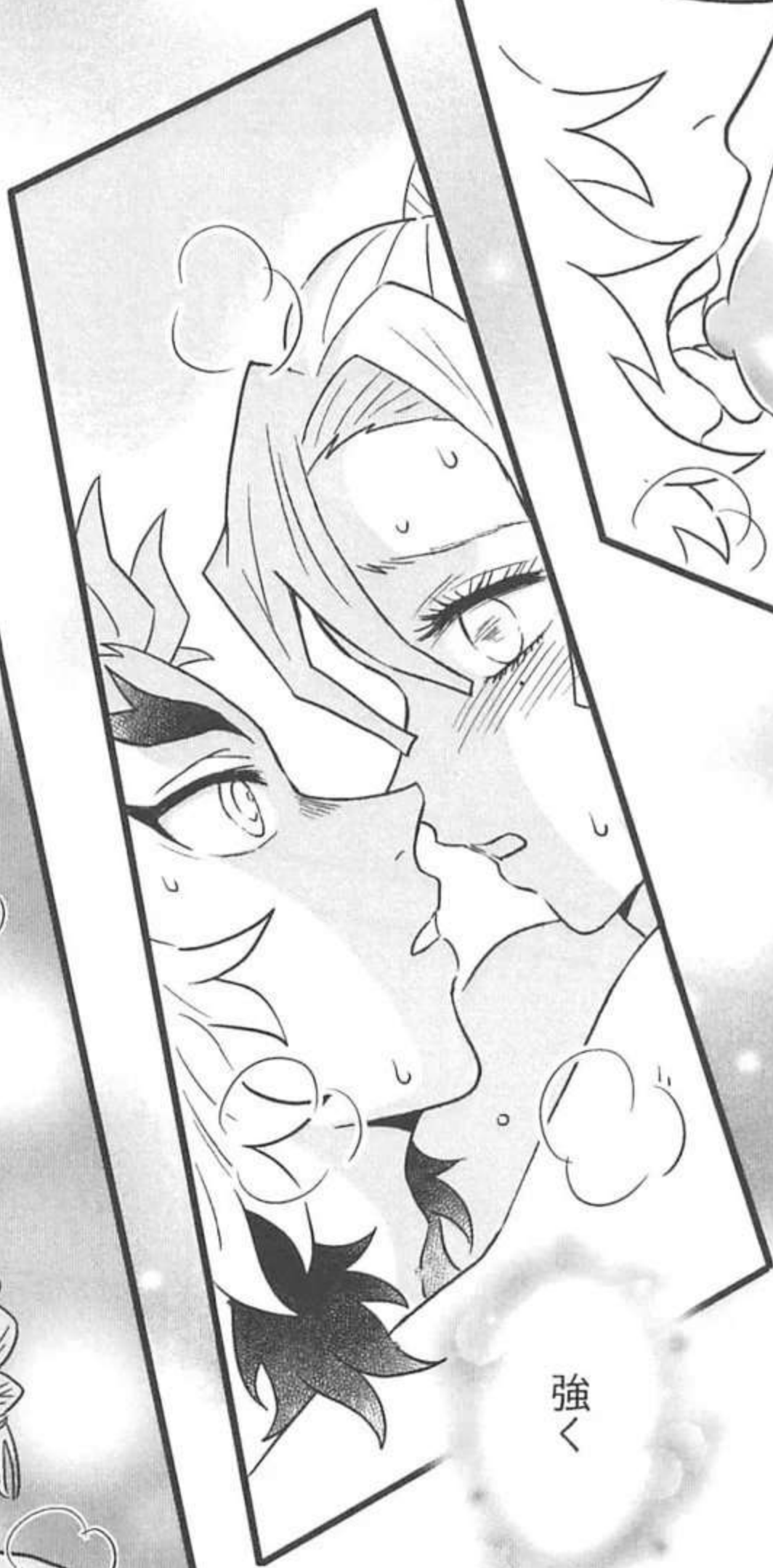


とても奥
深いところで



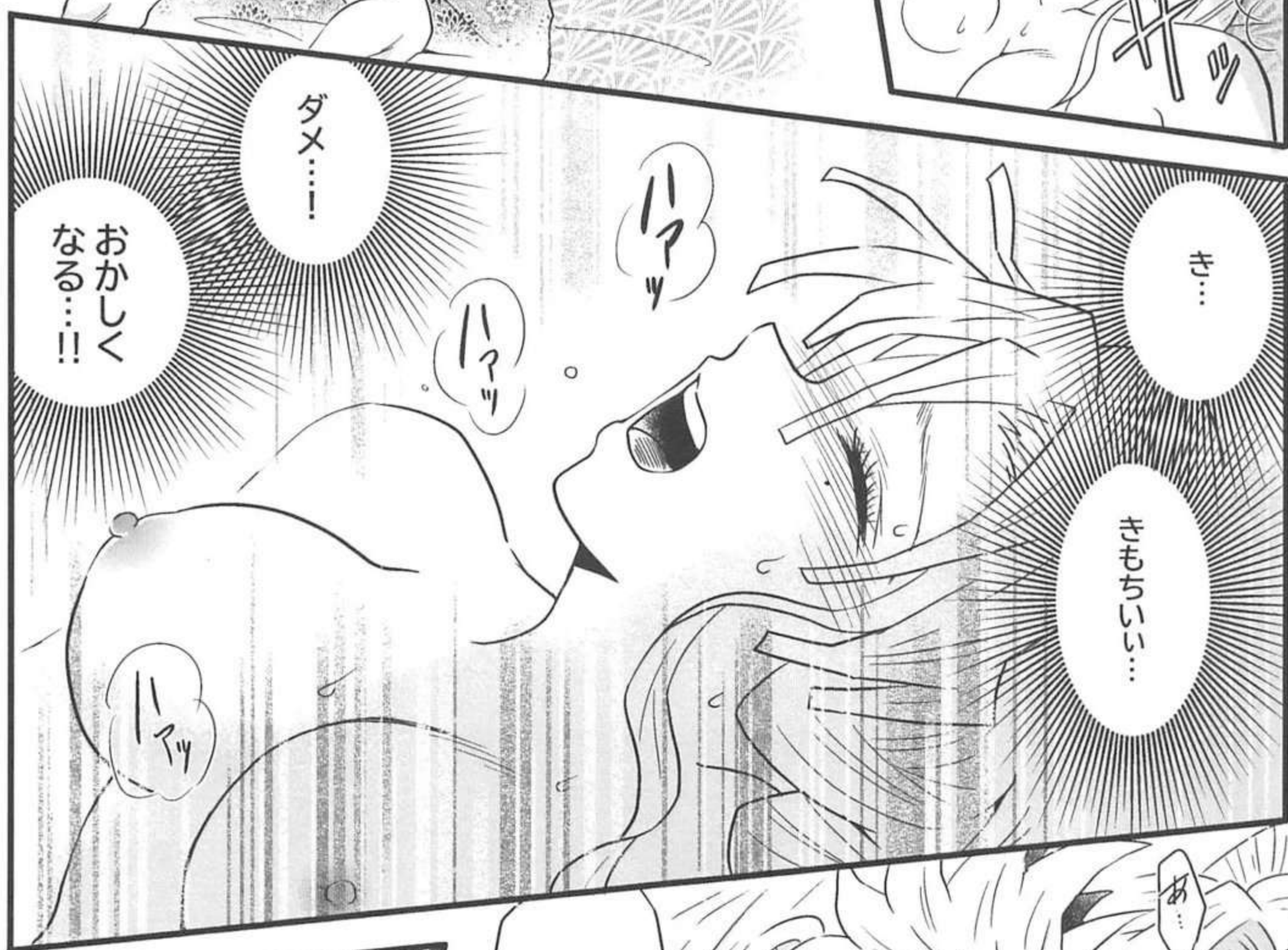


繋がってる
気がする



固く

強く





直に…



俺としたことが…！

すまない…
蜜璃…

外に出す…！













俺は：
とんでもないことを
してしまった…

取り返しの
つかないことを…



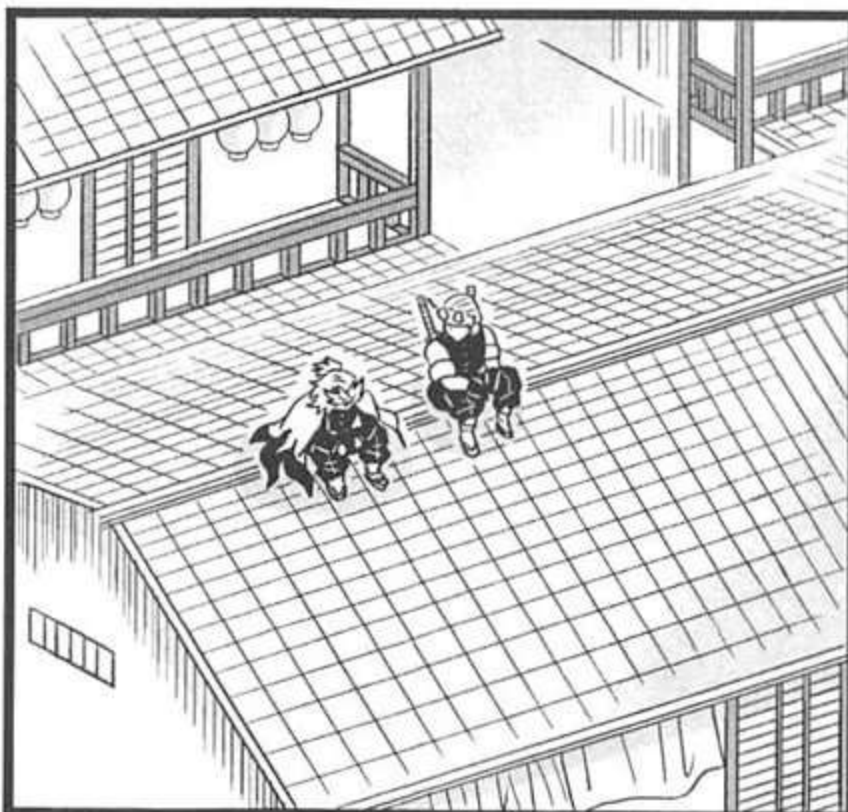
うーき？

サイテー

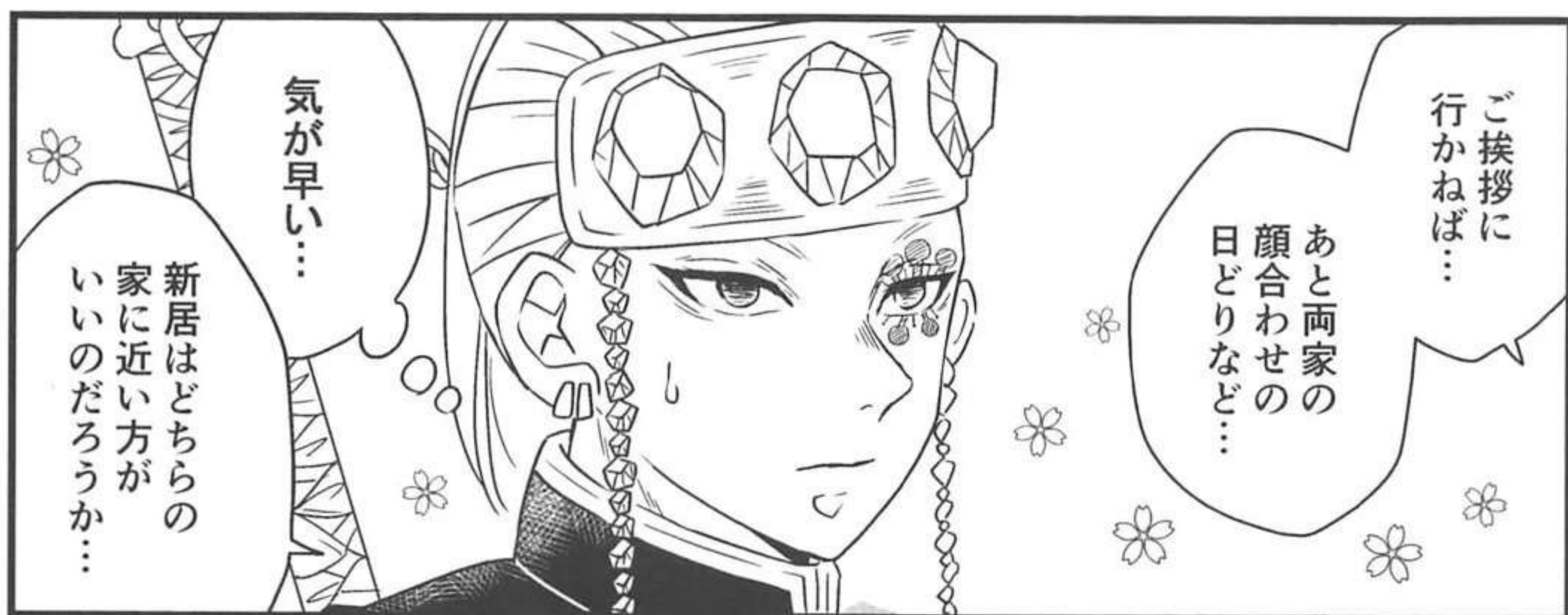
しない！！
それは切腹
ものだ！！！！



ふーむ







ご挨拶に行かねば…

あと両家の顔合わせの日どりなど…

気が早い…

新居はどちらの家に近い方がいいのだろうか…



あ…赤子の準備は何からすればいいのだ…

とき

肌着と…
布おむつと…
それから…

名前の候補も
考えておかねば
ならん…

とき

とき

オイなんか
めっちゃワクワク
してんじゃねーか



まあなるようになるだろ！

その辺は親父からアドバイス受けとけ

一応
育児経験者だ

ぽむち

そ…
それも
そうだな…

そんなことより—



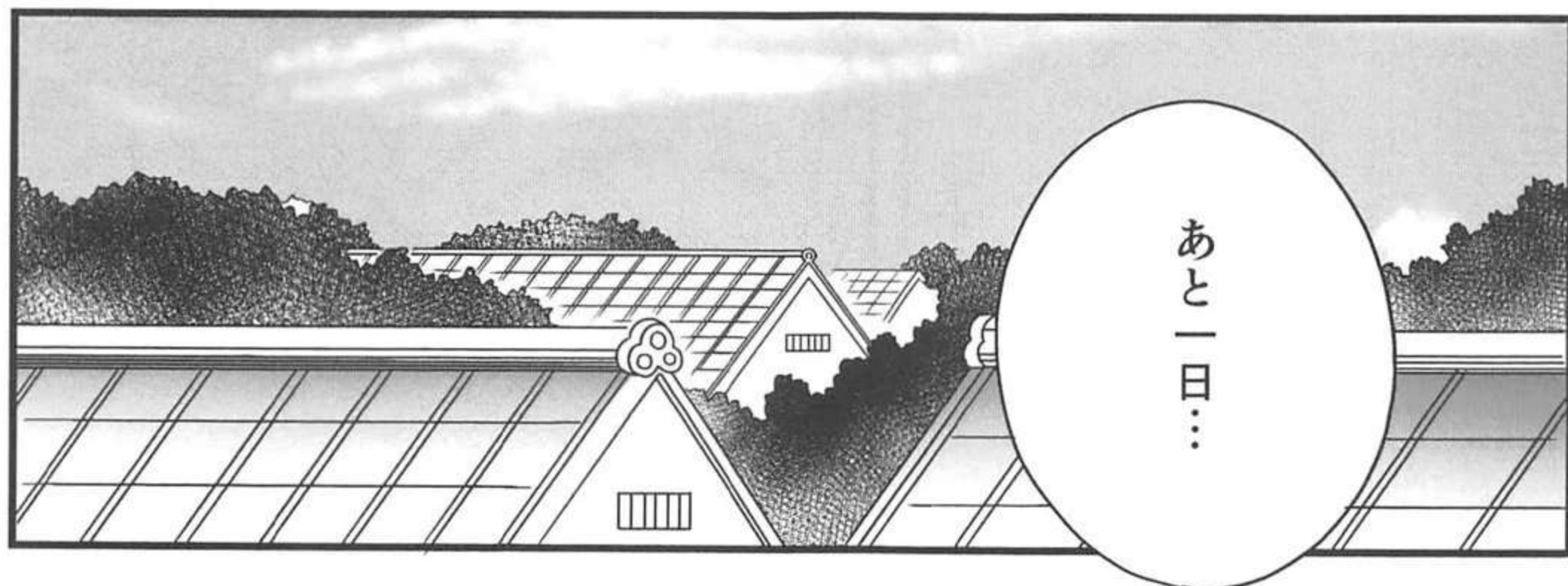
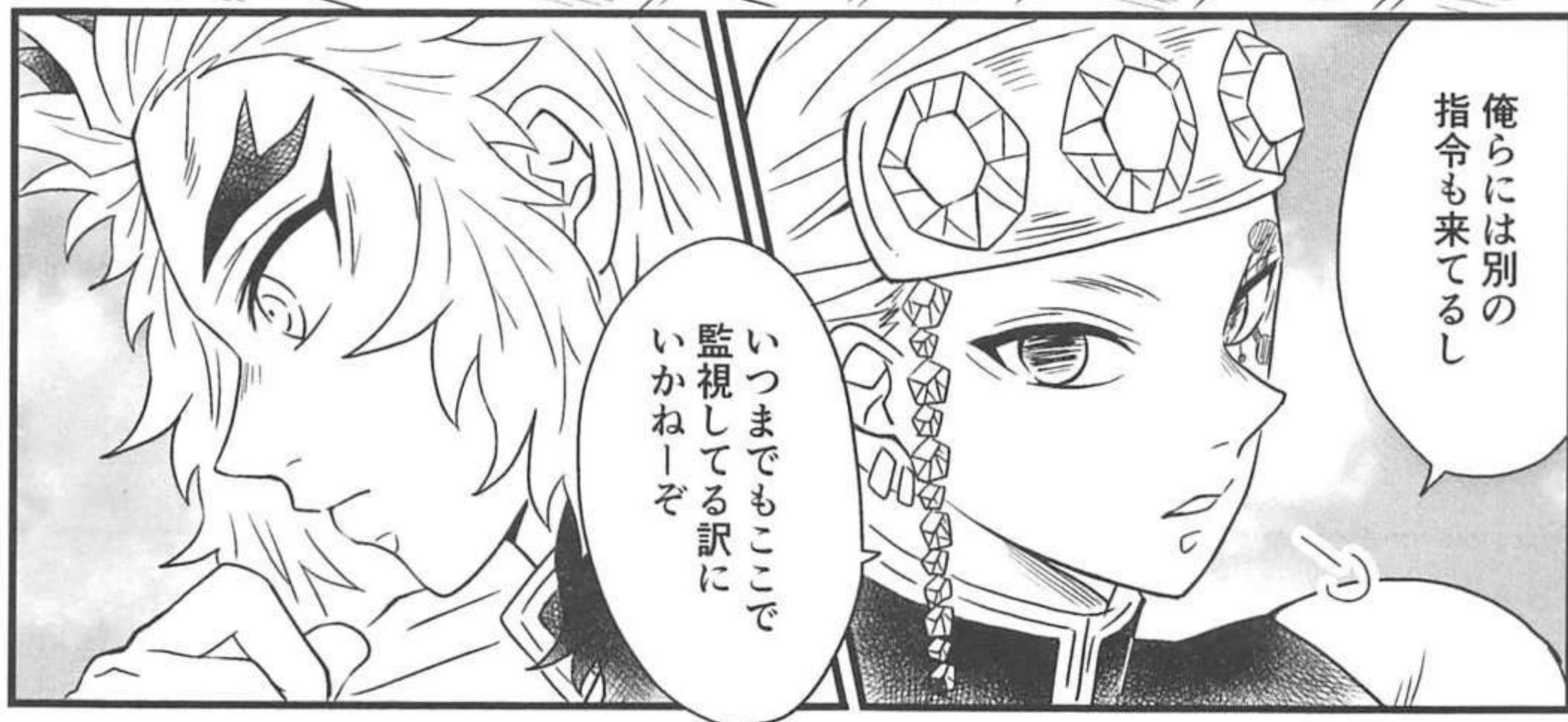
...良かったろ

生は

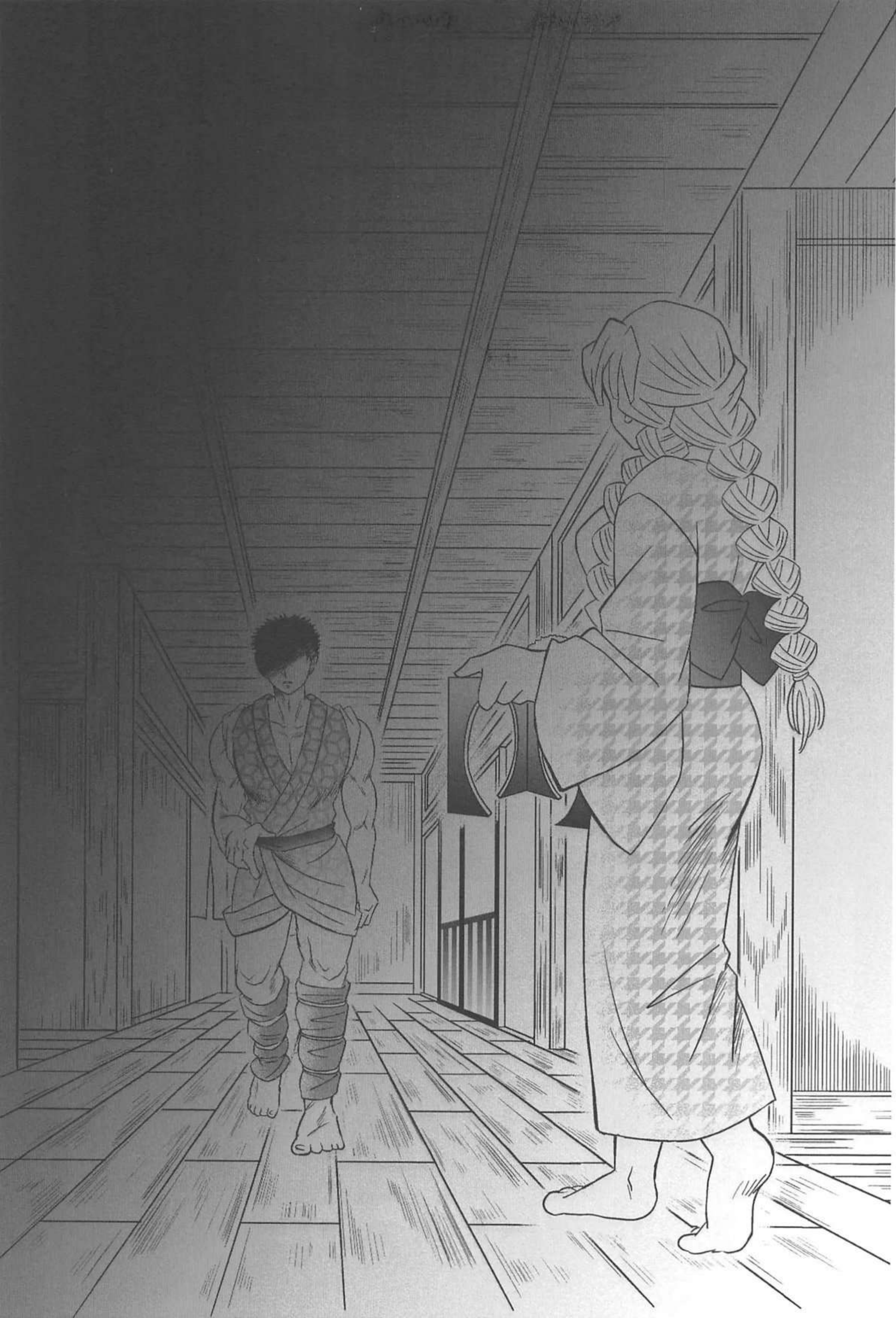
...良かった...













なんでえ

今日は
みすぼらしい恰好
してんじゃねえか

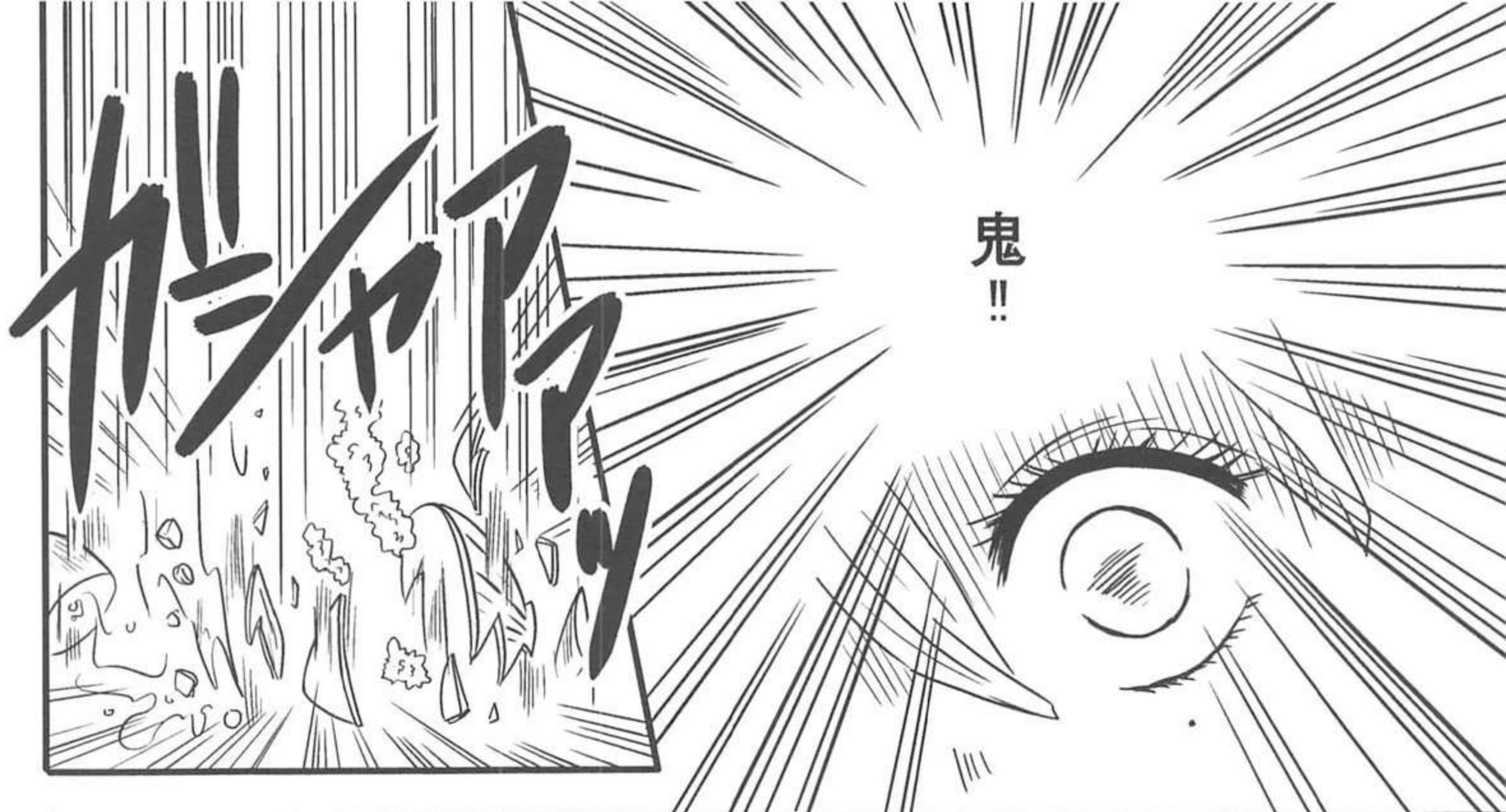


刃

日輪刀

隊服

麗





すんだよ!!

なにっ…

グッ

花魁の分際で…

俺に逆らうんじゃ
ねえよ…

!?

な…何を
言ってるの…!?

…花魁…!?

俺のことが
好きなんだろ?

だったら—

死ぬまで
俺にひれ伏して

一生奴隷に
なって生きろ!!

お前はそういう
人生なんだよ!!

生まれた時
からな!!

.....!!

あんた
なんか...

人の人生を
決める権利は
ないわ!!





特異体質の
人間…





服従する
必要もなくなる

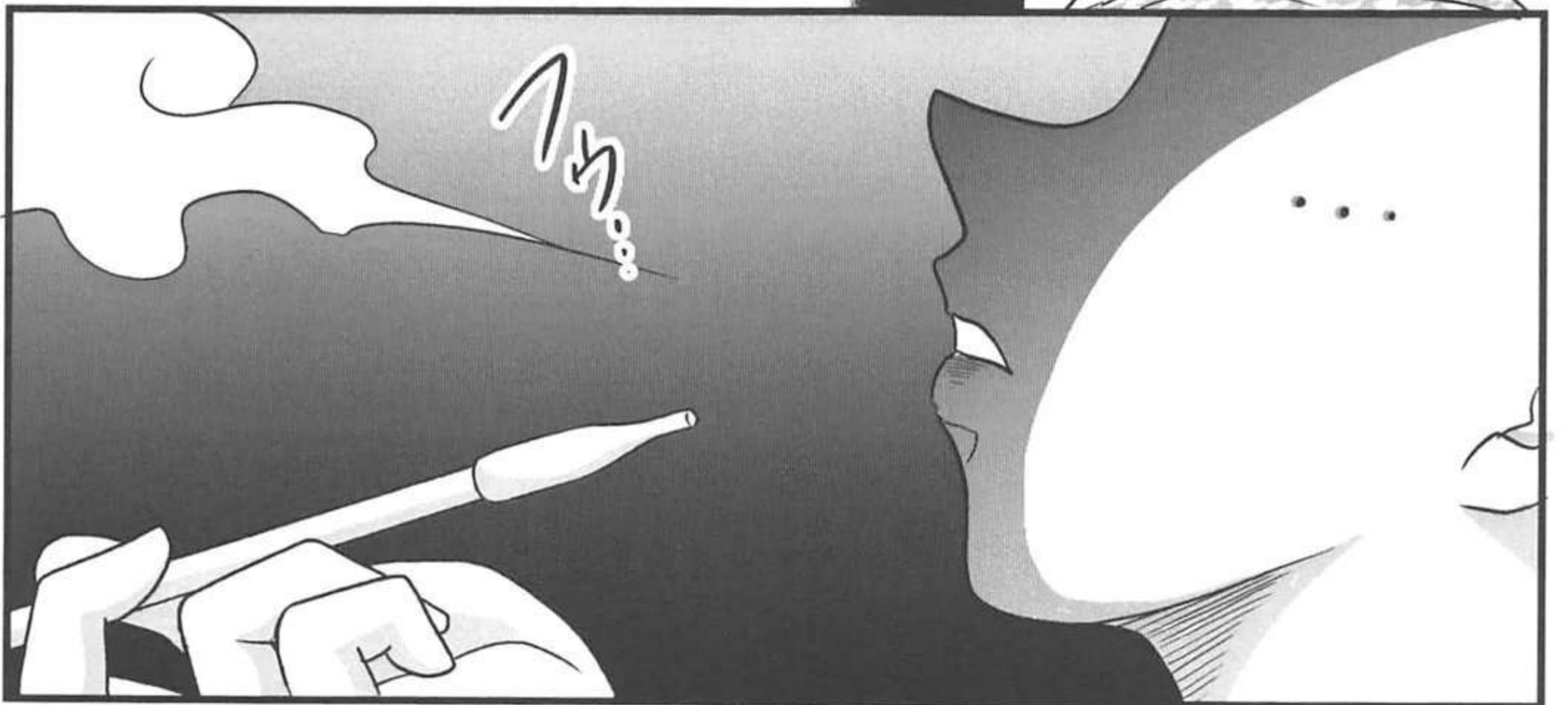


もっアツンドー



こいつを
喰えば

俺は何倍も
強くなれる





おやおや…

主さんは
わっちの旦那で
ありんしょ…？

その娘は
初見世が済んだ
ばかりの新参者

何の手練手管も
ありません

わっちと
お戯れを

花魁か

もうお前に
用はない

こんな上質な
肉を見逃せるか

こいつを喰って

お前も喰う

俺は

鬼だからな

この世は
元から
鬼の巣窟じゃ

……

それが
どうした



親に犯され

廓に売られ

毎日
好いてもいない
男に体を弄られ

惚れた男が
できたとして

逃げれば折檻

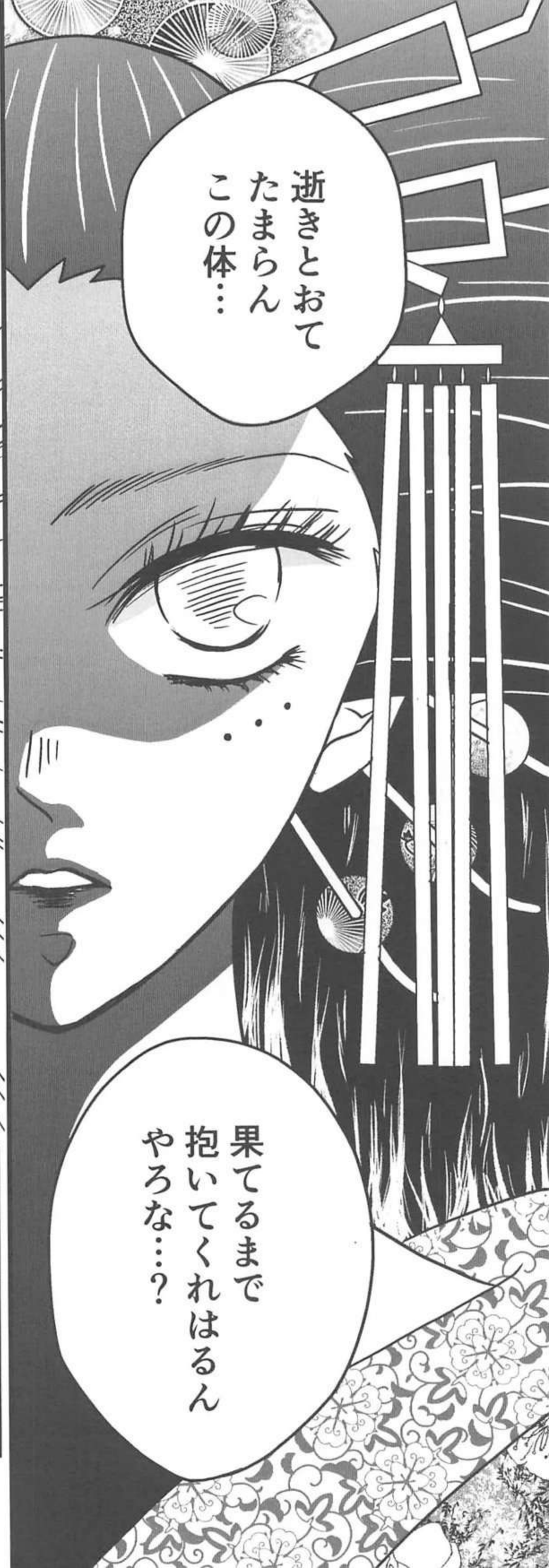
生きても心中

孕めば
子もろ共
塵のように
捨てられ

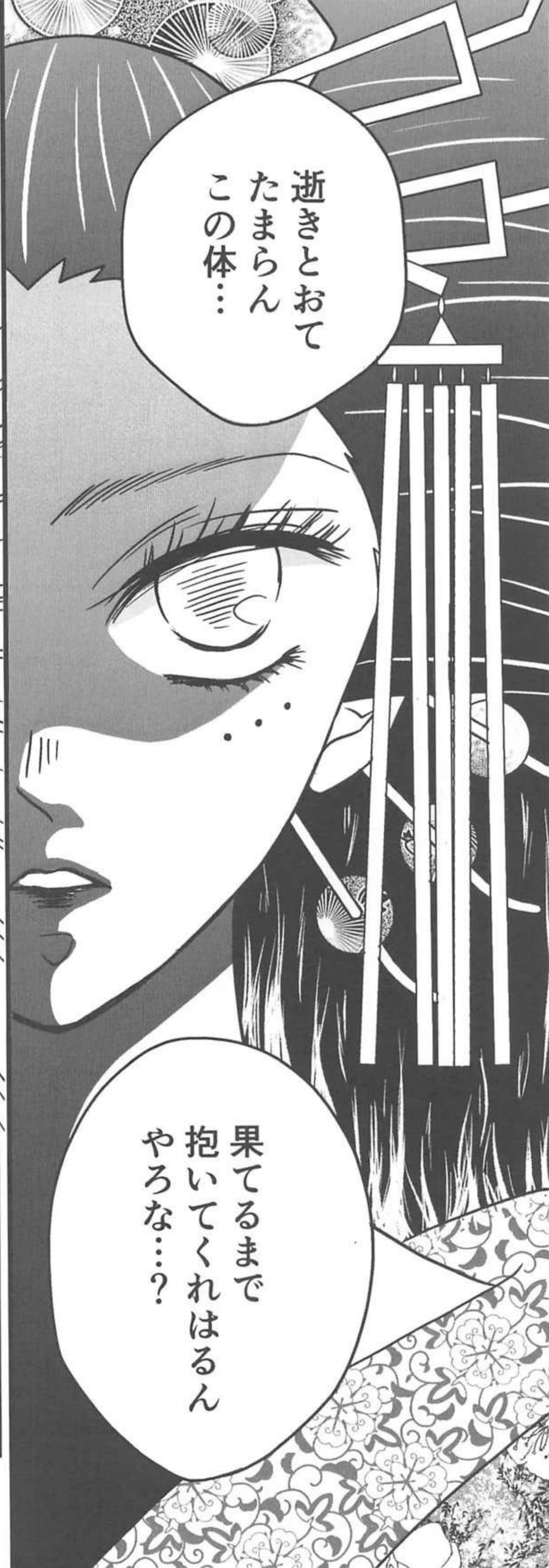
これが鬼の
所業でなく
何と言おう

のう
お主…

その姿に
なったからには

A large, detailed close-up of a woman's face, looking slightly to the left. She has short, dark hair and is wearing a traditional Japanese garment with a patterned collar. A speech bubble is positioned near her forehead.

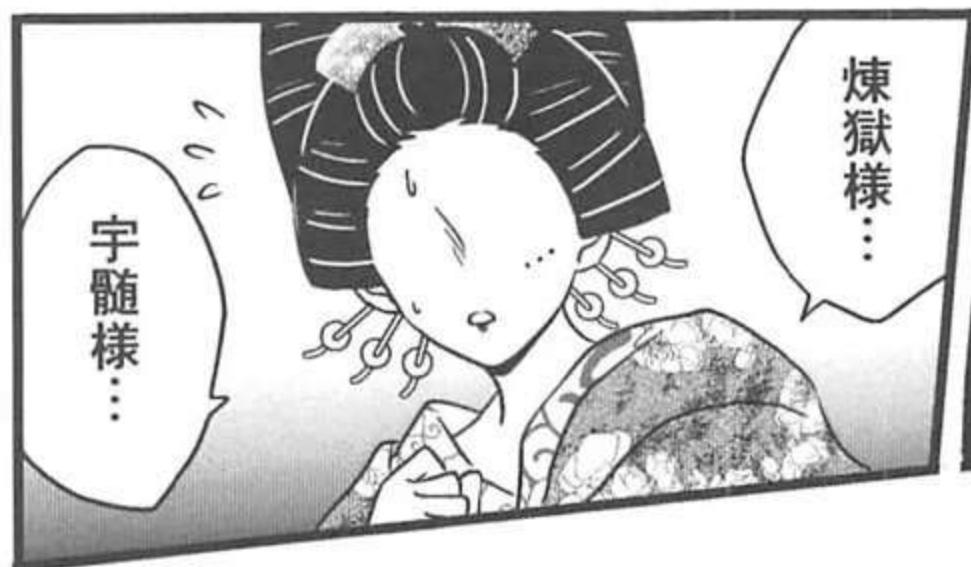
逝きとおて
たまらん
この体…

A large, detailed close-up of a woman's face, looking slightly to the left. She has short, dark hair and is wearing a traditional Japanese garment with a patterned collar. A speech bubble is positioned near her chin.

果てるまで
抱いてくれはるん
やろな…？











…ただの
馴染み客さ

老舗の呉服屋の
御曹司で
親の金子で毎週
廓に来ていた
妾として身請け話を
もらっていたが
断り続けていた矢先…

ある日突然
鬼の姿で
私の前に現れた

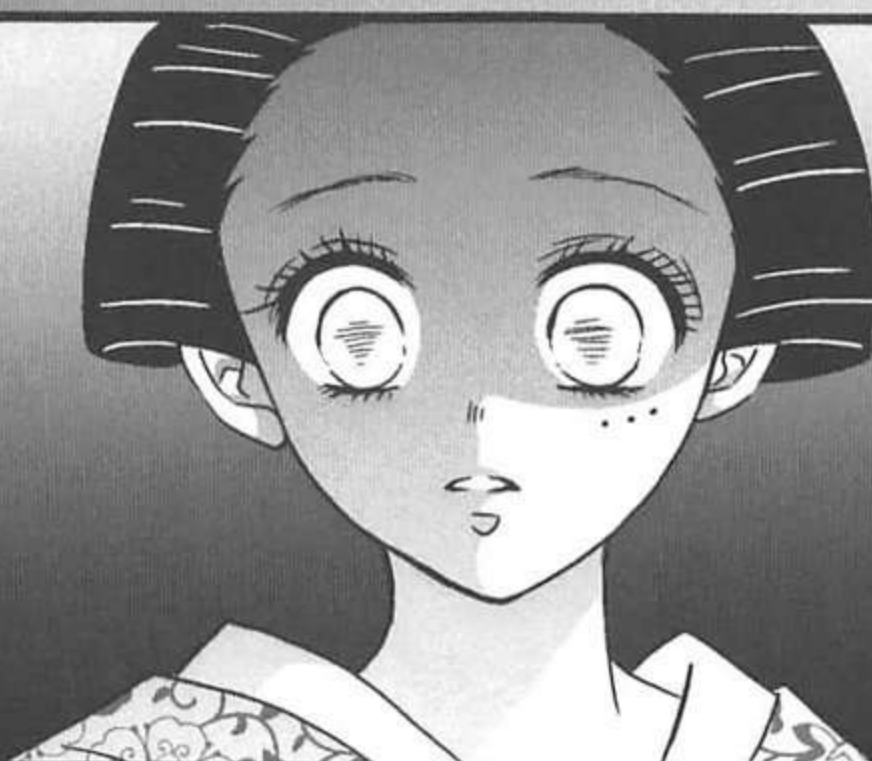


人喰い鬼の存在は
客から聞いていた

そうか…ついに私も
殺される時が
来たのか

悔いはなかった…
既に地獄に落ちた
この身だ

執着するものなど
何もなかった…
それなのに



お前…
西の出身って
言ってたよなあ…

喰ってやるよ…

村の奴ら
全部…

振られた
腹いせで
私の村を？



あそこには—





西は鉱山の影響で
水が汚染されている…

皆次々と
病に倒れて
作物も育たず
私も売られた

あんたが
好きだよ…

この期に及んで
一体何に期待を
していたのだろう



必ず

迎えに行くから！

そんな人間を喰って
あんたに何かあったら
どうすれば…

わっちを一人に
しないくれ…

忘れてくれて
構わない

あんな
子供の頃の約束

ただ…その言葉に
希望を持つことだけが



私に生きる意味を
与えてくれたー



あけだい
揚代も払わねえ
ような奴をか!!

惚れちまったら
関係ないさ…

※揚代：遊興するお金

鬼共が避けてた
集落ってのは
あんたの故郷
だったんだな

運よく無惨の
配下から逃れて
鬼を統率してたのか



廊の中には!?

女郎に鬼は
いない…

ただ私が別の客の
相手をしている間に

関係を持っていた
女郎はいたと思う

人の客を寝取るのは
珍しいことじゃない



え…じゃあ
女郎に鬼の気配が
したってのは…

つまり

すまない
宇髓!

その手に関しては
俺も修行が
足り…

鬼のくせに
良いご身分
だったって
ことだな!

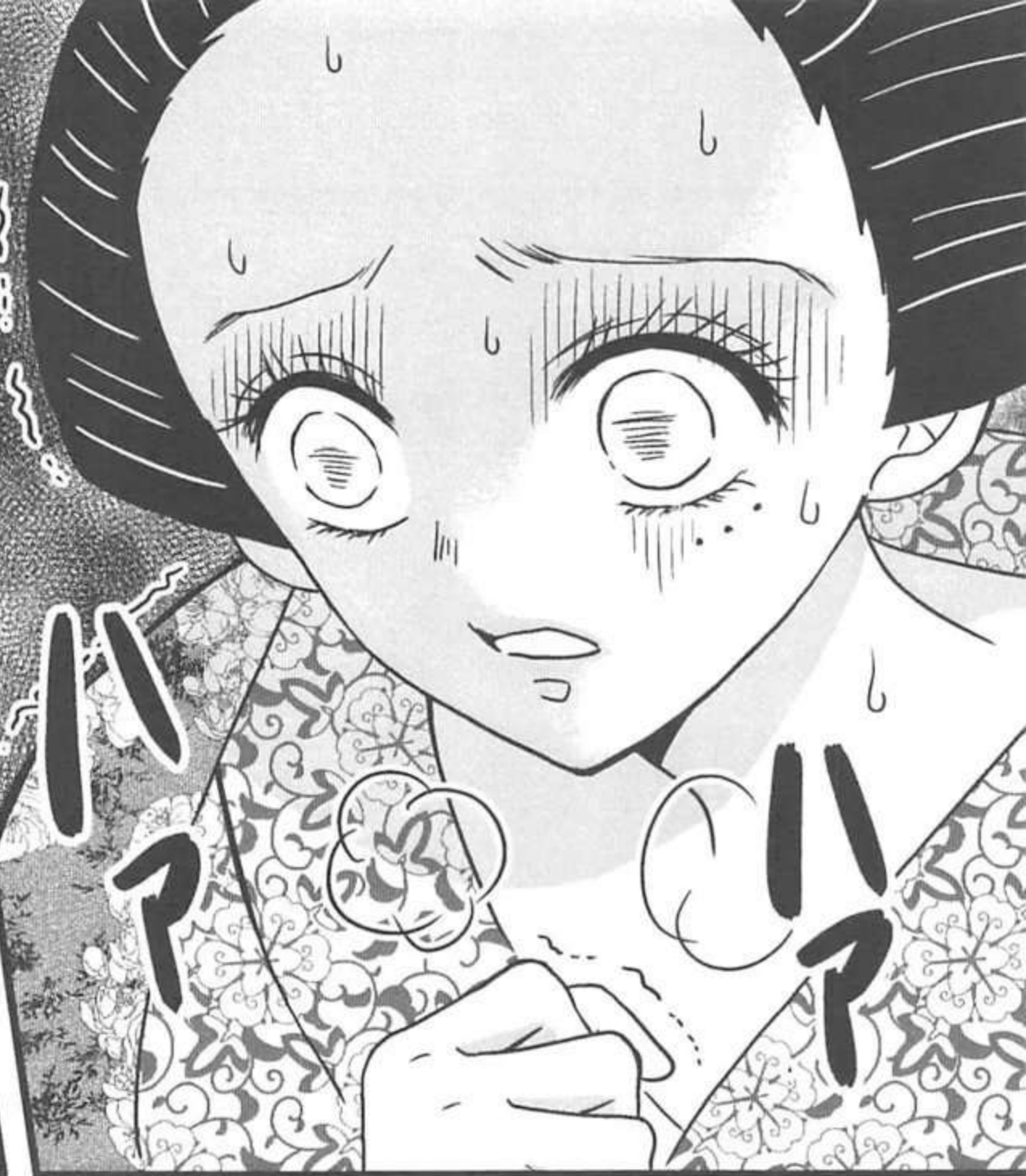


きやつ…

ガッ

!







鬼相手に…

少しも
物怖じせず…

花魁を侮辱
しないで!!

果敢に…

立ち向かっ
て…



い…一体
何者なの…

蜜璃は…

あなたの…



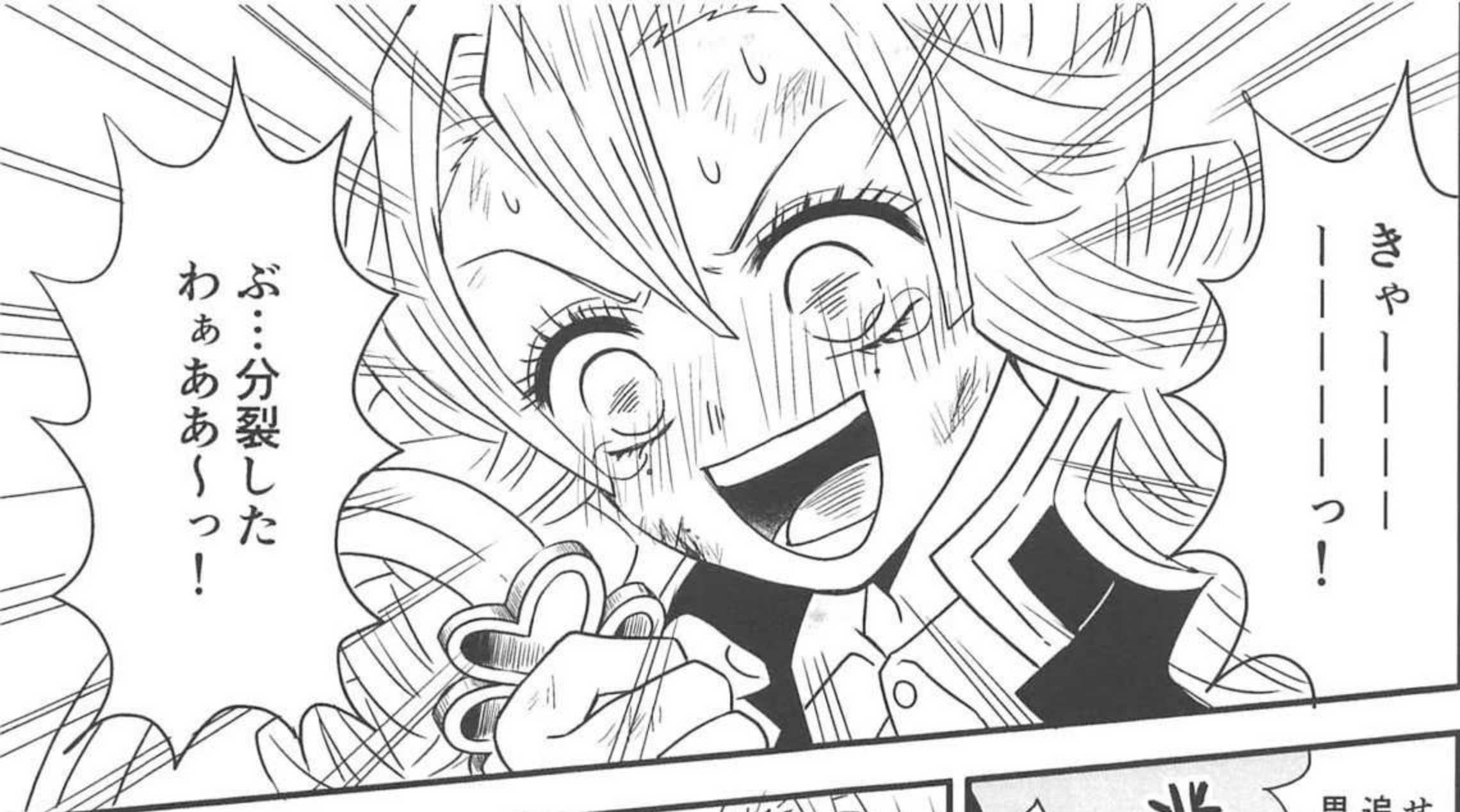
煉獄様っ…

甘露寺は—



俺の

大切な継子^{ヒト}だ



きゃー——っ！

ぶ…分裂した
わああーっ！



せっかく
追い付いたと
思ったのに！

逃げちゃったわ
あーあ

蜜璃！



おっ…
花魁！

きゃああ
真正面から
見るお顔も
素敵♡



その恰好
は…



えっと…
あ…あの…



そ…そうだわ…
私花魁に
言わなきゃ
いけないことが…



だ…黙って
ごめんなさい！
実は私こつちが
本当の姿でしてっ！

でも騙していた
訳じゃないんです！
吉原一の花魁に
なりたいて思っ
たのも事実でー

ずとーん

パンケーキすごく
美味しかったです！

また
食い物の話が
ーーーっ!!
!!!!

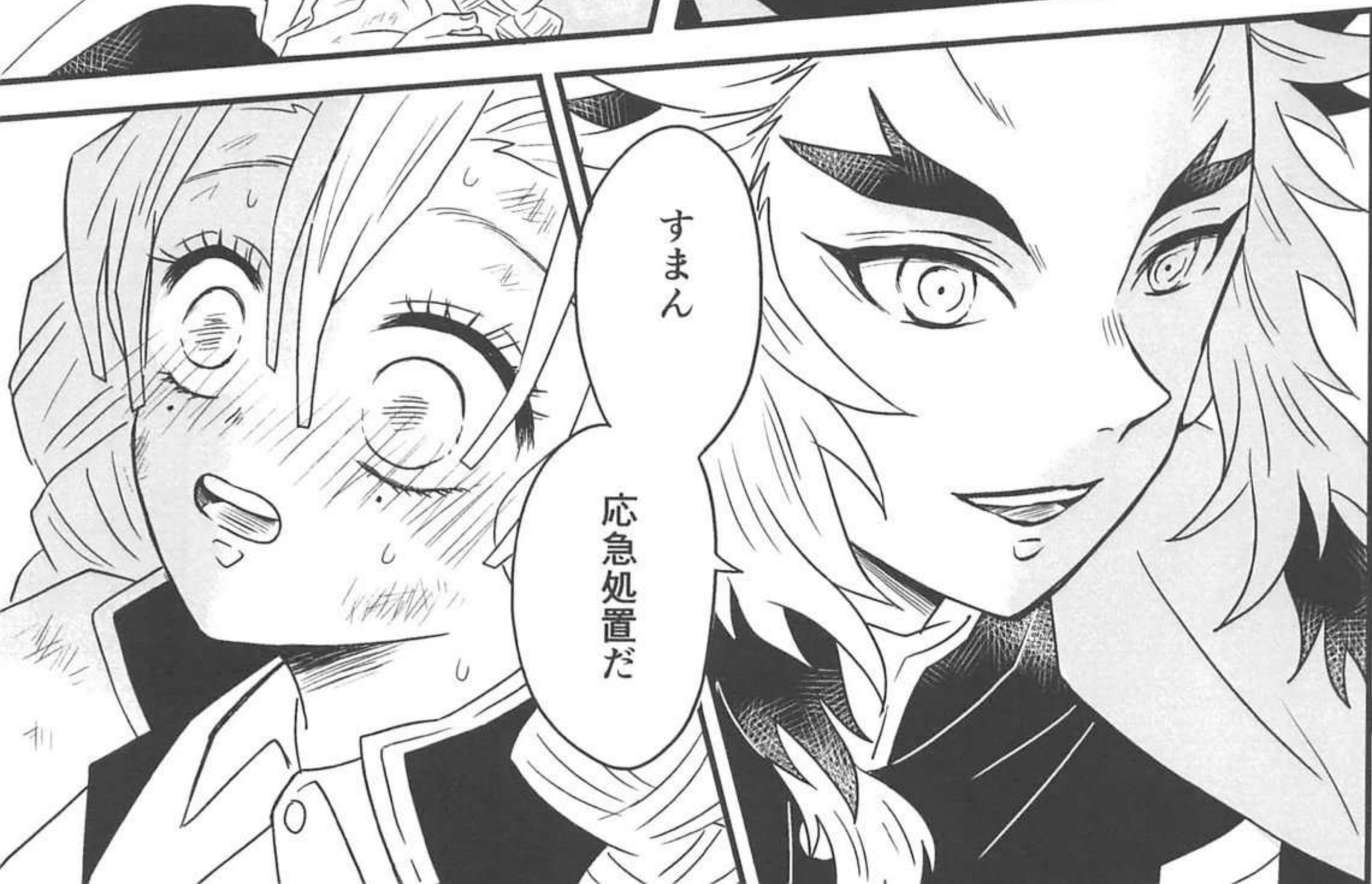
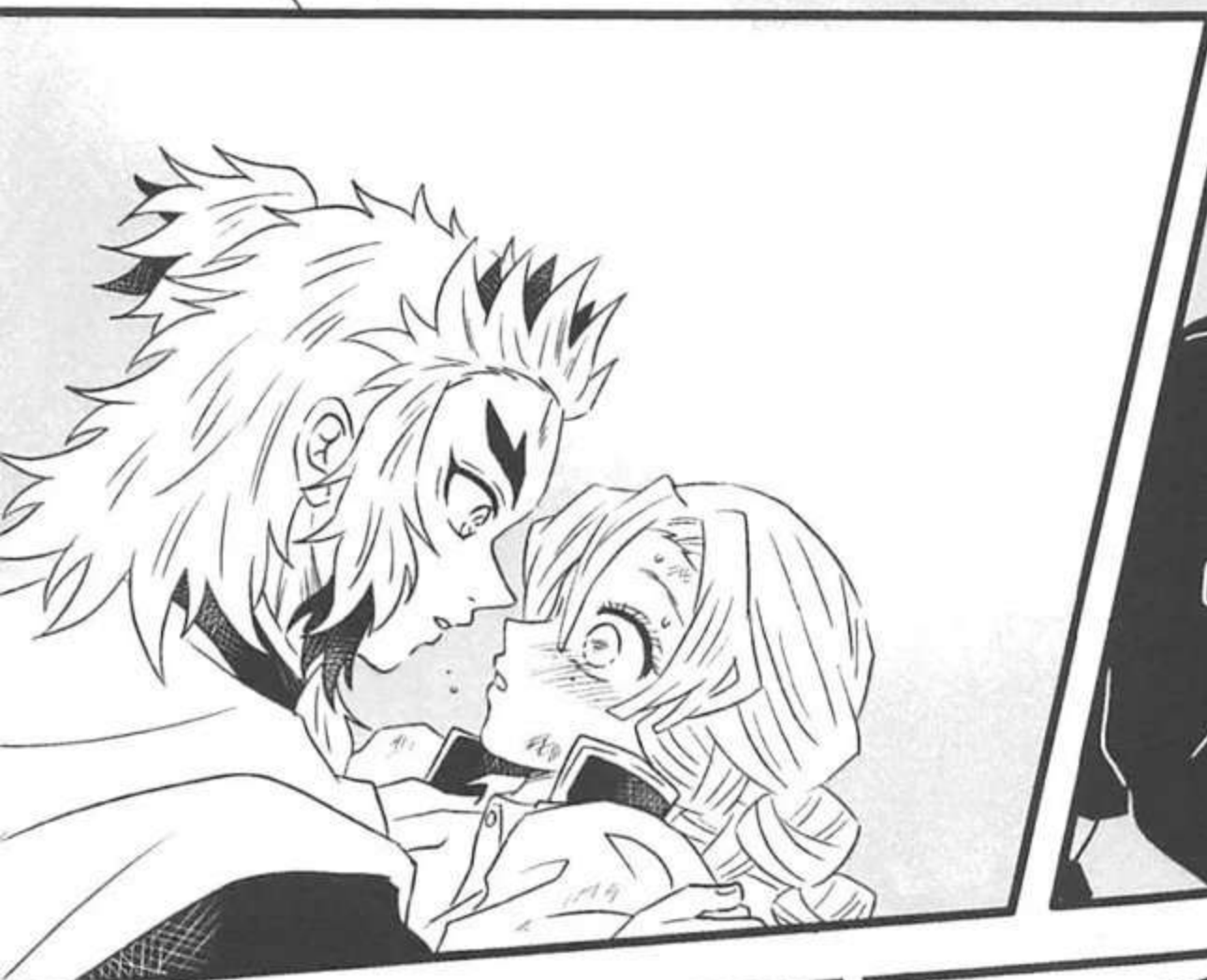


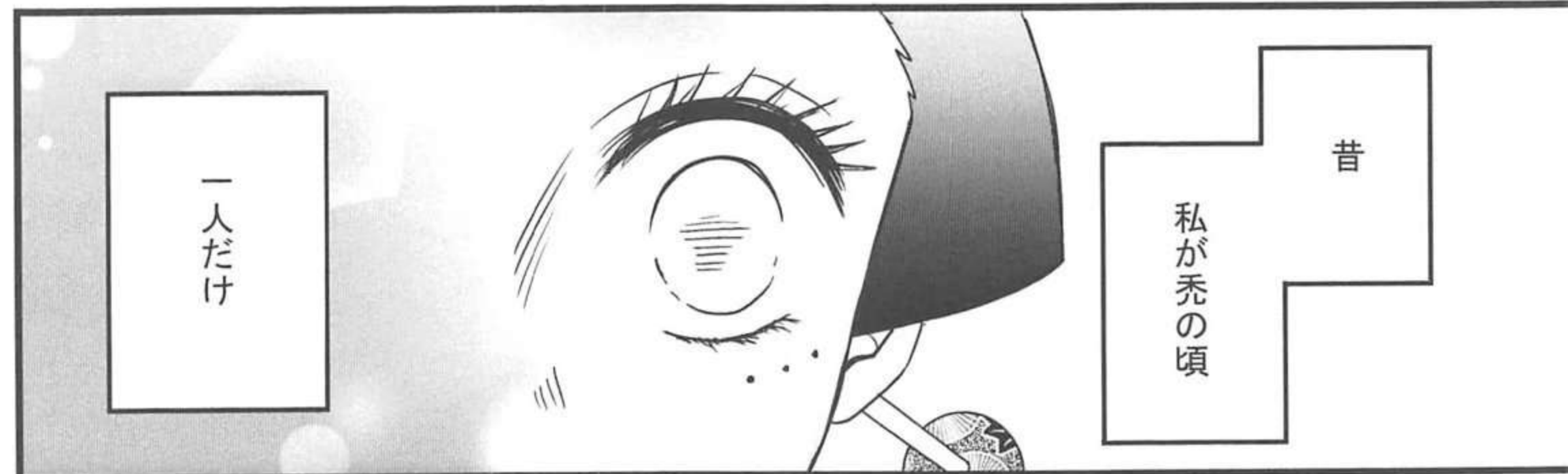
生地が
もちもち〜っとして
ふわふわ〜な食感で
蜜もとろとろ〜って

甘露寺！
食レポは後だ！
今は鬼をー



!?







どんな手を使って
騙したんだろうねえ

相手は筆おろしも
アイツだって
話じゃないか



私は別の姐さんに
ついてたから

よく知らない
花魁だった

ただ最後に
一度だけー



運よく
世間知らずの若旦那を
捕まえたもんだよ



話してみたかった

妻として廓を
出られる人とー

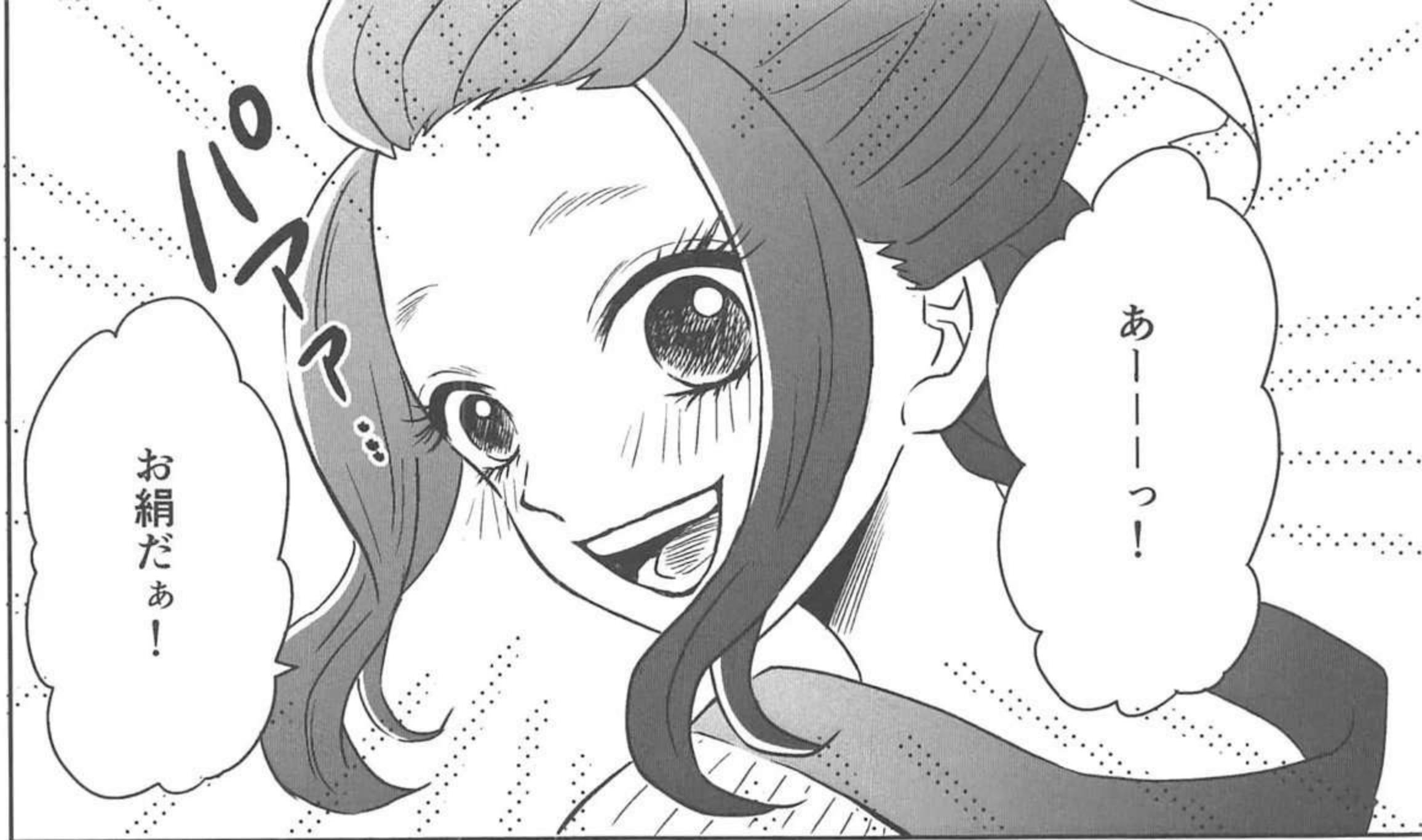
姐さん…

失礼しんす…

ん？

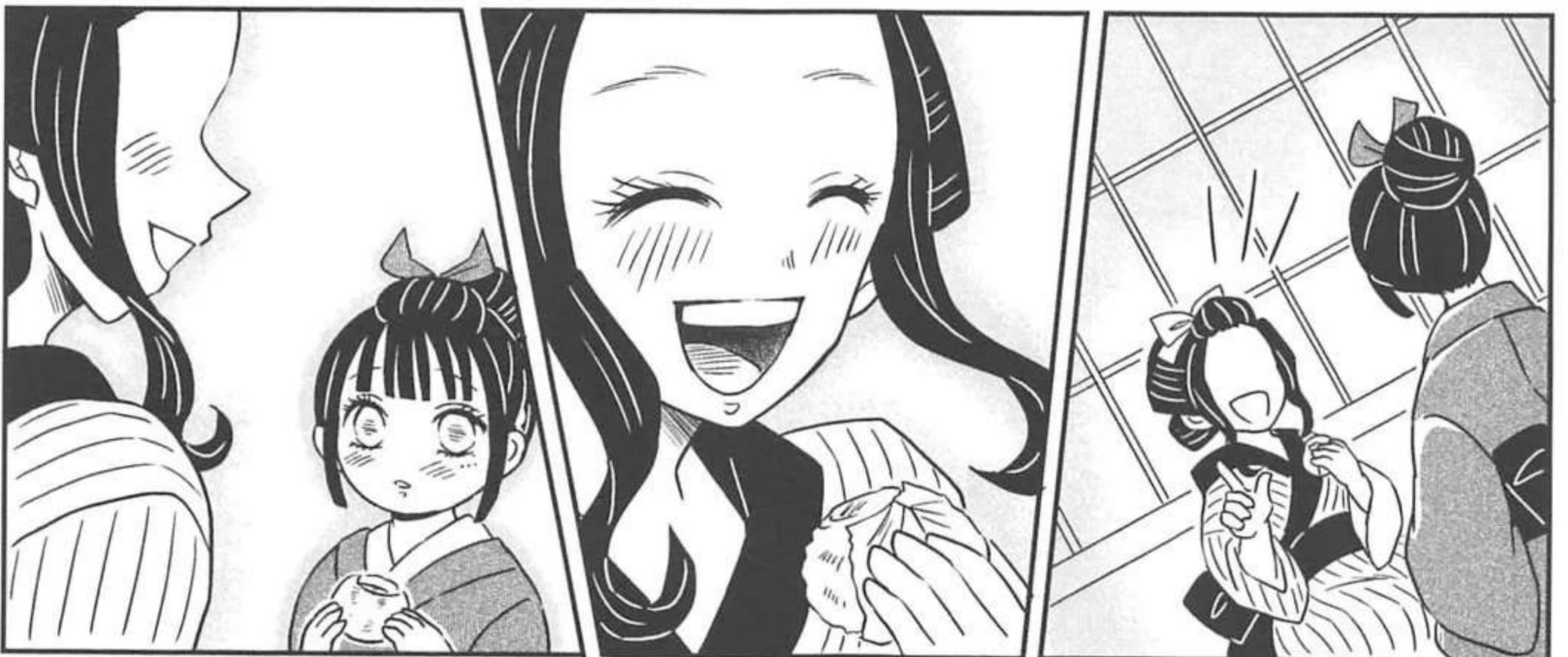


ああいうのを
女郎蜘蛛って
言うんだねえ





※振袖新造：花魁予備軍





はむ…

温かい—



同じ空気を
持っていた



一人の男に

愛され

抱かれています
女は

こんなにも
穏やかな空気を
持つのだと—

初めて
出会った



今まで
周りにいた
大人達は

みんな

みんな

人の心など
持ち合わせて
いない

鬼ばかりでー



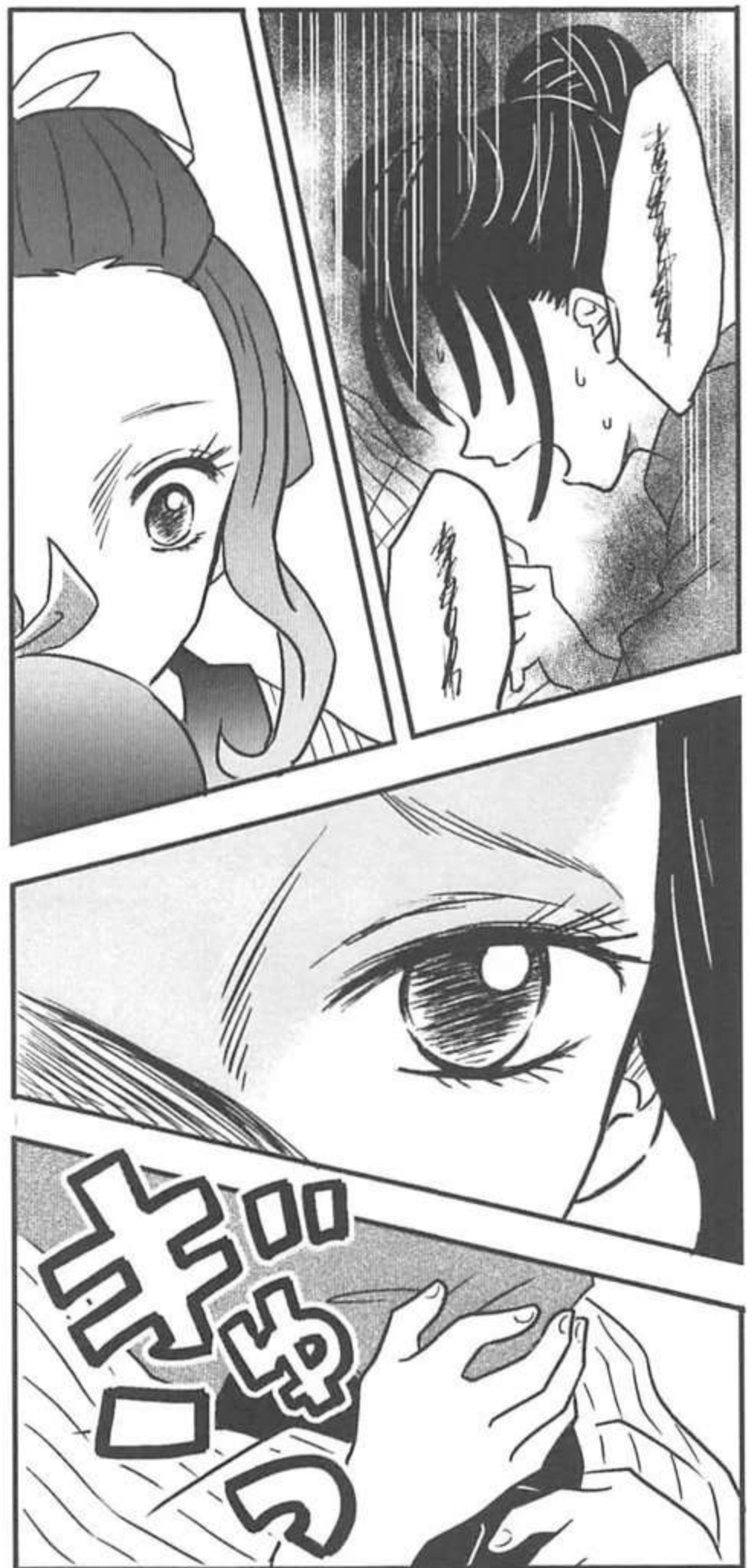
おいで

絹



姐さん…





吉原を破壊
する気か
あの鬼は！

あつ！

いたーっ！！

恋の呼吸

式ノ型

懊悩巡る恋

えっ！？

感謝するぞ
小娘

ズルウ...

お陰で仲間が
増えてくわい

ま...

また分裂
しちゃったあ
あああ!!

頸を
狙え——
——つ!!!

ああ変わりねえ
コイツが3体
増やしたこと
以外はな

おもん
大門を開けて
皆に逃げるよう
伝えてきた!
鬼の様子は
どうだ!

ずびばぜん
ずびばぜん

鬼が
増えた
のか!?

ぎゅあ〜

こうなりや
3体同時に
首を斬る

おい
吉原の方
何か様子が
変だぞ

また火事じゃ
ないのか？

でも煙は…

上がってねえ
ようだが…

大門が開いた！

これで故郷に
帰れる！

でも足抜けが
バレたら…

楼主達もとつくに
逃げちまったよ！

ああああん

無理です！
私もう斬れません！！

2回も失敗
してるのに…！



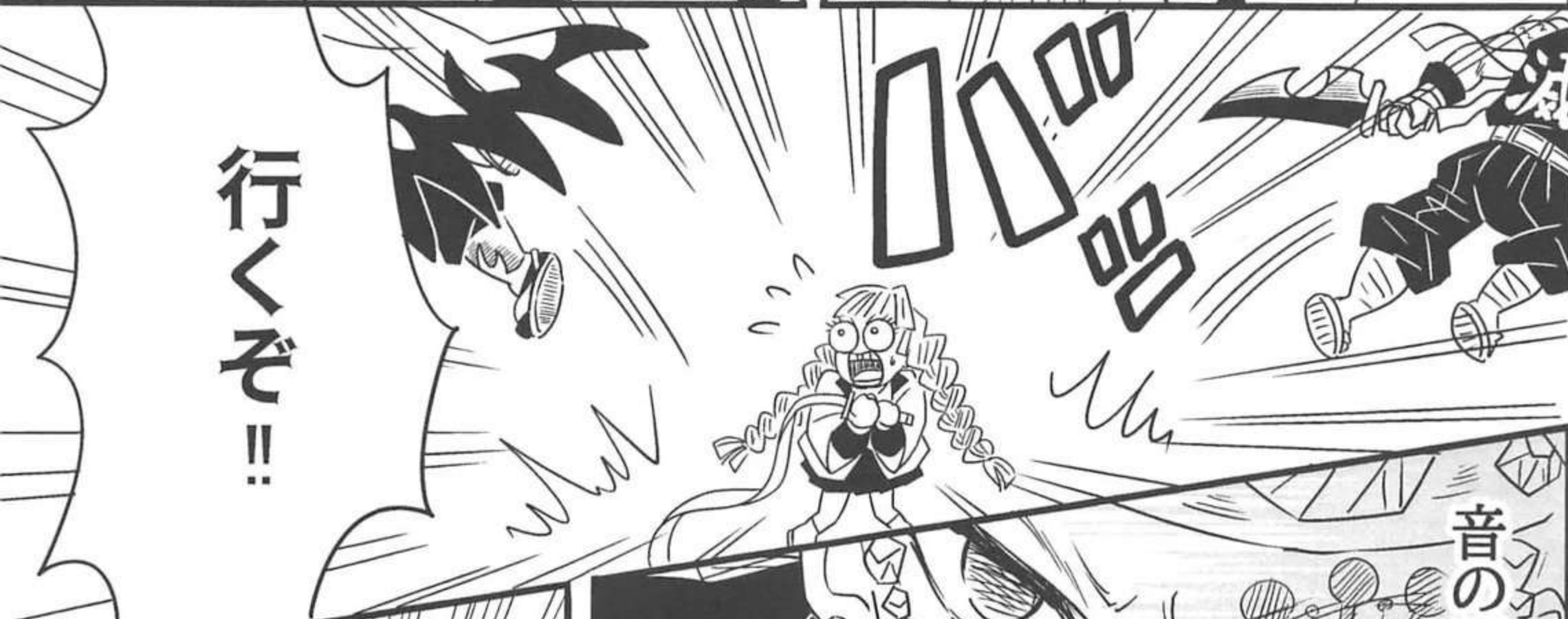


私の中には—



は…
はいっ…!!

そうだった



行くぞ!!



伍ノ型



音の呼吸

炎の呼吸

恋の呼吸

鳴弦奏々



炎虎

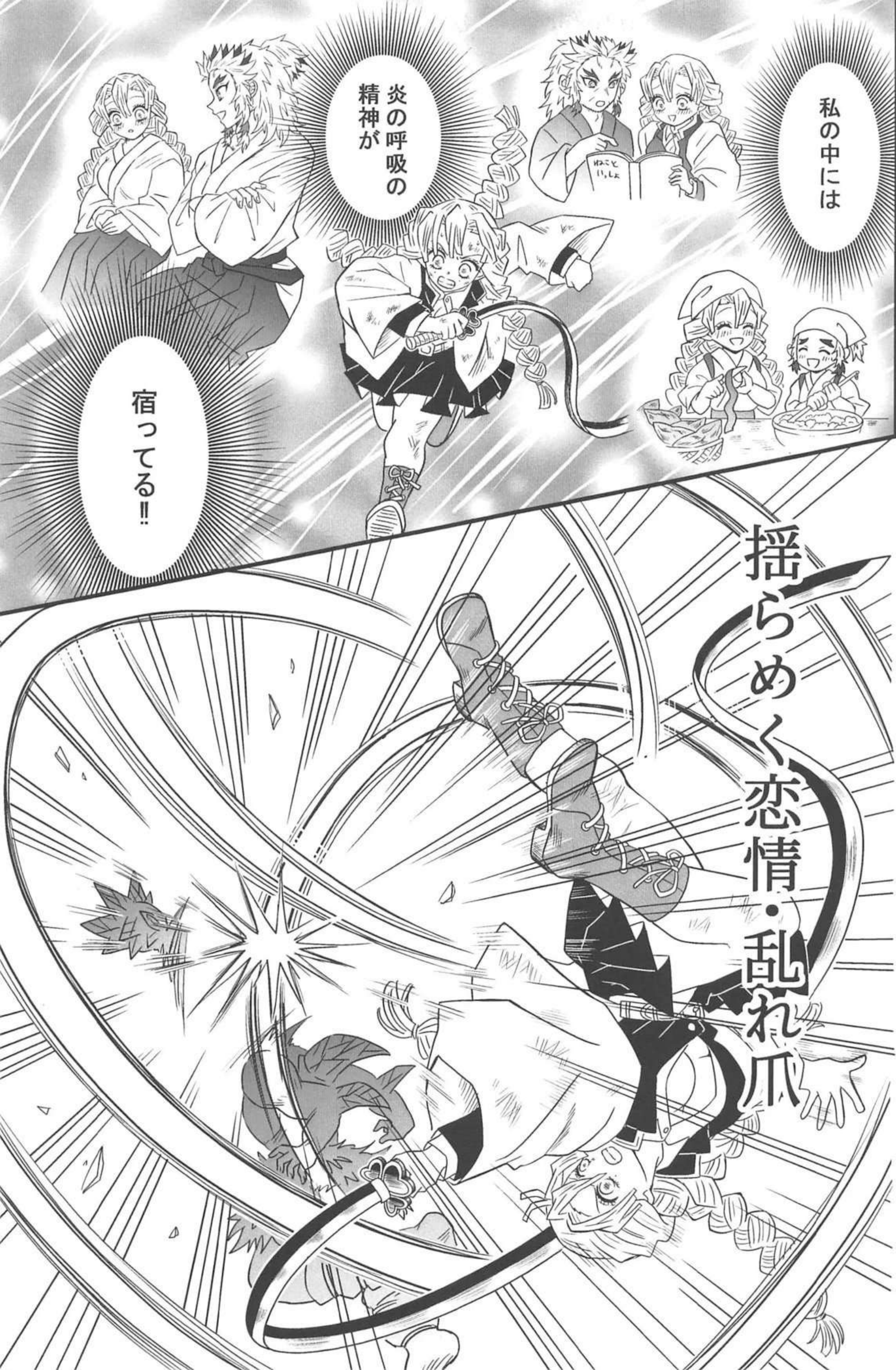


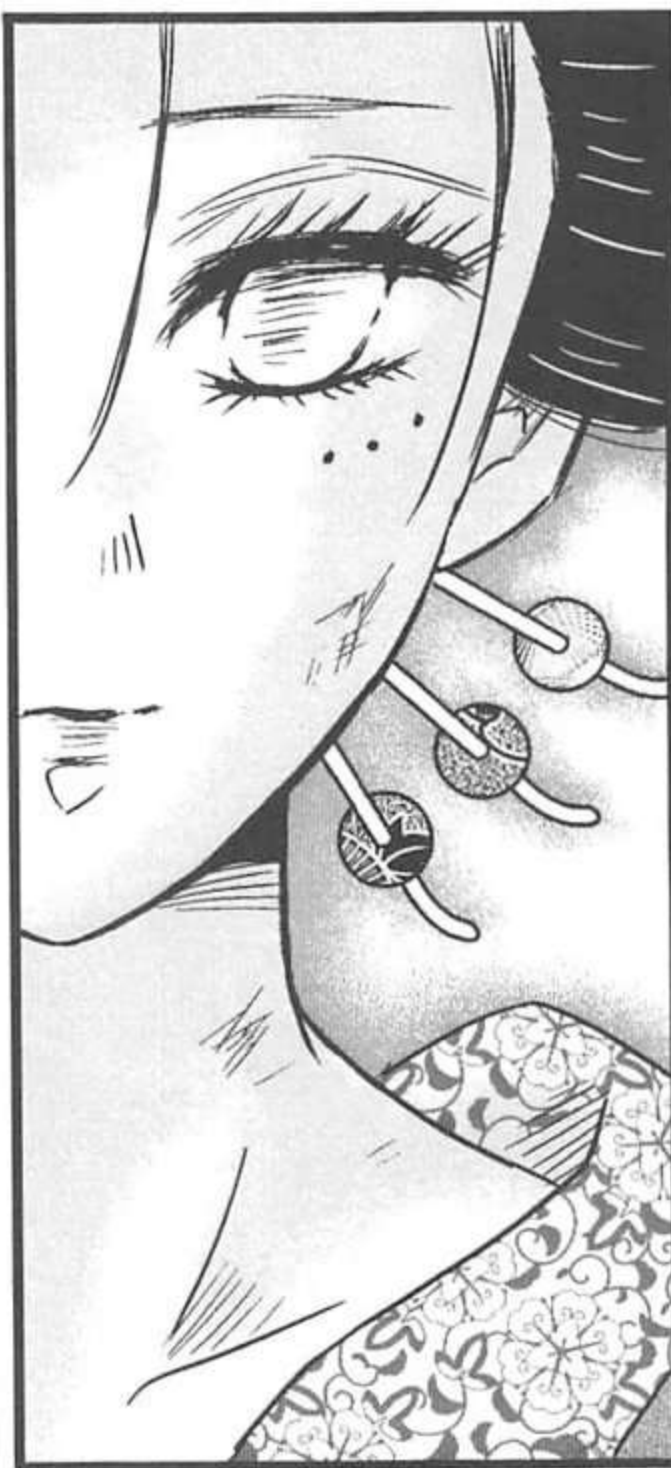
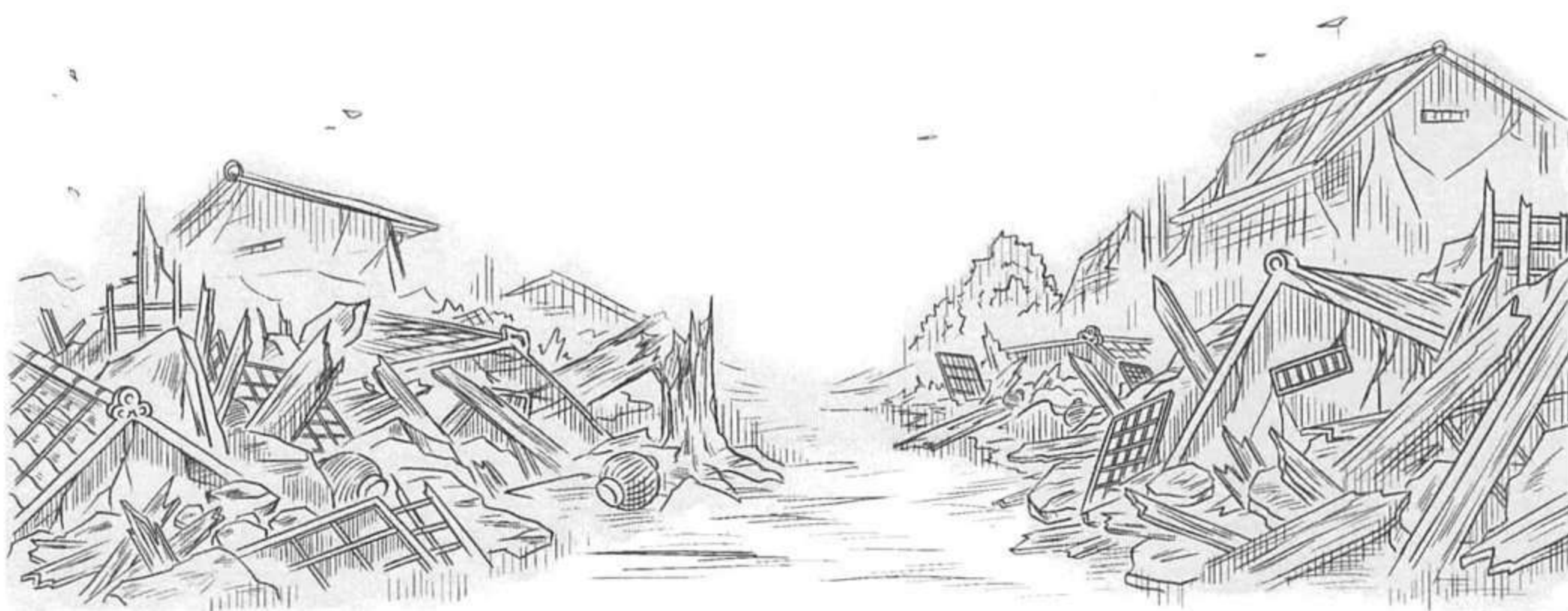
私の中には

炎の呼吸の
精神が

宿
つ
て
る
!!

揺
ら
め
く
恋
情
・
乱
れ
爪

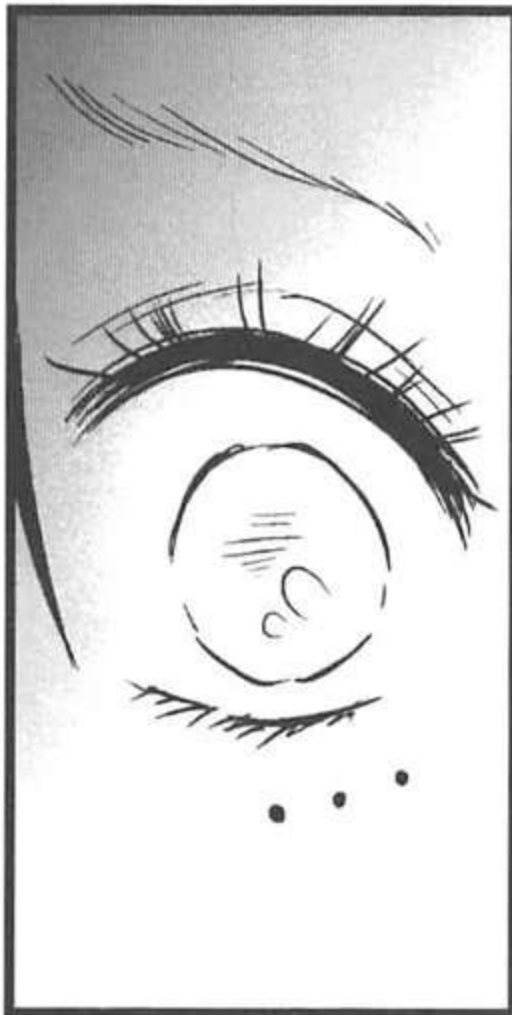






ああ
そうだ…

やっぱり…



吉原に何か
起きたって
聞いて…

それで…



村を離れる
ことになるけど

俺：秋から
都の木材問屋で
働くことにな
ったんだ



ふ…二人で
生活できる位の
金は何とか
なるから

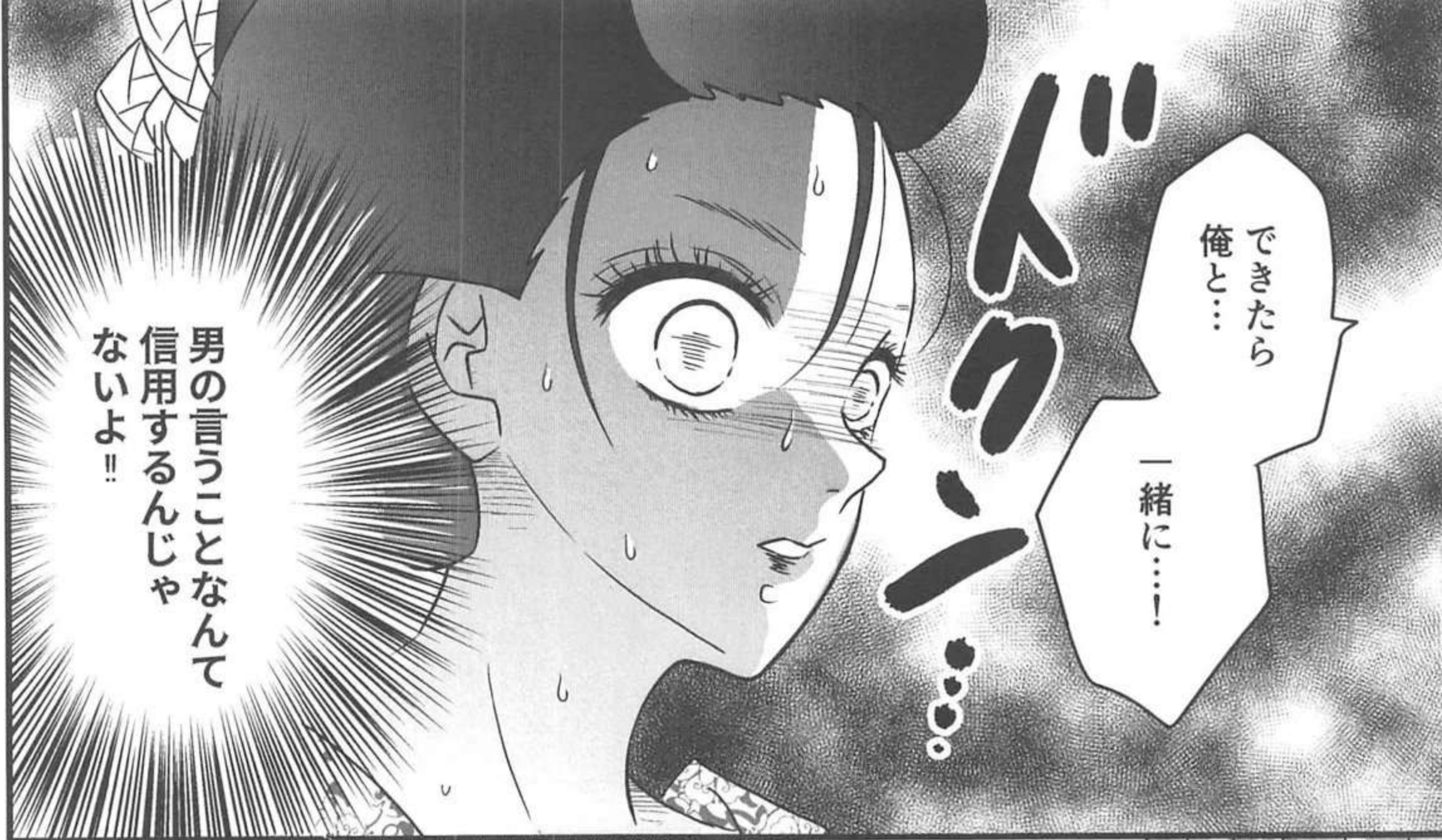
その…

ごめん
俺…

なかなか
迎えに
行けなくて…

張見世も
見たんだけど…

見つから
なくて…



できたら
俺と…

一緒に…!

男の言うことなんて
信用するんじゃないよ!!



お前も
あなりたい
のかい!!

信じた奴が
バカを見るんだ

涙は商売道具
なんだよ

どうせ裏切る

あっち行け!
飯がマズくなる!

姐さん…

廓では…
泣いちゃ
行けないの?

人を…
信じては
いけないの?

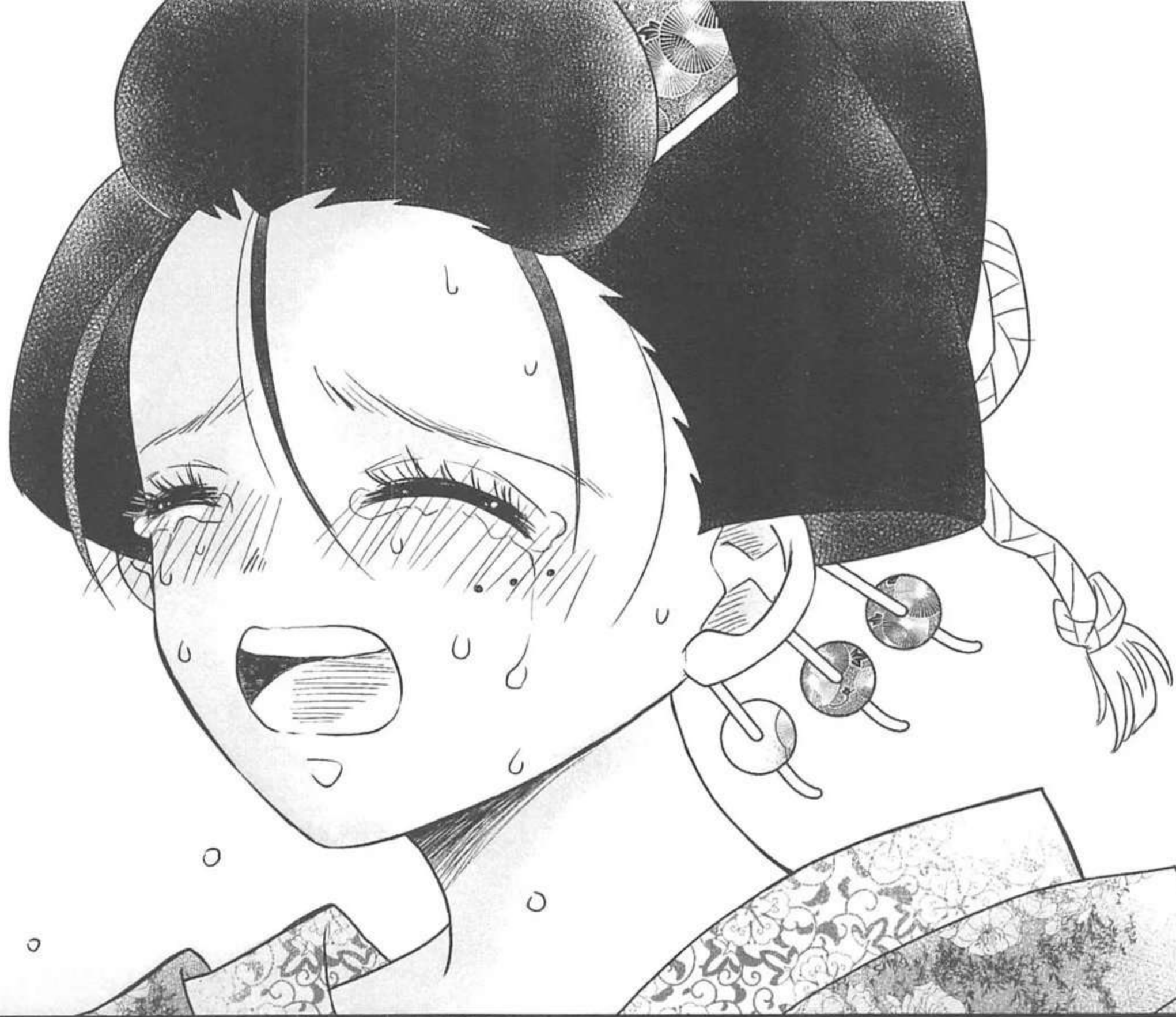
これだけは
覚えておいで

泣いたって
いいんだよ

だって
あんたは—

心は自由だ





人間
なんだから





見事に跡形も
なくなったな！

こりゃ再建は
無理だわな

でもこれでみんな
ようやく普通の
女の子として
生きられますね！

ならば
一件落着
だな！

ああ
そうだな！

そうですねっ

師範っ

吉原一の花魁に
なれなくて残念
だったな！

でも花魁の
着物だけは着せて
もらえましたっ

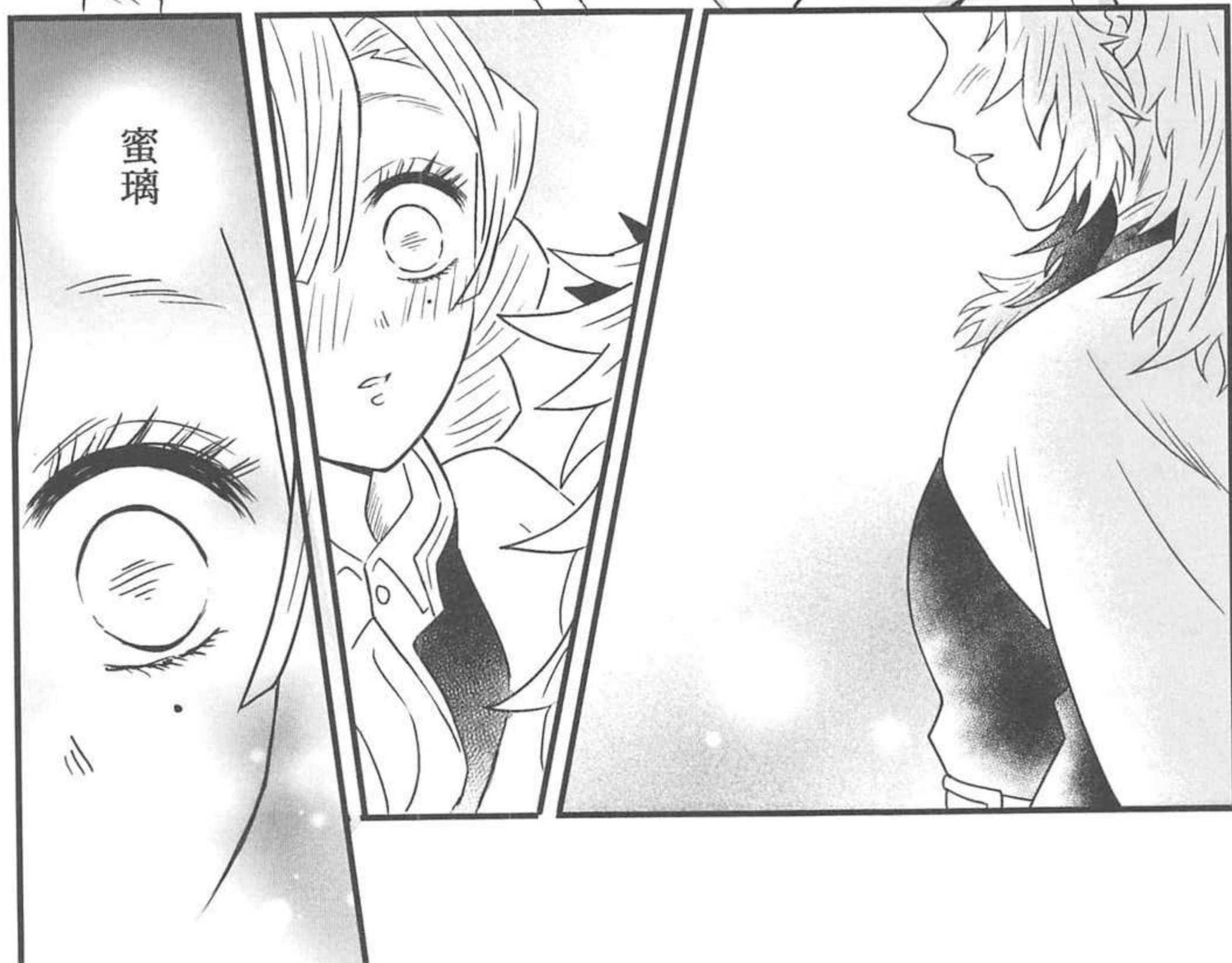
そーなの？

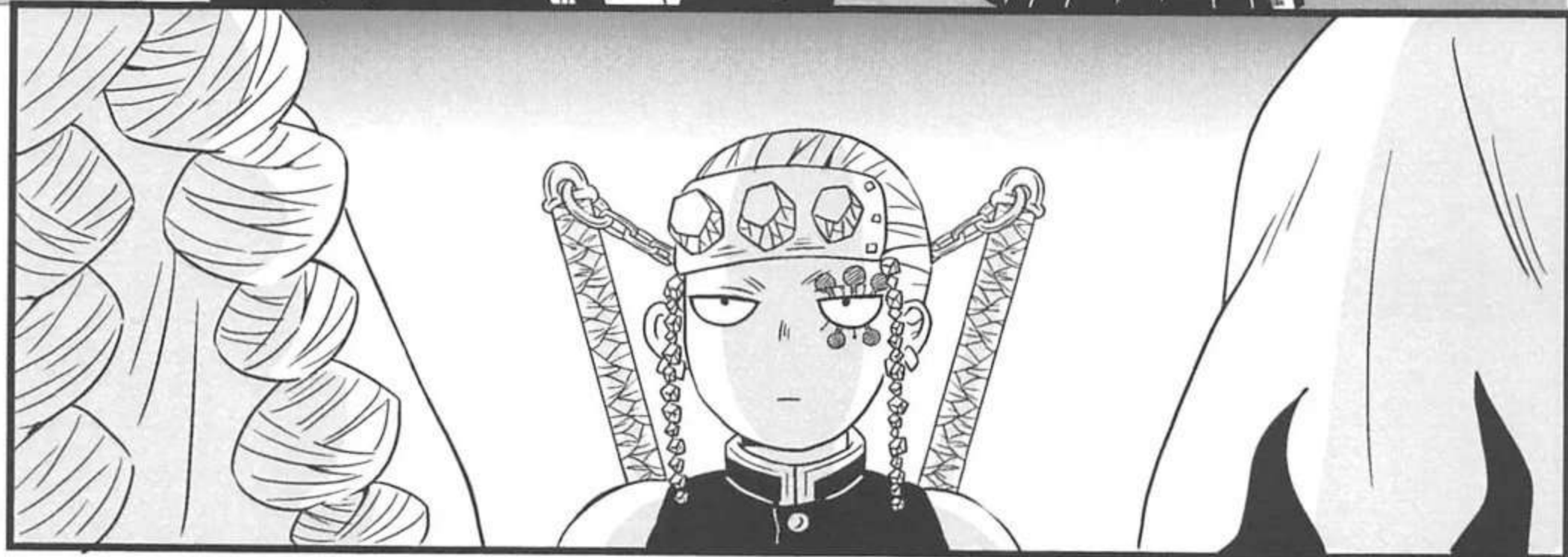
とても良く
似合って…

どうか
今宵の月夜の
間だけは

わっちを
貴方の妻にして
くんなんし

蜜璃





報告行く？
お館様んトコ…

そ
そうだな！
十二鬼月では
なかったが…

そっち
じゃなくて

お前らの…

炎恋師弟の
遊郭潜入捜査！

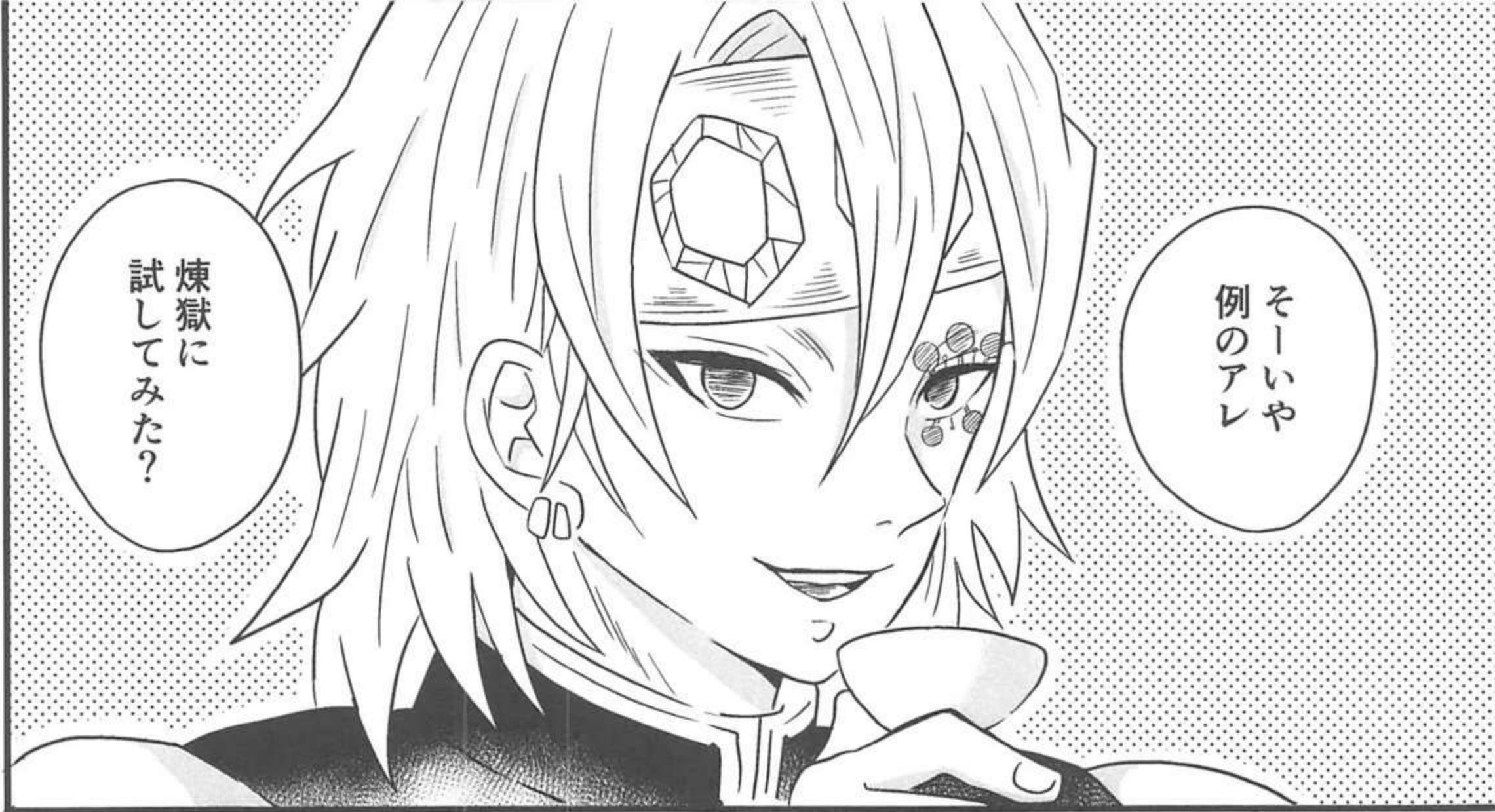
これにて
任務完了！

えっ
えっ
えっ!!

どっどいう
意味ですか!!



番外編



そーいや
例のアレ

煉獄に
試してみた？



柱打ち上げ会

ワイ

アレって...

一飛び入り参加

嫁たちの
レクチャー

ワイ

実践したん
ですけど...
あの...

お前は
そのままがいい

したんだ...



腕を磨け



今のままの
私でいいって...

きゃっ

あつそオ
良かったじゃん



深々

いーって
安いもんよ

その節は
大変お世話に
なりました!!

あれは
遊女の心得
だからな

えっ…
ええっ…!!
そんな…

まあ技術は
あるに越したこと
ないわけだから

いざって時の
ために精進しとけ



煉獄から
好きだとか
言われてんの？

えっ!?



いえ…

あの…

そういうのは…

私から
ばかりで…

ふーん

やっぱりね

師範は私のこと
何とも思っていない
んでしょーか…

ってゆーか…

宇髄

寂しい時は
どうしてる？

あいつハッキリ
分かってないんじや
ねーかな

自分の
気持ち

え…？

親父あんなだし
ガキの頃から
一族の重圧
背負ってんから

本当の感情を
抑え込む癖が
ついてんだよ

本人は
空気読んでる
つもりかも
しんねーけど

恋愛において
いつまでもそれは
ちよつと厳しいん
じゃねーかな

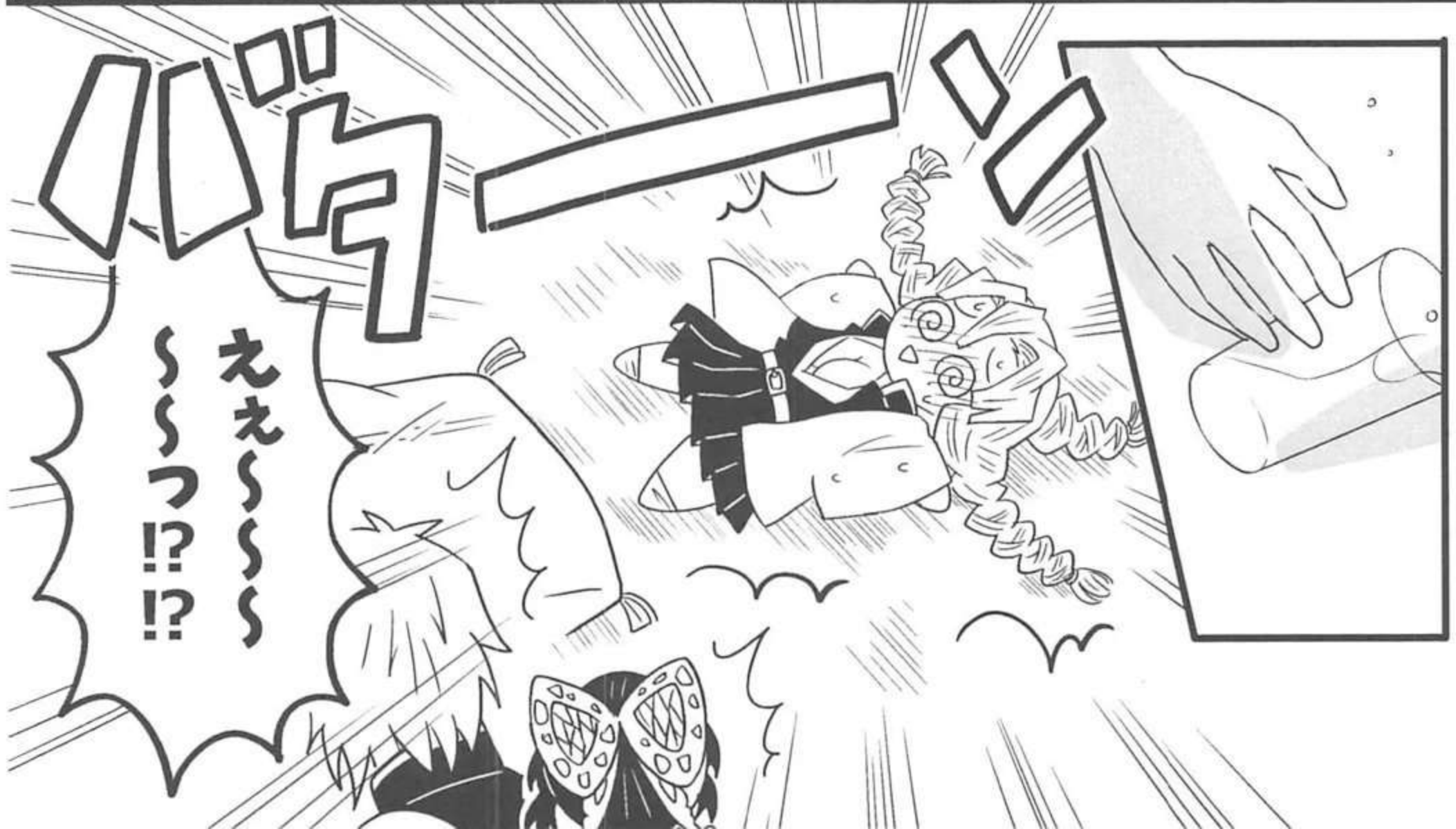
もしくは気付いてて
単に出し方分かんねー
ってだけかも
しれないけど

お前が
教えてやれよ





蜜璃



甘露寺！

甘露寺さん！

何事だ？！

お水と
間違えて
お酒を

展開が
ベタすぎん
だろオオ！

これは煉獄が
お持ち帰り
するのかな？

宇髄さん
下品な発言は
謹んでください

しっかりしろ！

甘露寺！

ありがとう
音柱様

でも
大丈夫

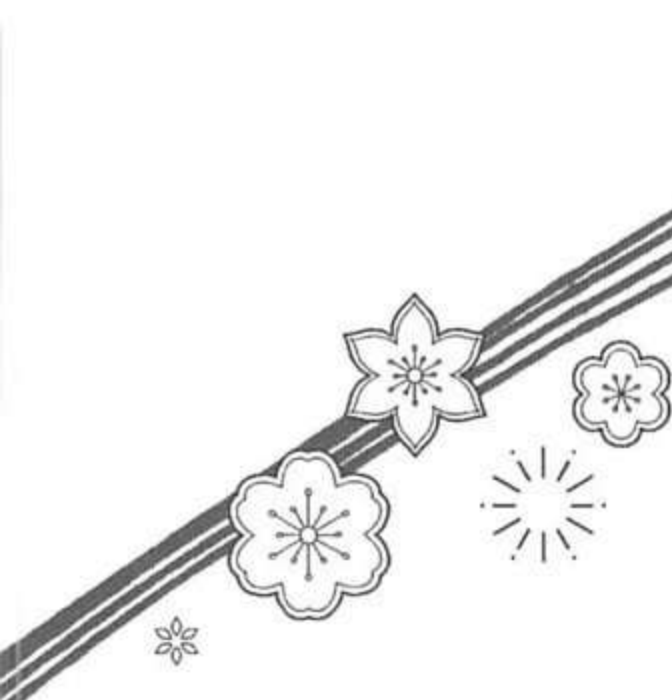
ちゃんと
伝わってる

無理しないで
ほしい

そのまま
いてほしい

ありのままの
あなたが

私も好きだから



あとがき

最後まで読んでくださりありがとうございました！

遊郭編は2022年2月～12月の間、Twitter(現X)に投稿していた漫画になります。
ちょうど世間ではアニメの遊廓編が終了した頃でした。
話を思いついたのは一作目の『恋燃ゆ』を描き終えた辺りなのですが、原作で宇髄さんが
「俺が客として潜入した時」と言っていたので、もしこれが煉獄さんと一緒だったら
楽しいだろうな—なんてことをぼや～っと考えていたら今回の話がふと降りてきて、
筆を取らずにはいられない衝動に駆られたので、そのまま一心不乱に描き上げた次第です。

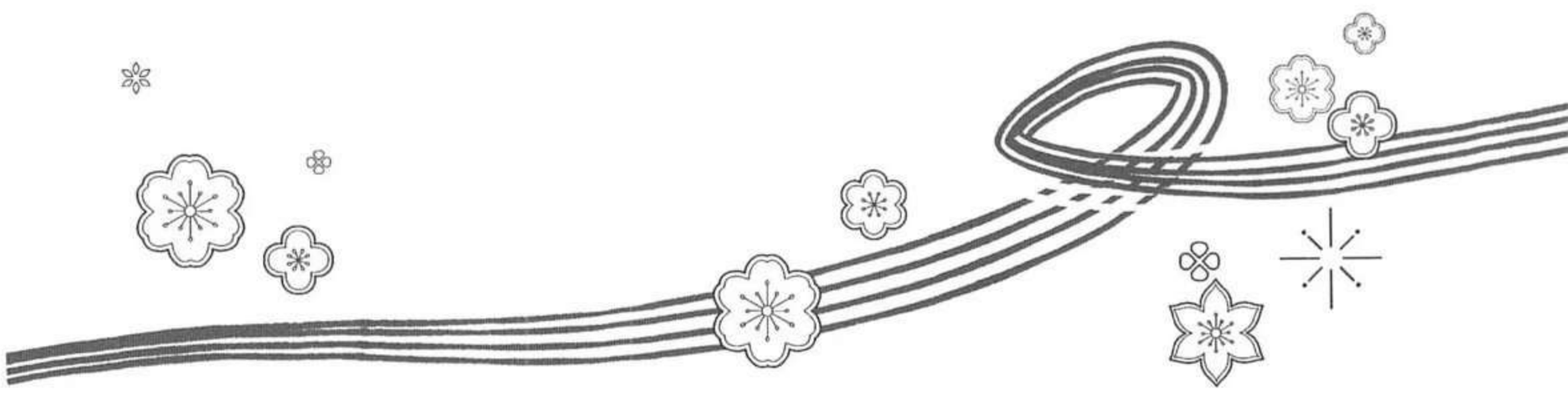
描き始めた当初から、この本に収録している『三章』の扱いには頭を悩ませていて、
蜜璃ちゃんがフ〇ラしている所とか、最後に中〇した所とかは、あまりネットに
載せるのは好ましくないけど、自分的には一番描きたいシーンではあったので、
結果的に投稿中は『三章を飛ばして描く』という決断をしたのですが、その時に初めて
「本になら収録できるかも？」と思って、その辺りから徐々に書籍化を意識するようになり、
現在に至るわけであります。

遊郭編を描くにあたり、吉原遊廓に関する映画や本などを読み漁っていたら、
過酷な人生を強いられた遊女たちをせめて自分の作品の中では救ってあげたいという
気持ちが強くなってしまい、想像以上にモブキャラの人生が深く描かれる結果となりましたが、
既存のキャラだけでは自分の描きたい表現が全部描けない場合があるので、
二次創作という場をお借りして、自分の伝えたいことを全部描き切れたのは
良かったなと思っています。(純粋に炎恋だけ見たかった、という人はゴメンナサイ)

さて、師弟として恋人として徐々に関係を深めていく私の炎恋ですが、本来であれば
柱同士、新婚、夫婦...と進展して、その時その関係性ならではの愛情表現を描いていくべき
なのですが、師弟関係が楽しすぎて、全然前に進まないっ！！という状況のため、
今後も師弟を軸としながら、断片的にでも、私の中に生きている少し成長した二人を
皆さんと共有できたらと思っています。

寒暖差が激しい日々が続きますが、『健康第一！！！』で、
心を燃やして冬を乗り切りましょう！

2023.12 ひめかみ



～おまけの章～

モブ花魁と対面した時の
煉獄さんの頭の中

■本編で出すタイミングがなかったので補足ですが、最初にモブ花魁と対面した時、煉獄さんは蜜璃ちゃんに相似しているということと、鬼かどうかということしか考えていませんでした。



■「君は美しいな！」というセリフに対して『蜜璃ちゃんがいるのにひどい…！』と思った方がいたかもしれませんが、誤解ですので安心して下さい！！
煉獄さんにとっての女性は色んな意味で蜜璃ちゃんだけです！！！！！！

煉獄さんはペロペロ攻撃
に弱い！？の巻

■本編で蜜璃ちゃんがせっかく勇気を出して攻めたのに「全然感じてない！」という緊急事態が発生しましたが、私の煉獄さんは、「吸われる」より「舐められる」方が苦手なのかなと推察します。過去の漫画でも蜜璃ちゃんがぺろっと舐めるシーンではちょっと余裕のない師範になっちゃってますよね。果たして蜜璃ちゃんはこの事実気付いたのか…、今後乞うご期待です！！



▼本冊子「三章」より



▼『煉獄家と温泉に行こう！』より



▼『恋燃ゆ』より



HAPPY
NEW YEAR

2024



素敵な一年になりますように

遊廓潜入 —炎恋情歌—

ひめかみ/ヒメノカミ

2023.12.31

X ID:himekami27

E-mail:himekami51061@gmail.com

印刷 おたクラブ様

遊郭編の一章・二章・四章は
pixivでもご覧いただけます。
(※R18は除く)



※無断転載・オークション・フリマアプリなどへの出品はご遠慮ください。
※一般の方の目に触れないようご配慮をお願いします。
※原作者や関連企業様との関係は一切ございません。

Kimetsunoyaiba
Unofficial Fanbook
No.4

Presented by
himekami

